

第四章. 総 括

第1節 遺物の特徴

(1) かわらけ

①分類

かわらけは遺跡内からもっとも多く出土する遺物で、これまでの研究で年代的な指標としても用いられてきた。多くの検討がなされてきており、簡単な研究史は第Ⅱ章で記した。ここでは柳之御所遺跡堀内部の出土資料から、遺構変遷を把握する上で必要な土器の変遷を確認しておきたい。なお、当時の平泉の土器群については異なる名称を付す研究もあるが、本報告書ではこれまでの平泉関係の報告書と同様に12世紀代の素焼きの土器群を一括して「かわらけ」と呼称する。なお、術語としてどのような名称を用いるかといった点や、当時の土器名称については当該期を対象にしても多くの研究史がある(中井2010など)。

かわらけは製作時の成形及び整形の差異から、ロクロを使用するものとロクロを使用せず手づくねによるものがある。ここまでの文中でも記したように、それぞれを「ロクロかわらけ」、「手づくねかわらけ」と記す。器形的な差異ではロクロと手づくねのかわらけそれぞれに大小の器形があり、ここではこれまでの研究と同様に「大皿」と「小皿」に分けて記載する。そのうち、特にロクロかわらけに対応するが、器高の高い椀状の器形などは椀型、器高の低い皿状の器形などは皿形などと記す場合がある。

既往の研究成果をふまえ、1) ロクロと手づくねの種別による組成とその比率、2) ロクロかわらけ大皿の口径・底径・器高などの法量値、3) 手づくねかわらけ大皿の口径・器高などの法量値、4) 器種構成、5) それぞれの種別の器形的特徴 などの属性から下記のとおり分類する。

I ロクロかわらけのみを基本に構成される土器群

- a 【土器群の特徴】 ロクロかわらけ大皿は底径が小さく、器高が5cm程の高い器形である。口径と底径の差はやや小さいが、底部から湾曲して立ち上がる。52SE10出土例では、口径11.8~14.4cm程で平均13.4cm程、底径4.8~6.6cm程で平均5.6cm程、器高4.4~5.3cm程で平均5.0cm程である。ロクロかわらけ小皿は口径と底径の差が小さい。いずれも赤みがかった色調で、胎土に石粒などの夾雑物を多く含む。器種構成に柱状高台を含むほか、大型の柱状高台が含まれる。ロクロかわらけ大皿に比して小皿の比率が高い。大型の柱状高台は52SE10出土土器群のみで確認されている器種のため、当時の器種構成において普遍的な器種として把握可能かは今後の資料の追加や他事例もふまえた検討が必要であろう。

【遺構例】 52SE10

- b 【土器群の特徴】 ロクロかわらけ大皿は底径が小さく器高が高い器形である。また器形的にこの段階に想定できるものでも埋土中に手づくね細片を少量含む土器群がある。口径と底径の差は、Iaとした土器群と比べてやや小さい。器高もやや低い器形が含まれる。底部からの立ち上がりは直線的なもの、湾曲して立ち上がる器形の両者がある。55SE1出土例では口径12.4~14.2cm

程で平均13.5cm程、底径4.8～6.0cm程で平均5.7cm程、器高4.1～5.2cm程で平均4.8cm程である。ロクロかわらけ小皿は底径が大きい器形も散見されるが、多くは底径が小さく口縁部への立ち上がり外反し、器厚が薄い器形が多い。底径が小さく外反の度合いが強い器形は特徴的である。ロクロかわらけ大皿に比して小皿の比率が高い。器種構成に柱状高台を含む。

ロクロかわらけが大部分を占め手づくねかわらけを少量含むのみで、この群として捉えている、52SE7出土土器群では器高が低い資料を含む。いくつかの事例では先行研究においてもこの段階に想定されている土器群に極めて少量の手づくねかわらけ片が含まれる。52SE7出土例では口径12.3～15.4cm程で平均14.1cm程、底径5.0～7.8cm程で平均6.5cm程、器高2.4～4.6cm程で平均3.7cm程である。これはより後出と捉えた土器群の器形と類似する。手づくねかわらけの導入による影響とみた場合には、時期差になる可能性もあり、細分の想定可能性がある。52SE7出土土器群では小皿に対して大皿の比率が高くなることも、土器群の変化を示す特徴と捉えうる。

【遺構例】55SE1、52SE7、28SE12、31SE2、31SE4

II ロクロかわらけと手づくねかわらけの両方で構成される土器群

- a 【土器群の特徴】ロクロかわらけ大皿は器高が低い器形が多くなる。口径と器高の比率も大きくなり皿形の器形を呈するものが多い。52SE9出土例では口径14.0～15.9cm程で平均15.1cm程、底径6.7～8.4cm程で平均7.2cm程、器高3.5～4.4cm程で平均3.9cm程である。I群とした土器群に類似する器高が高い器形も含むものの、組成の中では主体を占めるものではない。ロクロかわらけ小皿は口径に比して底径が大きい資料が増える。器形は皿型を呈する。手づくねかわらけ大皿は出土量が少ないものの、口径が大きく器高もやや高い大型の器形が多い。手づくねかわらけ小皿は大型の資料を含む。器種構成に小形の柱状高台を含む。なお、口径が大きく、ナデ調整が2段に入るなどの精緻な作りの手づくねかわらけを導入期の資料と見なした場合（先行研究で志羅山遺跡35次調査例が挙げられることが多い）、同様の特徴をもつ資料が本遺跡内でも散見される。手づくねかわらけの本格的な導入期は出土量自体がロクロが多く、手づくねがまだ比較的少ないこともあり一括事例は多くないものの、個体の資料ではIIaとした群及びIIbとした群内に含まれる。ここでは一括事例として68SK35を挙げておく。68SK35出土例では口径13.9～16.2cm程で平均15.1cm程、器高2.7～3.7cm程で平均3.1cm程である。

【遺構例】52SE9、68SK35、70SE1、28SE9、28SE5、31SE5

- b 【土器群の特徴】ロクロかわらけ大皿は器高が低い器形が多くなる。口径と器高の比率も大きくなり皿形の器形を呈するものが多い。50SE3出土例では口径13.8～15.2cm程で平均14.3cm程、底径6.2～9.0cm程で平均6.9cm程、器高2.4～3.8cm程で平均3.3cm程である。I群とした土器群と類似する器高が高い器形も散見されるものの、組成の中ではきわめて少ない。ロクロかわらけ小皿は口径に比して底径が大きい資料が増える。器形は皿型を呈する。手づくねかわらけ大皿は、口径がIIaとした土器群より小さくなるものの、大型の器形が多い。50SE3出土例では、口径11.7～15.5cm程で平均14.3cm程、器高2.6～3.4cm程で平均3.0cm程である。手づくねかわらけ小皿は口径が小さくなる。器種構成に内折れと呼称されるコースター型の器種を含む。

なお、IIaとIIbの区分は、着目する器種によっても差異が生じる事例がある。例えば、28SE16出土土器では手づくねかわらけは口径が大きく、より古相と捉えられる特徴を示す資料が多いのに対し、ロクロかわらけはこの段階の資料との類似性が強い。微細な遺構の時期差と捉

えうる可能性があるが、個別の土器変化としては識別が難しい。

【遺構例】50SE3、52SE1、21SE1、21SE2、28SE2、28SE16

Ⅲ ロクロかわらけと手づくねかわらけの両者で構成され、組成比において手づくねかわらけが主体となる土器群

- a 【土器群の特徴】ロクロかわらけ大皿は口径が大きく器高の低い皿形の器形を呈する。55SX2出土例では口径12.0～16.0cm程で平均13.8cm程、底径5.2～9.0cm程で平均7.1cm程、器高2.5～4.4cm程で平均3.4cm程である。ロクロかわらけ小皿は口径が大きく器高の低い器形を呈する。手づくねかわらけ大皿はⅡ群とした土器群より口径が小さい器形が多くなる。55SX2出土例では、口径11.6～16.0cm程で平均13.8cm程、器高2.1～4.3cm程で平均3.1cm程である。手づくねかわらけ小皿もⅡ群と比して口径が縮小する。

【遺構例】55SX2、55SK44、70SE3、21SE3、28SE4、28SE15

- b 【土器群の特徴】ロクロかわらけと手づくねかわらけのうち、手づくねかわらけの比率がより高い。ロクロかわらけ大皿は口径が大きく器高の低い器形を呈する。52SE8出土例では、口径13.2～14.2cm程で平均13.7cm、底径6.2～6.8cm程で平均6.6cm程、器高2.9～3.3cm程で平均3.1cm程である。ロクロかわらけ小皿は口径が大きく器高の低い器形を呈する。手づくねかわらけ大皿は口径が小さい器形が多くなる。52SE8出土例では口径11.8～15.2cm程で平均13.4cm程、器高1.8～3.8cm程で平均2.7cm程である。口径1.3cm以下の小型の器形が多数を占める。手づくねかわらけ小皿は口径が縮小する。手づくねかわらけが多くを占める。77SK1出土例では器種の構成比からはこの段階と想定できるが、Ⅲbとした土器群との器形的な変化は小さい。

なお、52SE8におけるロクロかわらけの寡少さは、他の資料と比しても大きな偏差を示し、普遍的な事例として扱うことが妥当か他事例も含めた吟味が必要である。ただし、後述する52SE8及びこの土器群の年代的な位置づけは、これまでもなされてきた検討内容から十分な妥当性をもつと判断している。また、52SE8出土土器群にはロクロかわらけに通常用いられる胎土で作成された手づくねかわらけを含む。

【遺構例】52SE8、28SE3、28SE11、28SE17、31SE6、31SE7

②変遷と位置づけ

○相対的な変遷

上記で取り上げた遺構例は、資料の一括性がある程度担保される可能性が高い、井戸跡などの遺構からの一部自然堆積を含むが人為層などを中心とした出土遺物である。

遺構の新旧関係から遺物の変遷を検討した場合、井戸跡などは直接的な重複関係をもつ遺構は少ない。井戸同士での重複関係は確認されておらず、井戸跡とその他の遺構では井戸跡と掘立柱建物や土坑での重複関係が確認されているものの、一括資料の変遷を把握しうる遺物変遷の検討に有用な情報は少ない。なお、掘立柱建物の重複関係は後述する。

これまでの研究史をふまえると、細部には異見が生じているものの、形態的な変化では多くの研究で一致する部分が多い。ロクロかわらけ大皿は経時的に器高が縮小する。このほか、口径と底径の比率などが時系列的な変化に一定程度対応するものの、口径や底径のそれぞれの数値は経時的な変化を捉えがたい部分も生じる。器形的には、器高が低くなり、口径や底径も広い皿形の器形へと変遷が把

握できる。手づくねかわらけ大皿は口径が縮小することや、器高も低くなるなどが指摘されてきた。なお、体部の調整などではいわゆる2段ナデとされるものから1段ナデが主になる。口縁部の面取り等も含め、手数の多い精緻な作りから手数が少ない作りへと変化が捉えられるものの、漸移的な変化を辿るもので各土器群に多様な種別を含む場合が多い。定量的な検討が不十分のため、その比率等を時系列的に提示しえていないが傾向の把握としては妥当であろう。

これらを勘案し、上記の分類について概ね以下の変遷を想定する(表64・図291)。

I (Ia→Ib) → II (IIa (≒/→) IIb) → III (IIIa (≒/→) IIIb)

各群のうちa・bとした細分は遺構単位の変化としては把握可能と考えるが、個別の土器について一箇体の土器など単体での時期把握や評価は各群内での偏差もあり難しい部分が多い。したがって、遺構での出土状況では着目する属性によっても細部の年代的位置づけは変化し得る。大きく分けた3段階の時期区分は大方の了解が得られていると思われる。

ロクロかわらけと手づくねかわらけの器形変遷は、それぞれが漸移的に変化しており、各遺構ごとで抽出した土器群においては、近似した複数の時期の資料を含む。またロクロかわらけの変化と手づくねかわらけの変化は細かい時間幅においては、同一の時期や時間幅で対応するものでもない。遺構の時期を想定する場合には、それぞれの事例において個別の土器を検討した上で総体として把握する必要がある。なお、研究史上の相違点はこの部分に起因する内容も多いように思われる。

○年代的位置づけ

遺跡内から出土した資料での科学分析による年代測定は年輪年代と炭素年代測定が行われてきた。このうち土器類が出土する遺構出土で土器類の年代とも関連する資料が多い年輪年代の分析結果は表65のとおりである。このうち、土器群や遺構について注目できる事例を挙げておく。

- 1) 52SE8では刃材をもつ資料で1186年の分析結果が得られている。土器群の相対的変遷でも後出の特徴をもつことや、被熱した資料が多いとの所見とも整合的である。
- 2) 31SE2では刃材をもつ資料で1136年の分析結果が得られている。ロクロかわらけを主体に構成される土器群で、相対的に古相の様相を示す。
- 3) 28SE16では刃材をもつ資料で、1138年と1158年の分析結果が得られている。

また、炭素年代測定の結果は表66のとおりである。ただし分析事例は堀などの遺構が多く、また細かい実年代の検討には分析の性質上適さない。このほか、柳之御所遺跡に係る実年代を想定しうる事象を下記のとおり挙げておく。

- 1) 11世紀末から12世紀初頭に使用開始される。嘉保年間(1094~96)もしくは康和年間(1099~1104)に藤原清衡が江利郡豊田館から平泉に移り宿館をなすことが記される(『吾妻鏡』文治5年9月23日条)。ただし、「為宿館」との記載が、宿館造営のどの段階を指すのかは確定できない。つまり、造営開始や造営終了、主要施設の整備などのいずれの時期を指すのか、またそもそも施設造営を指すのかは特定できない。また、嘉保年間と康和年間のいずれを採るか、周辺の歴史状況への理解などによっても左右される。康和年間より安定した状況と把握され無理がないものの、1090年前後から(『後二条師通記』寛治5年11月15日条など)藤原清衡が一定の動きを見せる始めることも注目しておきたい。ここではやや幅を広く、11世紀末から12世紀初頭とのみ捉える。
- 2) 柳之御所遺跡の使用は文治5(1189)年頃に一端停止する。平泉館の焼亡など(文治5年8月

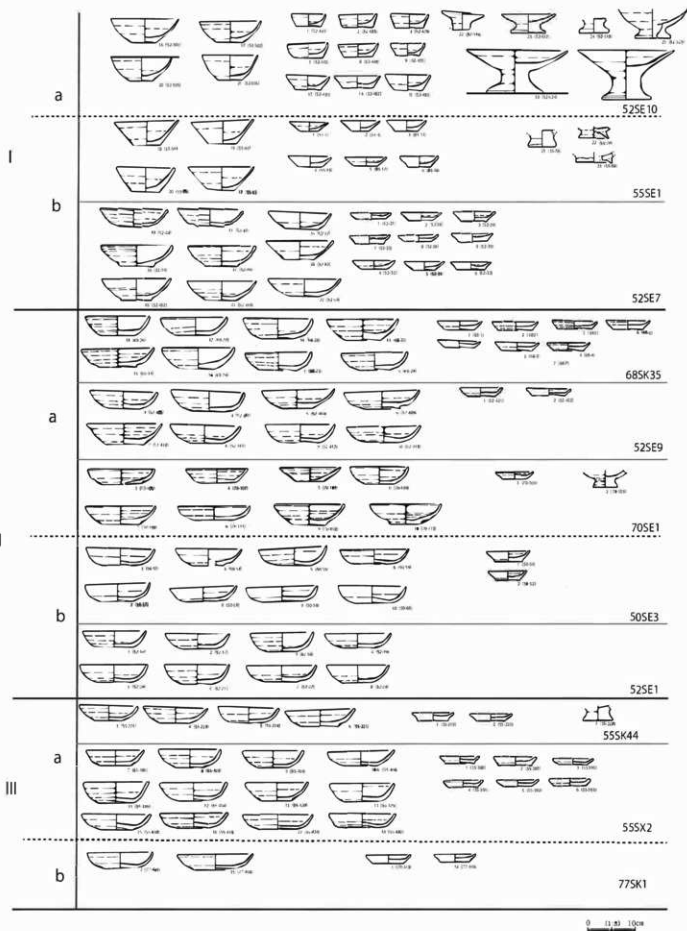


図291 かわらけの変遷（ロクロかわらけ）

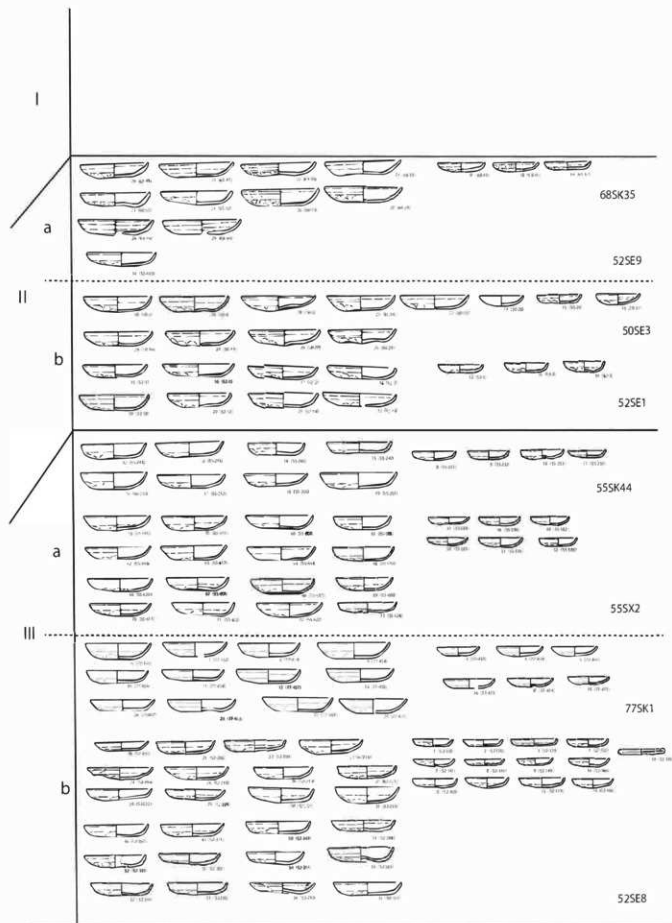


図291-2 かわらけの変遷 (手づくねかわらけ)

21日条)の後も、人為的な営為があったことは想定できるものの、基本的な使用はこの時期で概ね停止される。鎌倉方を主とした平泉周辺での活動は文献に記されるところだが、本遺跡においては、遺物等の状況からそれまでと同様の利用は為されていないと判断でき、ここでは遺跡の機能の停止年代を文治5(1189)年頃と捉えておく。

3) 手づくねかわらけの導入は、平泉における儀礼の様相などにも重要な変化である。手づくねかわらけの本格的な導入の時期には複数の説が提示されているが、12世紀中葉に置くことでは一致している。年紀資料などがないため、特定する材料はないが、ここでは1140年頃から12世紀中葉とやや幅をもって捉えておく。

なお、手づくねかわらけの導入には、技術流入の具体的なあり方や一過性の技術導入であるかなど、課題を残していると思われる。

これらの分析結果や研究史の成果を参照し、実年代を想定した(表64)。各年代を想定する材料は少なく、いずれの時期を前後に幅をもつ可能性がある。

表64 遺構ごとの時期区分

時期区分と想定される年代		遺構例		(整備検討の土器分類)
I 段階 12世紀前半 (1100前後～1140年代) 40年 利甲年 2004年頃	a	52SE10		(1群)
	b	55SE1 52SE7	28SE7 28SE12 31SE2 (1136) 31SE4	
II 段階 12世紀中葉 (1140年代～1160年代) 30年 3004年 1169	a	68SK35 52SE9 70SE1	28SE5 28SE9 31SE5	(2群)
	b	50SE3 70SE3 52SE1	21SE1 21SE2 28SE2 (1130・1141) 28SE16 (1138・1158)	(3群)
III 段階 12世紀後半 (第3四半期後半1170年前後～1189年頃) 3304年 末 70年 70年 70年	a	55SX2 55SK44	21SE3 28SE4 (1123) 28SE15	(4群)
	b	37SE2 52SE8 (1186)	28SE3 (1175) 28SE11 (1180) 28SE17 31SE6 (1164) 21SE4 31SE3 31SE7	(5群)

※整備検討の土器分類(備之御所遺跡調査事務所2007・2008)との対応は個別の遺構での対応を意図したのではなく、厳密な対応ではないが概ね対応するとみている。

表65 遺跡内の年輪年代測定結果一覧

資料	出土遺構	樹種	年輪数	年輪年代	t値	辺材 (cm)
	21SD1	スギ	93	990	5.4	—
埋-652	21SD1	スギ	97	1173	7.6	4.5
埋-745	21SD1	スギ	119	1169	4.9	3.5
折敷	21SE1	スギ	87	945	5.4	—
埋-2080	28SE2	スギ	95	1051	6.2	—
埋-2081	28SE2	スギ	99 (+1層)	1141	5.6	5.2
埋-2084	28SE2	スギ	260	1130	6.7	2.7
埋-2131	28SE3	スギ	174	1175	6.8	5.0
埋-2363	28SE4	スギ	66	1123	6.1	3.2

資料	出土遺構	樹種	年輪枚	年輪年代	1値	辺材 (cm)
埋-2509	28SE11	ヒバ	173 (+1層)	1180	5.8	不明
折敷	28SE11	スギ	142	1050	4.5	4.5
埋-2511	28SE11	スギ	91	1119	10.3	1.9
	28SE11	スギ	100	1104	8.2	-
埋-2774	28SE16	スギ	262 (+1層)	1158	7.3	4.0
埋-2772	28SE16	スギ	209 (+1層)	1138	8.2	2.6
埋-2822	31SE1	スギ	94	1105	5.9	4.0
埋-2867	31SE2	ヒバ	323	1136	7.2	1.1
埋-2996	31SE6	スギ	207	1164	8.4	3.2
52-5018	52SE8	スギ	183	-	-	3.2 (宍存)
52-5010	52SE8	スギ	168	1186	8.0	3.3 (宍存)
52-5044	52SE8	スギ	83	-	-	5.5 (宍存)
52-4022	56SD39	ヒバ	120	-	-	-
52-4109	56SD39	スギ	157	1084	6.6	-
28RW188		スギ	167	1159	8.2	-
28RW216		スギ	147	1155	11.4	-
31RW348		スギ	94	1097	5.1	-

※光谷拓実2006「柳之御所遺跡出土木製品の年輪年代測定結果」『柳之御所遺跡第59次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第121集 より作成

表66 柳之御所遺跡内部地区出土資料の炭素年代測定

資料	出土遺構	層位	14C年代	資料の種類	δ13C (AMS ‰)	文献
1 1 (200242)	28SB4 柱穴	炭層	950±40	炭化物	-25.0	岩文121集
2 2 (200243)	植物遺体		1140±40	木片	-22.5	岩文121集
3 1 (241429)	Cトレンチ	7層	880±40	炭化物	-25.0	岩文127集
4 2 (241430)	Cトレンチ	4層	1070±40	炭化物	-25.7	岩文127集
5 3 (241431)	68SK35		1080±40	炭化物	-26.2	岩文127集
6 1 YG69-C1 木材	21SD1 (Aトレンチ)	9層	1030±40	木製品付着	-25.5	岩文130集
7 2 YG69-C2 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	910±40	橋部材No.1付着	-23.8	岩文130集
8 3 YG69-C3 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	920±40	橋部材No.2付着	-24.6	岩文130集
9 4 YG69-C4 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	1080±40	橋部材No.4付着	-26.5	岩文130集
10 5 YG69-C5 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	950±40	橋部材No.7付着	-27.2	岩文130集
11 6 YG69-C6 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	990±40	橋部材No.8付着	-26.3	岩文130集
12 7 YG69-C7 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	940±40	橋部材No.19付着	-25.7	岩文130集
13 774	21SD2		910±30	炭化材 (カエデ類)	-29.57±0.65	岩文133集
14 761	72SD1 (Cトレンチ)	29層直下	930±20	炭化物	-28.01±0.55	岩文135集
15 797	72SD2 (Aトレンチ)	地下層	1090±20	炭化物	-27.52±0.50	岩文135集
16 798	P47 (柱穴)	底面付近	960±20	炭化物	-24.74±0.58	岩文135集
17	SX1 B3区東トレンチ	26層	900±20	炭化材 (コナラ属 コナラ類)	-23.48±0.47	岩文137集
18 1	72SD1 (41SD2-B)	1a層	910±20	炭化物	-20.98±0.43	岩文140集
19 2	72SD1 (41SD2-B)	2a-2層	1070±20	炭化物	-19.78±0.42	岩文140集
20 3	72SD1 (41SD2-B)	4a-1層	880±20	炭化物	-21.54±0.45	岩文140集
21 4	72SD1 (41SD2-B)	4a-2層	910±20	炭化物	-21.51±0.30	岩文140集
22 5	72SD1 (41SD2-B)	4a-2層	930±20	炭化物	-21.84±0.37	岩文140集
23 6	72SD1 (41SD2-B)	1層	1020±20	炭化物	-21.28±0.30	岩文140集
24 7	72SD1 (41SD2-B)	4a層	1070±20	炭化物	-29.30±0.32	岩文140集
25 8	72SD1 (41SD2-B)	4m層	920±20	炭化物	-21.91±0.34	岩文140集
26 9	72SD1 (41SD2-B)	16層	920±20	炭化物	-23.33±0.37	岩文140集
27 10	72SD1 (41SD2-B)	18層	1080±20	炭化物	-19.47±0.35	岩文140集
28 11	72SD1 (41SD2-B)	19層	850±20	炭化物	-21.64±0.28	岩文140集
29 12	72SD1 (41SD2-B)	23層	930±20	炭化物	-23.99±0.34	岩文140集
30 13	72SD1 (41SD2-B)	27層	1140±20	炭化物	-24.03±0.30	岩文140集
31 14	72SD1 (41SD2-B)	29層	1030±20	炭化物	-23.32±0.29	岩文140集
32 15	72SD1 (41SD2-B)	39層	1010±20	炭化物	-27.11±0.39	岩文140集
33	72SD1 (82-105)	C1	930±30	炭化材	-25.16±0.56	岩文147集
34	72SD1 (82-105)	C3	970±20	炭化材	-24.97±0.69	岩文147集
35	72SD1 (82-105・106)	C5	1000±20	炭化材	-23.66±0.35	岩文147集
36	72SD1 (82-105・106)	C6	910±20	炭化材	-21.80±0.54	岩文147集

	資料	出土遺構	層位	14C年代	資料の種類	δ13C (AMS) ‰	文献
37		72SD1 (82-105・106)	C8	970±20	炭化材	-25.69±0.37	岩文147集
38		72SD2	11層	950±20	炭化材	-24.48±0.49	岩文147集
39		21SD2	T5-c6	960±20	炭化物	-25.35±0.27	岩文153集
40		21SD2	T5-c5	1260±20	炭化物	-26.93±0.27	岩文153集
41		21SD1	T2-c3	950±20	炭化物	-26.96±0.27	岩文153集
42		21SD1	T2-c4	970±20	炭化物	-25.97±0.28	岩文153集

※測定はいずれも AMS 法による。測定は1～5は古環境研究所、6～12はベータアナリティック、13～17・33～38はパリオサーヴェイ、18～32・39～42は加速器分析研究所による。

なお、炭素年代測定については、特に暦年較正年代や測定の詳細は既往の概報に掲載されている。また、国立歴史民俗博物館のデータベースにも掲載されている。

(2) 文字資料

①資料の概要

堀内部出土の文字資料は表67のとおりである。なお、出土遺構の概要は第三章で記している。

記載資料の種類

- 1) 木製品では、i) 折敷片、ii) 木片 (折敷片を多く含む)、iii) 木筒 (付札状、題籤軸など)、iv) 将棋駒、v) 笹塔婆・呪符、vi) 削屑などがある。折敷片は折敷の片面もしくは表裏両面に記され、棧を取り外した上で記載されたものなどがある。木片は用途不明の板材などに記され、ちゅう木なども含む。板材に記したものもあるが、再加工された墨書折敷がを多く含む。木筒は題籤軸や付札である。用途がある程度判明する木筒類はきわめて少ない。笹塔婆、呪符は記載内容と形態からそれと判明するものである。削屑は墨書折敷などの板材等の削屑である。
- 2) 土器では、i) かわらけ、ii) 白磁などがある。かわらけは内外面の片面もしくは両面に文字が記載される。白磁は白磁壺類の底面に墨書が記されるものがある。
- 3) その他の資料として印章 (鋼印) がある。

記載方法 記載方法は、1) 墨書、2) 刻書、3) 針書がある。墨書が多く、ヘラ等で記されたとみられる刻書や細い針などで記された針書は少ない。

文字種別 記載には1) ひらがな、2) カタカナ、3) 漢字、4) 戯画がある。ひらがなやカタカナが多いが訳読できる資料は少ない。また、漢字とカタカナなどが混じる資料も含む。

表67 柳之御所遺跡堀内部地区出土の文字資料

遺物番号	遺構	資料種別	内容の概要	
			文字種別	内容
埋-7	21SD1	かわらけ	墨書	カタカナ 「□□□□」
埋-11	21SD1	かわらけ	墨書	-
埋-12	21SD1	かわらけ	刻書	漢字 「大カ」
埋-110	21SD1	かわらけ	墨書	-
埋-182	21SD1	かわらけ	墨書	-
埋-499	21SD1	白磁壺	墨書	漢字 底部外面
埋-690	21SD1	笹塔婆	針書	漢字 「南无□□□」
埋-742	21SD1	板	墨書	ひらがな
埋-743	21SD1	板	墨書	漢字
埋-1211	41SD2	笹塔婆	墨書	漢字 「南无大般若」
埋-1533	23SG1	将棋駒	墨書	漢字・ひらがな 「歩兵」「と」
埋-1534	23SG1	将棋駒	墨書	-
埋-1659	21SE2	板	墨書	漢字 「加」
埋-1660	21SE2	板	墨書	ひらがな 「□お」

遺物番号	遺構	資料種別	内容の概要		
			文字種別	内容	
埋-1661	21SE2	板	墨書	-	
埋-1662	21SE2	板	墨書	漢字	「如法」 □□
埋-1823	21SE3	かわらけ	墨書	漢字	
埋-1880	21SE3	かわらけ	墨書	-	-
埋-1881	21SE3	かわらけ	墨書	-	-
埋-1882	21SE3	かわらけ	墨書	-	-
埋-1885	21SE3	かわらけ	墨書	漢字	「呪」
埋-1886	21SE3	かわらけ	墨書	-	
埋-1887	21SE3	かわらけ	墨書	-	
埋-1888	21SE3	かわらけ	刺書	-	
埋-1987	21SE4	白磁壺	墨書	花押	底部外面
埋-2060	28SE2	かわらけ	墨書	-	
埋-2061	28SE2	かわらけ	墨書	-	
埋-2074	28SE2	折敷	墨書	ひらがな	
埋-2075	28SE2	板	墨書	-	
埋-2076	28SE2	板	墨書	-	
埋-2077	28SE2	板	墨書	-	
埋-2078	28SE2	折敷	墨書	-	
埋-2079	28SE2	錠塔婆	針書	漢字	「南无阿」
埋-2080	28SE2	折敷	墨画	-	「竊殿遺建物」墨画
埋-2081	28SE2	折敷	墨書	ひらがな	複数行のひらがな墨書
埋-2167	28SE4	かわらけ	墨書	-	
埋-2249	28SE4	かわらけ	墨画	-	人面墨書かわらけ
埋-2250	28SE4	かわらけ	墨丹	漢字	
埋-2344	28SE4	削屑	墨書	漢字	
埋-2345	28SE4	削屑	墨書	漢字	
埋-2346	28SE4	削屑	墨書	-	
埋-2347	28SE4	板	墨書	-	
埋-2377	28SE5	かわらけ	墨書	-	
埋-2402	28SE5	板	墨書	-	
埋-2506	28SE11	削屑	墨書	-	
埋-2525	28SE12	板	墨書	-	
埋-2742	28SE16	呪符	墨書	漢字	
埋-2743	28SE16	呪符	墨書	漢字	
埋-2744	28SE16	削屑	墨書	-	
埋-2772	28SE16	折敷	墨書	漢字	「人々給雨日記」。詳細は後述。
埋-2773	28SE16	折敷	墨書	カタカナ	複数行のカタカナ墨書
埋-2774	28SE16	折敷	墨書	ひらがな	
埋-2806	28SE17	板	墨書	-	
埋-2864	31SE2	板	墨書	ひらがな	
埋-3263	31SE7	筒札状	墨書	-	
埋-3347	41SE4	呪符	墨書	漢字	
埋-3422	21SK28	かわらけ	刺書	記号	
埋-3515	21SK55	板	墨書	梵字	
埋-3672	23SK72	かわらけ	墨書	-	
埋-3733	28K16	かわらけ	墨書	-	
埋-3775	28SK18	かわらけ	墨書	ひらがな	
埋-3900	31SK80	板	墨書	-	
埋-3901	31SK80	折敷	墨書	カタカナ	
埋-3965	31SK80	折敷	墨書	-	
埋-3999	41SK7	板	墨書	-	
49-142	49SE1	かわらけ	刺画	-	羽状の刺画
49-475	49SE1	筒札状	墨書	漢字	詳細は後述。
50-33	50SE3	かわらけ	墨書	-	
50-4041	50SE3	板	墨書	-	
50-4042	50SE3	板	墨書	-	
50-4043	50SE3	山物	墨書	カタカナ	
50-4044	50SE3	板	墨書	-	

遺物番号	遺構	資料種別	内容の概要		
			文字種別	内容	
50-4045	50SE3	板	墨書	-	
50-4046	50SE3	板	墨書	-	
50-4047	50SE3	板	墨書	-	
50-4048	50SE3	板	墨書	-	
50-4049	50SE3	板	墨書	-	
50-4050	50SE3	折敷	墨書	ひらがな	
50-5013	50SE3	銅印	跡遺	漢字	「登前村印」。詳細は後述。
52-5001	52SE8	折敷	墨書	-	
52-5002	52SE8	木簡	墨書	カタカナ	読みは後述。
52-5003	52SE8	板	墨書	-	
52-5004	52SE8	木片	墨書	-	
52-5005	52SE8	木簡	刺書	カタカナ	読みは後述。
52-6029	52SE8	かわらけ	墨書	カタカナ	
52-6030	52SE8	かわらけ	墨書	-	
55-4007	55SE1	木片	墨書	-	
55-4067	55SK29	木片	墨書	-	
55-4068	55SK29	木片	墨書	-	
55-4085	55SK43	木片	墨書	-	
55-1108	55SB11	深美壳	刺書	漢字	「上」
56-4085	56SD39	木片	墨書	-	
69-157	21SD2	かわらけ	墨書	-	
69-239	69SX3	木片	刺書	カタカナ・漢字	「タラウタユニ丈」。詳細は後述。
69-240	21SD2	木片	墨書	-	
70-360	70SK22	折敷	墨書	-	
70-361	70SK22	木片	墨書	-	
70-366	70SK22	木片	墨書	-	
70-380	70SK22	木片	刺書	-	
70-381・382	70SK22	木片	墨書	ひらがな	2片が接合。 「このちめうハラの□□□こめ」
70-383	70SK22	木片	墨書	ひらがな	
70-396	70SK22	木片	墨書	-	
70-428	70SK22	木片	墨書	-	
70-444	70SK22	木片	墨書	-	
70-469	70SK22	木片	墨書	-	
74-192	72SD1	かわらけ	刺書	漢字	「南□（无カ）」
74-234	72SD1	かわらけ	墨書	-	
74-960	72SD1	折敷	墨書	カタカナ・戯画	カエル戯画。詳細は後述。
74-1020	72SD1	折敷	墨書	ひらがな	
74-1049	72SD2	木片	刺書	ひらがな	
75-1	72SD1	かわらけ	墨書	-	
75-501	72SD1	題籤軸	墨書	漢字	「馬」、「日記」。詳細は後述。
77-125	21SD1	かわらけ	刺書	カタカナ	
78-5	21SD1	かわらけ	墨書	-	
78-122	21SD1	かわらけ	墨書	-	
78-123	21SD1	かわらけ	墨書	-	
78-311	21SD1	かわらけ	墨書	ひらがな	
78-529	21SD1	木片	墨書	-	
78-560	21SD1	符棋駒	墨書	漢字	「歩兵」 「」

これらの種別の対応は表68のとおりである。木製品では板片が多いが、既述のとおり折敷片を加工した残材とみられる資料を多く含む。実際の墨書資料の多くが折敷や、折敷の再利用時の墨書と考えられる。削屑などもあるほか、付札などの木簡類も少量ながら利用されたことが推察される。ただし、古代の官衙遺跡などで多数知られる文書木簡や付札などの木簡類等の出土は少ない。用途が推察できる資料は、題籤軸が1点、付札状の資料が2点確認されているのみである。

折敷などにひらがなやカタカナで複数行の記載がある文字数の多い資料もあるが釈読できておら

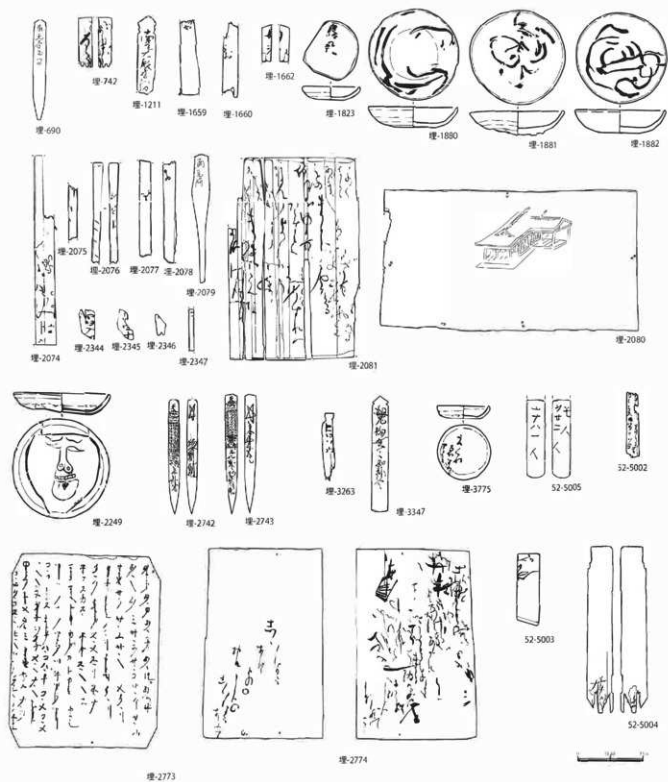


図292 文字資料 (1/6)

表68 墨書資料の種別

		墨書					刻書・針書				
		ひ	カ	漢	画	不明	ひ	カ	漢	画	不明
木製品	折敷	5	3	1	2	4					
	板片	4	2	4		36	1				
	木筒類		1	2		1		1			
	笠塔婆・呪符			5					1		
	符模劔	1		2		2					
	削屑			2		3					
土器	かわらけ	2	2	3	1	23		1	2	1	1
	国産陶器								1		
	輸入陶磁器			1		1					
その他	銅印			1							

ず、内容は判然としない資料が多い。折敷片などへの記載の多くは、宴会儀礼等での墨書の情景が知られているように（入間田1990）、様々な場面での墨書が想定される。

土器類ではかわらけへの墨書が確認できるものの、内容が判明するものは少ない。人面墨書も1点出土している。また、輸入陶磁器類への墨書も少量ながら確認できる。既に指摘されているように、輸送の際の記載とみられる。

なお、記載資料の種別に限らず釈読できる資料が極めて少ないことは、柳之御所遺跡の出土文字資料の特徴として挙げられる。これは資料の多くが折敷片などへの記載であることと対応しよう。現状では釈読できる資料が少ないが遺跡理解のためにも重要な資料であり、今後も継続的に釈読等の検討に取り組む必要がある。

②特徴的な資料

これらの文字資料のうち、遺跡の機能・性格を把握する上で重要な内容をもつと考えられる資料を抜粋して確認しておきたい。これら以外の資料も豊富な内容をもつものであるが、ここでは一部の図の掲載に留める（図292）。なお、図の一部は作成し直しているが、赤外線等で判別した文字などでも図としての表現ができていない線がある。

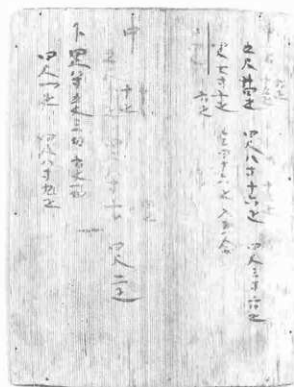
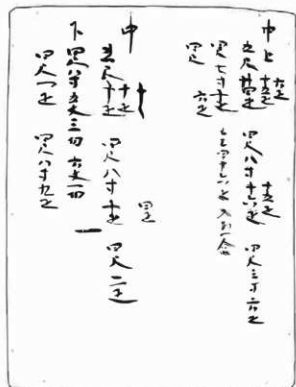
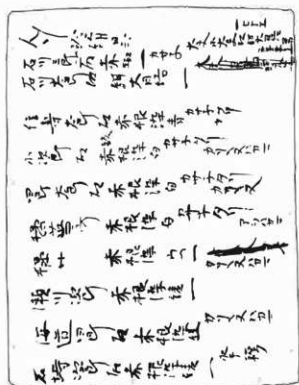
○埋-2272（図293）

【出土遺構】28SE16井戸跡

【出土状況の概要】多くの木製品とともに3層から出土している。土器類はロクロかわらけと手づくねかわらけの両者が含まれる。ロクロかわらけ大皿は口径平均14.4cm程、底径平均7.4cm程、器高平均3.7cm程である。ロクロかわらけ大皿は椀型の器形と皿形の器形のいずれもが含まれる。手づくねかわらけ大皿は口径平均15.2cm程、器高平均3.3cm程である。手づくねかわらけ大皿は口径が大きく器高も高い、大型の器形が多い。木製品では、糸巻が多く出土している。折敷や刀子の柄・鞘、刷毛、物差などの木製品も含まれる。文字資料では折敷片のほか、呪符も含まれる。本資料は1138年の年輪年代測定の結果が得られているが、1158年の年代測定結果が得られている資料も出土している。

【法量】301×226×5（mm）

【内容】「人々給絹日記」として知られる資料で、表裏両面に墨書がある。表面は折敷の長軸を横にして、漢字及びカタカナで墨書される。裏面は折敷の長軸を縦にして漢字で墨書される。表面は人名や染め物の色、衣装名が記載される。裏面は布の品質と単位が記される。記載の背景には複数説が提示



0 (1:3) 10cm

図293 埋-2272

されているが、記された人名の比定やそこから奥州藤原氏の支配領域などへの検討が行われてきた資料である。

資料は完形の折敷で、端部には棧を止めた釘穴が観察できる。本来は棧をもつ形態だったことがわかる。また墨書は棧があった位置にも及ぶ。折敷のお盆としての利用から、棧の取り外しを経て墨書が記されるという経過が理解できる。このことは記載時の様相を想定する際には重要である。

(表)

			一ヒトエ	
		大夫小大夫殿紺大目結	□(目カ) □(結カ)	
石川三郎殿	赤根一カサネ	七十五一		
		大夫四郎殿紺大目結	□(結カ)	
石川太郎殿	紺大目結一			
信寿太郎殿	赤根染青	カサネタリ		
	綾	サカ		
小次郎殿	赤根染白	カサネタリ	カリキヌハカマ	
四郎太郎殿	赤根染白	カサネタリ	カリキヌ	
橘藤四郎	赤根染白	□(カ)サネタリ	アヲハカマ	
橘□(藤カ)五	赤根染ウヘ一	シタキハ夫	□(目カ) □(結カ)	
		カリキヌハカマ		
瀬川次郎	赤根染綾一			
		カリキヌハカマ		
海道四郎殿	赤根染綾一			
		水干袴		
石崎次郎殿	赤根染綾一			

(裏)

中上	六疋			
		十五疋	十五疋	
	五尺廿四疋	四尺八寸十六疋	四尺三寸六疋	
	四尺七寸十疋	已上四十六疋	入物一合	
	四疋 六疋			
中	□□	四疋(尺カ)		
	十疋			
	五尺十疋	四尺八寸十疋	四尺二疋	
下	四尺八寸五丈三切	六丈一切		
	四尺一疋	四尺八寸九疋		

○49-475 (図294)

【出土遺構】49SE1

【出土状況の概要】多くのかかわらけや木製品とともに出土している。かかわらけはロクロかわらけと手づくねかわらけの両者を含む。ロクロかわらけ大皿は口径平均14.5cm程、底径平均7.4cm程、器高平均3.6cm程である。手づくねかわらけ大皿は口径平均14.5cm程、器高平均2.9cm程である。ロクロか

わらけ大皿は皿形の器形で、手づくねかわらけ大皿は口径の小さい資料が多い。口縁部が打ち欠きのロクロかわらけ小皿や、羽状の刻画がある手づくねかわらけが含まれる。木製品では折敷片や形代、刷毛が出土している。そのほか、付札状の墨書資料や木偶が含まれる。刀子が出土している。

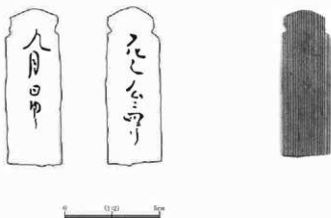


図294 49-475

【法量】82×28×2 (mm)

【内容】上端の左右に切り

り込みがある付札状の資料である。下端は折りにより破損している。墨書は薄いのが、表裏両面に記される。表面は物品名、裏面は日付かとみられるものの、残存も不良で確言できない。ここでは岡らとの共同研究での成果をあげておく（岡ほか2012）。

（表）花之色

二徒（落）

（裏）九月日納了

○50-5003 (図295)

【出土遺構】50SE3

【出土状況の概要】人為的に埋め戻されたとみられる土器類など多くの遺物が出土している。3層から出土し、白磁四耳壺が3a層から、銅印は3d層から出土している。これより上層も遺物の混入は少ないが人為的に埋め戻されたとみている。かわらけはロクロかわらけと手づくねかわらけの両者を含む。ロクロかわらけ大皿は口径平均14.3cm程、底径平均6.9cm程、器高平均3.3cm程である。器高が低い皿形の器形を呈する資料が多数を占める。手づくねかわらけ大皿は口径平均14.3cm程、器高平均3.0cm程である。口径14cm以上の資料が多く、15cm前後の大型の器形が多数を占める。体部のナデ調整も2段にわたるものが多い。完形の白磁四耳壺（図180-30）は頸部から体部上半及び底面付近に漆が染みこんだ麻布が付着する。福建省産とみられる。このほか木製品も3層から多く出土している。連歯下駄や杓子、漆塗りの部材や鋸歯縁状の木製品、宝塔、笹塔婆も含む。箸や折敷も出土し、折敷は棧の破片や完形に近い資料、再加工作品と多く出土している。

【法量】4.7cm程の印面で、持ち手を含めた高さは3.7cmである。

【内容】隅丸に近い方形の印面をもつ銅印である。陽刻で「磐前村印」と記される。持ち手には陰刻で「上」と記される。印面は中央がやや高く周縁部が低く反る。「磐前村」の読みと比定には複数の見解が示されてきたが、当地において「村」の行政単位があることを示す。また、その村名を記す印章が遺跡内から出土したことは、文書行政の存在と本遺跡の「磐前村」への関与を示し、遺跡の性格

を示唆する内容である。

井戸跡からの出土のため、利用の位置や廃棄時の様相の確定は難しいが、遺跡内の文書など行政機能やそれを担当する機構の位置を推察しうる資料である。



図295 50-5003

○69-239 (図296)

【出土遺構】69SX3

【出土状況の概要】堀の廃絶に伴う、人為的に埋め戻された土坑状の掘り込みで69SX3から、土器や多くの木製品とともに出土した。土器類はロクロかわらけと手づくねかわらけの両者を含む。ロクロかわらけ大皿では口径平均13.1cm程、底径平均7.4cm程、器高平均3.4cm程である。体部下端で大きく屈曲する器形が多く、器形の低い皿形を呈するものが大半を占める。手づくねかわらけ大皿では平均13.4cm程、器高平均2.9cm程である。口径が14cm程を超えるやや大型の器形を含むものの、多くは口径13cm前後以下の小型の器形を呈する資料が多い。その他、糸巻などの紡織具や折敷片、形代など多くの種類が含まれる。漆製品も出土している。また、橋の部材が出土している。

【分量】135×21×2 (mm)

【内容】下端は折れて欠損しているが、上端及び左右両側面は完形で切りによる成形である。板片にカタカナと漢字で「タラウタユニ丈」と記される。カタカナの「タラウタユ」と漢字の「ニ丈」では墨痕が異なり、異筆とみられる。「タラウタユ」は人

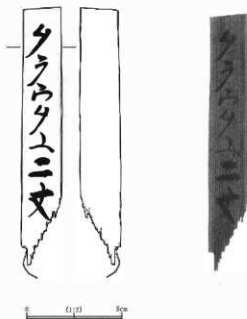


図296 69-239

名で「太郎大夫」、「二丈」は物品の数量もしくは普請の際の区間の単位と考えられる。鎌倉市北条小町邸跡での出土例や（鎌倉市教委1996）、堀跡の廃絶時の雑多な廃棄土坑と捉えうる遺構からの出土は普請の割当といった内容の后者を想起させるが、資料の分量が小さい点で若干の疑問が残る。また、鎌倉での出土例とは人名と単位の記載が逆になる。柳之御所遺跡出土の他の文字資料と比して、整った書風と観察できる。

○74-960 (図297)

【出土遺構】72SD1

【出土状況の概要】内側の堀の北端部から、多くの木製品とともに出土している。下層から中層にかけて漆製品や折敷などの木製品が多く出土した。この層は遺跡廃絶後の自然堆積層だが遺物は12世紀代の資料に限られ、12世紀後半の年代が考えられる。多くの木製品とともに下層から出土した。底部内面に「南□（无カ）」の刻書があるロクロかわらけなどを含む。

【法量】55×146×6（mm）

【内容】折敷に再加工が行われたものとみられ、左側面を除き、上下端及び右側面は切りによる再加工が行われる。表面は一部が薄いケズリにより平滑に仕上げられている。折敷を転用したとみられる板片に、擬人化されたカエルの戯画とカタカナが記される。墨画は板片の右側に、右手に扇とススキをもつ直立の擬人化されたカエルが描かれる。上部に複数の波状の線が確認できるが、背景等は描画されない。墨書は左側端部に二行確認でき、カタカナで一七字分記載される。判読できる文字も含まれるが、墨痕が薄い部分が多く全体の積読はできない。左側面端部は再加工の痕跡がなく、本来の墨書も二行分と考えられる。

アマリニモ□□イウ□

□□□□□□□□

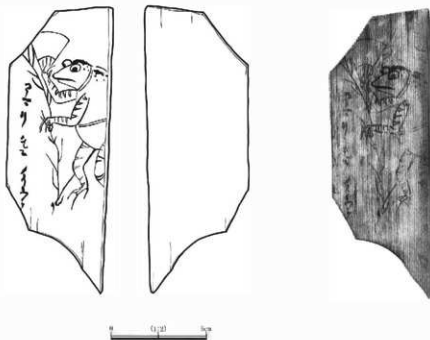


図297 74-960

○75-501 (図298)

【出土遺構】72SD1

【出土状況の概要】堀跡の下層にあたる自然堆積層から漆製品や下駄などの木製品が出土し、本資料もこれらとともに出土している。

【法量】129×13×3 (mm)

【内容】題籤軸で、表裏両面に墨書がある。題籤部の左半および軸部の下部が欠損するが、その他は残存する。題籤部の長さは2.9cm、軸部の幅は0.8cm、厚さは全体が0.3cmほどである。題籤部の平面形は先端がやや尖る五角形に近い形状、軸部の断面形は方形である。表裏面はいずれも調整が行われ平滑な面となる。軸部の下端は切り込みが入り、人為的な折りによる欠損である。それぞれ、「馬」「日記」と記される。題籤部の大きさから本来の字数を保つと判断できる。「馬」の出納に係わる「日記」の内容をもつ文書に伴う題籤軸と想定できよう。

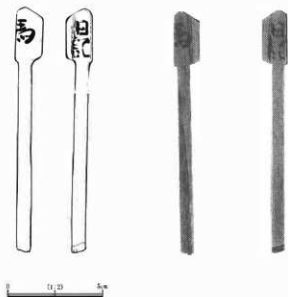


図298 75-501

堀の自然堆積土からの出土のため、本来の利用位置は確定が難しい。堆積土層の流入の様相からは、堀内部からの流入と把握でき、23SG1池跡の西側周囲との見方が自然であろう。文字の内容と題籤軸の性格から馬の出納に係わる文書が、遺跡内で保管されていたことを示す。出納管理などの行政機能との関係を示唆する。地名を弁別するような記載がないことも、本遺跡に関わる資料であることを補強すると思われる。奥州藤原氏が貢馬等により、都との関係を強めていたことを想起すればより興味深い資料である。なお、手慣れた筆記のようにも観察される。

③文字の釈読

文字の記載内容については埋文報告段階で「人々給絹日記」の釈読が示されているほか、近年行った共同研究での成果がある。ここでは、そこで示された内容を記しておく（岡ほか2012）。なお、共同研究は岩手県教育委員会と同陽一郎、阿部勝則、小岩弘明、時田里志、七海雅人、平田光彦の各氏とで実資料等を用いながら検討会を開催した。成果の一部は既に公表している（岡ほか2012、岡ほか2013）。

これら以外にも多くの文字資料があるものの、見解を共通して示すには至らなかった資料が多い。先にも記したとおり、今後も継続して取り組む必要がある。

○埋-1823

麁（慶・度）燈カ籠カ

○埋-2273

タタテ タタ (チ・ヘ・ミ・ア・マ・フ) タタ (ウ・チ) タタル タタキ
 タタキ タタミ ササラ ササコ ササケ ササユ
 ササ (ヤ・メ) ササ (ヤ・メ) ササ (レ・エ) ササキ ククメ タタ(ツ・リ)
 クカ々オ クカ々シ ククリ タタツ ククツ
 ク々 (ア・ヘ) タタ□ タタメ スケリ スケリ
 スス (ハ・ア・カ) (ネ・ス)々カ ススキ ククケ ススキ キコハ
 ママコ ママキ □□□ タタ(ヌ・シ・ヘ・子) カカト タタ□ マ (カ) タシ
 □□□ □□□ □々 (ミ・マ・ク) ツツ (ミ・マ) (サ・ソ) 々キ ツツキ ツツキ ツツキ
 ココ (マ・ミ・フ・ヘ・ア) キ (キ)々ス □々ナ ハハコ タタキ ヨヨメ ココ (ヤ・メ) □
 □キ キキス ヨヨナ ヨヨチ メメキ ナ ナキ タタ□
 ワワ (ノ・ク) □々メ タタミ □□キ ヤヤケ ナナヲ
 ココ□ タタコ ススキ ヒヒキ コ□ウ (ハ・チ)々レ □□ク チ□□

※本資料には一部に抹消の墨書裏かともみられる額が確認できるものの、実測図及び釈文として確定には至っていない。

○埋-2774

しはしな (よ) る (ら)
 ま (オ・さ) して (は・け)
 も (と) のは □カ
 おも (む・し) し (こ) (い) ろの (わ)
 しはしな (よ) る (ら)
 す□□て

○埋-3775

うへ (え) くれ
 なか (い) すわう
 やまふき

○埋-2344

四段 (臥) 入

○50-4050

みと (運・し) 人 (乃) 乎求尔泉
 ひら (と) 清 (尔) 泉
 あはれは白 □
 定 (善・御) 物ひ (代) 事 (う)

○52-5002

カチ (ナ) ニ [アカキニ (い) (ン)]
 リ (サ) カ (テ)
 マ イ ラ ス ハ カ リ ソ ヨ

○52-5005

(表) 七人
 ウ (フ) 廿二人
 (裏) 一 (ナ・十) ハ (八) 一人

第2節 柳之御所遺跡堀内部地区の遺構変遷

(1) 堀跡・橋跡の変遷

①堀の概要

柳之御所遺跡を区画する堀と溝に1)外側の堀跡、2)内側の堀跡、3)内溝、4)外側の溝がある。遺構の内容はⅢ章で記したが、改めて概要を確認しておく。

○位置ごとの概要

【南端部】

- 遺構の変遷 外側の溝 (21SX3) 構築→埋め戻し
 外側の堀跡 (21SD2) 構築→掘り直し→69SX3・21SX4の改修・埋め戻し→自然堆積
 内側の堀跡 (21SD1) 構築→自然堆積
- 遺構の重複 外側の堀跡 (21SD2) →21SX4→内側の堀跡 (21SD1)
 外側の堀跡 (21SD2) →76SD3→内側の堀跡 (21SD1)

【猫間ヶ淵周辺・その他】

- 遺構の変遷 内溝 (56SD40) 構築→埋め戻し
 外側の堀跡 (56SD39・72SD2) 構築→自然堆積
 内側の堀跡 (56SD38・72SD1) 構築→自然堆積
- 遺構の重複 整地層 (75整地層1) →外側の堀跡 (56SD39・72SD2)
 整地層 (56整地層2) →外側の堀跡 (56SD39・72SD2)・内側の堀跡 (56SD38・72SD1)

【北端部】

- 遺構の変遷 外側の堀跡 (72SD2) 構築→掘り直し→埋め戻し
 内側の堀跡 (72SD1) 構築→自然堆積
- 遺構の重複 なし

○2条の堀跡(外側の堀跡、内側の堀跡)の概要

【外側の堀跡】

規模 幅5.5～8m、深さ1.8～2.5m。

断面形状 逆台形を呈する。大規模な改修が一度行われ、新期の堀跡は一部でV字に近い形状を呈する位置がある。

埋土の特徴 下層は自然堆積土で構成され、上層が人為堆積土で埋め戻される範囲が多い。南端部の21SX4の周囲など全体が埋め戻される位置や、地業痕跡とみられる部分がある。

その他 堀の掘削土は一部では外岸側の盛土に、一部は内岸側の整地に用いられたとみられる。

【内側の堀跡】

規模 幅11～14m、深さ2.4～3.6m。

断面形状 南端部で逆台形・北端部でV字を呈する。いずれの位置においても、掘り直し等の痕跡は明確ではない。

埋土の特徴 自然堆積土層。

その他 21SX4など外側の堀跡の上層の人為堆積土は、その由来を内側の堀の掘削土に求められる可

能性がある。

【重複関係のまとめ】

柳之御所遺跡堀内部地区を区画する2条の堀跡は、これまでも指摘されてきたとおり、ほぼ全体にわたって平行して位置する。そのため、遺構の直接的な切り合いによって新旧が確認できる範囲は少ない。南端部においてのみ、外側の堀跡の最終の改修や地乗と位置づけられる21SX4（及び77SX1などの一連の遺構）を介して、外側の堀跡（21SD2）→内側の堀跡（21SD1）の新旧関係が確認できる。また、遺構の性格は不明だが76SD3も、この溝を介して同様の新旧関係（外側の堀跡（21SD2）→内側の堀跡（21SD1））を示す。その他の猫間ヶ淵や北端部とした範囲では遺構の直接の重複関係による新旧の確認はできない。ただし、遺構の重複がない位置も含めて、外側の堀跡→内側の堀跡の遺構の重複から想定される構築時期の新旧関係が逆転する要素や同時構築などの併存を積極的に示す事象は、遺構の堆積土の様相や各地点の土器の特徴などからは確認されていない。

【土層の特徴のまとめ】

2条の堀跡の堆積土の様相は大きく異なり、想定できる構築から埋没の諸過程もそれぞれの堀跡で異なる。外側の堀跡は浚渫と埋め戻しの様相が確認できる。外側の堀跡は全体での土層個々の時期的対応は長大な遺構のため確定できない部分も残るが、掘り直しと埋戻しとみられる痕跡が確認でき時間的に長期に及ぶ機能を果たしたとみられる。一方で、内側の堀跡は全体に自然堆積により埋没する。内側の堀は構築後に顕著な掘り直しなどは行われず自然堆積により埋没する。土層の状況からは比較的単純な埋没過程が想定できる。自然の埋没などに伴う堀の浚渫の痕跡が確認できないことから、遺構が機能した時間幅も12世紀代の中では短期間に留まると想定できる。

②堀跡・橋跡の変化と堀周辺の様相

○概要と位置ごとの様相

これらの特徴と遺構の重複関係から想定できる、各範囲での構築から埋没に至る過程を模式的に示す。

【南端部】

- i) 遺跡が位置する段丘面から低地である猫間ヶ淵に向かって下がる傾斜変換位置より、やや地形的に下る位置に外側の堀が構築される。そのため堀の構築位置は地形的に低地部分に入り、外側の肩は盛土によって形成される位置がある。i)の段階もしくは以前に外側の溝（21SX3）が位置づけられる可能性がある。
- ii) 外側の堀は自然堆積によって埋没が進行する。そのため、掘り直しなど改修が行われる。
- iii) 内側の堀が構築される。外側の堀は人為的な土層で埋め戻される。上端まで精緻に埋め戻される位置と（南端部①）、一部や内岸側を主にした埋め戻しで、他の部位が窪みとして残存して自然堆積による埋没が進行する位置がある（南端部②）。
- iv) 外側の堀、内側の堀のいずれも自然に埋没する。

【猫間ヶ淵周辺】

- i) 遺跡が位置する段丘面から猫間ヶ淵に向かって下がる傾斜変換位置より、やや地形的に下る位置に外側の堀が構築される。堀の平面は全体が低湿地である猫間ヶ淵に入るため、特に外側の肩は盛土によって形成される位置がある。
- ii) 外側の堀は自然堆積によって埋没が進行する。

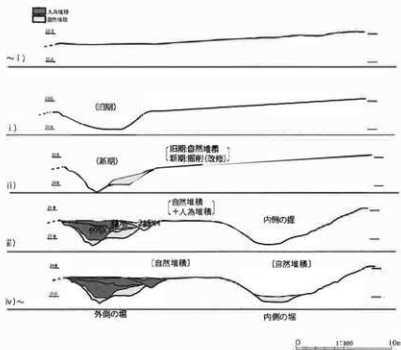


図299 堀の変遷模式図 (1)

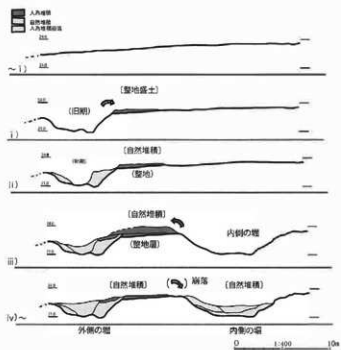


図300 堀の変遷模式図 (2)

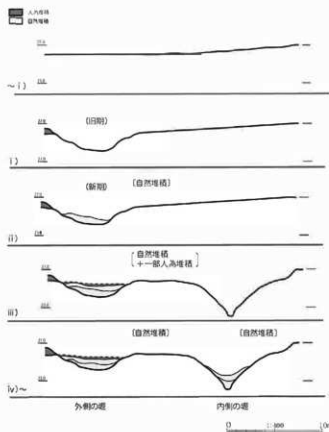


図301 堀の変遷模式図 (3)

- iii) 内側の堀が構築される。外側の堀は人為的な土層が確認できる位置もあるが、窪みとして残存する位置がある（南端部②に類似）。
- iv) 外側の堀、内側の堀のいずれも自然に埋没する。

【北端部】

- i) 外側の堀が構築される。79SX1土橋が地山の掘り残しにより形成される。また、i)の段階もしくは以前に内溝（56SD40）が位置づけられる可能性があるが、外側の堀及び内側の堀と位置は異なる。
- ii) 外側の堀は自然堆積によって埋没が進行する。そのため、掘り直しなど浚渫が行われる。
- iii) 内側の堀が構築される。外側の堀は人為的な土層で埋め戻される。上端まで精緻に埋め戻される位置が、79SX1が機能した近接する周囲などに限定的に確認できるほか、窪みとして残存する位置とがある。
- iv) 外側の堀、内側の堀のいずれも自然に埋没する。

○堀跡周辺の様相

それ以外の堀に関連する要素をまとめておきたい。平泉の中心域では無量光院跡などで土塁が確認されていることや、平泉の前代にあたる秋田県大鳥井山遺跡など堀と土塁が確認されている事例があることから、柳之御所遺跡においても土塁の有無が議論となってきた。ここまで記したように柳之御

所遺跡では明確な土塁は検出されていない。ただし、堀跡周辺で確認された区画施設の有無と関連する調査成果として、堀跡周辺の整地や遺構の分布状況があり、ここではこれらについてまとめる。

【整地】

整地は遺跡の縁辺部で確認されている。南端部では21整地層や77整地層が、堀の周囲に平坦面を造成するように行われる。堀との位置関係にしたがって整理しておきたい。

外側の堀の外側 南端部では整地は確認されていない。猫間ヶ淵の周囲で整地が行われる（75整地層）。このほかに平面的には検出が難しいが、外側の堀では外側の肩を盛土によって成形している位置がある。北端部では堀外部の遺構分布域にあたり、低地にあたる他の範囲とは様相が異なる。堀外部の造成に伴う整地がある。

外側の堀と内側の堀の間 南端部では外側の堀と内側の堀の間が整地される（77整地層3）。また、75-99付近でも整地が確認されている。このほか、平面的には検出されていないが、Y=82付近で内側の堀跡への人為層の崩落が確認できる。猫間ヶ淵周辺では56-66付近で整地が確認されている。北端部ではその後の水田造成による削平もあるため判然としないが、整地層等は確認されていない。

内側の堀の内側 南端部では内側の堀の内側で整地が行われる（21整地層・77整地層1・77整地層2）。猫間ヶ淵の周辺では検出面からは旧地形も平坦面として想定でき、整地は確認されていない。北端部とした範囲の堀内部にあたる東側で確認された56整地層は他地点ほどの傾斜をもつ旧地形ではないと推察されるが、猫間ヶ淵への傾斜地とそこへの小規模な自然流路などを造成し平坦面を整備したとみられる。

このほか、堀との位置関係は不明だが、68整地層も平坦面の造成のため低地部分に行われた整地と

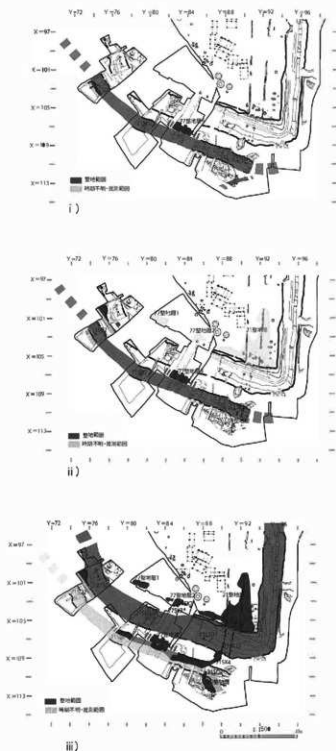


図302 南端部の堀と整地の変遷

捉えられる。

整地の様相 これらの整地の変化は南端部において把握可能である。前述の堀の変化と対応して図示した(図302)。

【遺構の分布状況】

遺構の分布状況についても堀との位置関係から整理しておきたい。

外側の堀の外側 南端部から北端部のいずれの位置でも明確な遺構は確認されていない。

外側の堀と内側の堀の間 南端部から北端部のいずれの位置でも明確な遺構は確認されていない。

内側の堀の内側 南端部では内側の堀の内側における遺構分布の散漫な範囲が目目されてきた。21SX36、21SX37といった土坑群や平面形態が類似する77SK2、77SK3が確認されている。猫間ヶ淵周辺で堀内部に入った位置には31SX1・31SX2が存在する。北端部では縁辺部に近い位置まで遺構が分布する。柱列などは少なく、北端の72柱列1・2が堀に沿うような位置関係にあるものの、延長が短く性格は判然としにくい。

③堀の変遷と年代的位置づけ

○相対的な変遷

これらから想定できる、遺跡を画する溝と堀の変遷と各時期における堀周辺部の様相をまとめる。

なお、内側の堀跡の構築時期が外側の堀跡の機能時にかかる可能性など、両者が部分的に併存する可能性は完全には排除できないが、構築から主たる機能時までについて同時期とする根拠は得られておらず、ここまで記したように両者の様相には相違が顕著である。南端部で確認された遺構の重複や埋戻しなどの様相から想定される2条の堀の新旧関係は、特に埋没時の土層状況については顕著なように、外側の堀→内側の堀の新旧を想定できる。2条の堀がそれぞれ同一の遺構として認識できることから、地点ごとに波濤の微細な時期や回数などに差はあり得るものの、2条の堀の新旧関係は遺跡全体に敷衍できる可能性が高いと考える。ここでは上記の遺構の変化から、Ⅰ～Ⅲの3時期を想定した(表69・図303)。

【堀Ⅰ】

堀の様相

遺跡を区画する遺構に内溝(56SD40)が想定される。南端部では、時期を確定する遺物は得られていないが、外側の溝(21SX3)も遺跡の機能開始時期に遡りうる。また、外側の堀跡もこの段階での構築が想定できる。

内溝(56SD40)は遺跡の西北部を画する遺構である。構築後に人為的に埋め戻され廃絶し、周囲

表69 堀の変遷と関連遺構

期	外側の堀	内側の堀		内溝	外側の溝	その他
Ⅰ	21SD2・72SD2 ↓ 79SX1			56SD40 ↓ 56SX16	21SX3 ↓	
Ⅱ						
Ⅲ	(21SX4ほか・69SX3) ■	21SD1・72SD1 ↓	21SX35・23SX12 ・41SX2			75SX1

で確認されている遺構はこれより新しい。南北の両端部は途切れており、遺跡の位置する自然地形の端部との様相には調査状況からは延伸しないとみられるが、不明な点が残る。56SX16土橋により通過できる。

外側の溝（21SX3）は南端部でのみ確認されている遺構である。構築後に人為的に埋め戻される。直接重複する遺構はなく、新旧関係は不明である。遺跡の南端部でもっとも外側の遺構で、南端を画するとみられるものの部分的な検出にとどまり、全体の延長や走向方向には不明な点が残る。

外側の堀跡は遺跡の堀内部地区の全体を囲む。内溝との新旧や時間的な平行関係の有無は遺構の重複もなく判断できる要素がない。渡河地点として、北端部で79SX1土橋で堀内部と堀外部が接続する。南端部では69整地層を確認した周囲に橋脚をもつ橋の存在が推察できる。この段階とした遺構は出土遺物も少なく、直接的な事象から構築時期を確定することは難しい。ここでは全体を囲む堀が存在したと想定し、外側の堀が遺跡の機能が開始した当初まで遡ると想定した。

これらのうち外側の溝（21SX3）や内溝（56SD40）と外側の堀跡との新旧関係は遺構の重複がなく確定できない。そのため、これらの遺構が先行し、内溝のみもしくは内溝と外側の溝のみの時期などを想定する余地が残る。その場合にはI期はさらに細分できる可能性がある。

周囲の状況

外側の堀が構築及び機能した段階の遺構として、外側の堀に関連する遺構を確認する。堀の外側には一部で盛土整地が行われる位置がある。ただし、これらの盛土整地は堀を構築する際に肩部分を成形したもので、低地部分でもあることから広範な造成やさらに高位へと構築する土塁等の想定は難しい。

また、外側の堀と内側の堀の間に整地が行われる。しかし、いずれの位置でも低地部や斜面地を平坦に造成したことがわかるものの、堀の堆積土からは崩落土が少ないことが観察できる。そのため、整地による造成面を当時の地表面と想定した場合に、より高位への構築物としては顕著な比高のある構築物は想定が難しい。この段階では大規模な土塁といった区画施設の想定は難しいと判断できる。整地層上面では明確な遺構は確認できておらず、平坦面の利用の有無や形態は判然としにくい。

【堀Ⅱ】

堀の様相

遺跡を区画する遺構に外側の堀がある。外側の堀は構築当初の堀は自然堆積による埋没が進行し、掘り直しなど複数回の浚渫がある。浚渫の回数は位置によっても異なるが、遺構全体で広い範囲で、断面形状の変化を伴う掘り直し改修が確認できる。これを特に大きな変化と捉え、この改修時をⅡ期と想定する。ただし、この改修においても走向位置や方向は改修以前と同様のものを保つ。また、改修以前と同様に、北西側では79SX1土橋で堀外部と接続するほか、南端部では69整地層を確認した周囲に橋脚をもつ橋の存在が推察できる。

なお、外側の溝（21SX3）の併存可能性は排除できないものの、人為堆積による埋め戻しが行われるなどからこの段階では埋め戻されていたと想定した方が周囲の状況と整合的に判断している。

周囲の状況

外側の堀が構築、機能した段階の遺構として、外側の堀に関連する遺構を確認する。堀の外側に、一部で盛土整地が行われる位置がある。ただし、これらの盛土整地は堀を構築する際に肩部分を成形したもので、低地部分でもあることから広範な造成や土塁等の想定は難しい。

また、前代の様相が継続し、外側の堀と内側の堀の間に整地がみられる。しかし、いずれの位置で

も低地部や斜面地を平坦に造成したことがわかるものの、堀の堆積土からは崩落土が少ない。そのため、整地による造成面を当時の地表面と想定した場合に、より高位への構築物としては顕著な構造物等はあまり想定できず、この段階でも大規模な土塁等の区画施設の想定は難しい。

【堀Ⅲ】

堀の様相

遺跡を区画する遺構に内側の堀がある。内側の堀は構築後、自然堆積により徐々に埋没する。遺跡廃絶時にも埋没は堀底面から1m弱程度にとどまり、大部分は堀としての形状が残る。遺跡の廃絶に至るまで、内側の堀によって遺跡が区画されていたと理解できる。

この段階では外側の堀は、南端部と堀外部と接する位置など限定的な範囲で全体的に埋め戻しが行われる。南端部では21SX4などの人為的に埋め戻される遺構がある。これらは内側の堀で橋が想定される位置の延長部でもあり、注目できる。橋などの関連施設には、南端部では21SX35橋跡があり遺跡外と接続する。この段階で外側の堀はこの周囲では上端まで埋め戻される。また、遺跡の南東側では23SX12橋跡があり、北上川方面へと向かう。北西部では外側の堀に架かる79SX1周辺では周囲を含めた整地が行われている。南端部の様相を勘案すると対応する位置に内側の堀に架かる橋が推察できるものの、確定できていない。この位置は水田等による後世の削平もあり、橋の存否の確定には堀跡の埋土堀削を伴う精査がやや広範に必要となり、困難な条件も多いと思われる。周囲の状況からはこの周囲に橋が想定される。堀外部の道路の調査などから、周囲の様相をふまえた検討が必要と考えられる。このほか、41SX2橋跡が猫間ヶ淵の低地方向へと下る位置で確認されているものの、性格は判然としない。

外側の堀は上述のように全体が埋め戻される位置がある一方で、その他の範囲では部分的に人為的な土層が確認できるものの堀の上端部までは至っていない。上端まで埋め戻されない位置では自然堆積により埋没しながら、渡漕等は行われず部分的に堀の痕跡が窪んだ形状として残るとみられる。低地帯に位置することから自然流路としても排水等に供したとみられる。

周囲の状況

内側の堀が構築、機能した段階では内側の堀の両岸で整地土層が確認されている。

内側の堀の内側平坦部に分布する21整地層は、これらの位置で遺構が希薄なため土塁を想定する見方も提示されてきた。しかし、内側の堀の堆積土は内岸側から自然に流入した状況が確認でき、その土層は人為層に由来する土質は少ない。内側からの流入のあり方からは、21整地層が所在する範囲などの内側の堀の内側部分では遺跡廃絶時に、自然の土などの流入を妨げるような構築物がなかった可能性がより高いと判断している。

内側の堀の外側にあたる外側の堀と内側の堀の間では、南端部で整地が行われる。調査時には当該範囲は平坦に削平されており、本来の地形や遺構の有無は不明である。ここで注目されるのはY=82付近の断面で確認された人為層に由来する崩落土層である。この岸側からの堆積土ではY=84付近では円礫の転落もみられる。また、21SX4などの外側の堀の廃絶に際して確認される人為的に埋め戻される遺構も注目できる。これらは不整形な平面形状の掘り方が連続して溝状になる遺構として把握でき、底面付近での凹凸も顕著である。人為的な埋戻し土も精緻に行われる範囲が広く、整地と類似する土質での地業も想定可能である。分布位置や走向方向から、土塁等の施設に伴う基礎地業としての性格を想定したい。その場合、土塁を直接示す事象は得られていないものの、これらの土層の分布や関連遺構は高さをもつ構築物の存在を間接的に示す可能性がある。これらを勘案しても、これらの土

層が確認できるのは遺跡南端部に限られており、内側の堀が機能した段階では土塁状の高まりが存在した場合でも、現状では遺跡南端部の一部の範囲に限定されよう。

なお、いずれの位置においても大部分で旧表土等は削平を受けている。そのため整地層の上面において柱列や溝を伴う堀などの遺構については、存否を検討する材料がない。

ところで、ここまで述べた堀の理解からは、内側の堀に壊されるなどの内側の堀に明確に切られる遺構が確認されておらず、南端部においては幅15m程の範囲で整地を除いて顕著な遺構がみられない空間地が存在する。この事象は猫間ヶ淵周辺の範囲についても同様である。北端部は縁辺部に近接して遺構が確認されており、内側の堀に壊された部分が推察できる。この南端部及び猫間ヶ淵周辺における当該範囲の遺構密度の薄さは低地帯に近いことや後述する遺構の時期変遷から、遺跡の機能開始時に近い段階では、縁辺部までの利用が特に南端部において限定的だったことに起因すると思われる。これは遺構分布や、遺物が確認されている様相とも矛盾しないものの、比較的広い範囲の様相と性格が不定なことは課題として残る。

○各期の年代

これらの各期の年代的位置づけは、いずれの遺構についても実年代の確定は難しい。特に、構築の時期を決定する資料は少ない。

【外側の堀】

南端部 旧期の堀跡と捉えられる古い段階の堆積土からの出土遺物は少ないものの、南端部で確認された遺物は12世紀中葉より古い特徴を示す(土器Ⅰ・Ⅱ)。新期の堀跡からも遺物は多くない。その後の埋め戻し等に伴う人為土層及びその直上の土層からは比較的多くの出土遺物があり、12世紀中葉から後半の特徴を示す(土器Ⅱ・Ⅲ)。特に12世紀後半の特徴を持つ資料が多い(土器Ⅲ、図304)。

猫間ヶ淵周辺 堀の堆積土からは出土遺物が少ない。

北端部 下層からは出土遺物が少ない。埋没時に近い上層の資料は12世紀後半の特徴をもつ(土器Ⅲ、図305)。

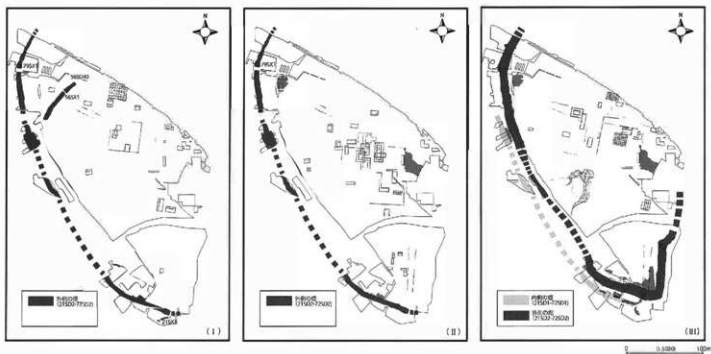


図303 堀の変遷

【内側の堀】

南端部 南端は最下層の出土資料でも12世紀後半の特徴をもつ（土器Ⅲ）。下層以上では12世紀末とみられる特徴を示す（土器Ⅲb）。

猫間ヶ淵周辺 堀の堆積土からは出土遺物が少ない。

北端部 北端部では猫間ヶ淵に近接する範囲で12世紀中葉～後半以降のやや幅をもった遺物が含まれる（土器Ⅱ～Ⅲ）。その他は12世紀後半の特徴をもつ遺物でまとまる（土器Ⅲ）。下層出土の資料でも、12世紀後半のうちでも後出の特徴をもつ遺物が多い（土器Ⅲb）。

【各期の年代】

堀Ⅰの段階は構築年代の確定は難しいが、土器類の出土が寡なこと、少量の土器類がロクロかわらけに限定されること、器形の特徴が古相の様相を示すことが特徴としてあげられる。資料が少なく確定は難しいが、これらは12世紀前半代に遡る可能性のある土器群と捉えておきたい。

堀Ⅱの段階は外側の堀を埋め戻す21SX4の土器類に12世紀後半代の土器類を含むことから、下限を12世紀後半代におくことができる。上限の確定は資料が少ない。旧期の土層からの資料では12世紀中葉の特徴をもつ遺物がある。新期の堀跡では12世紀後半の遺物と12世紀中葉でも後半のやや古い特徴をもつ遺物が含まれる。

堀Ⅲの段階は内側の堀跡の堆積土出土の遺物に12世紀後半代の土器類を含むことから12世紀後半以降におくことができる。内側の堀の最下層の土器群は12世紀後半の遺物を多く含み、北西部を除いては12世紀後半の中でも後出の特徴を持つ資料が多い。

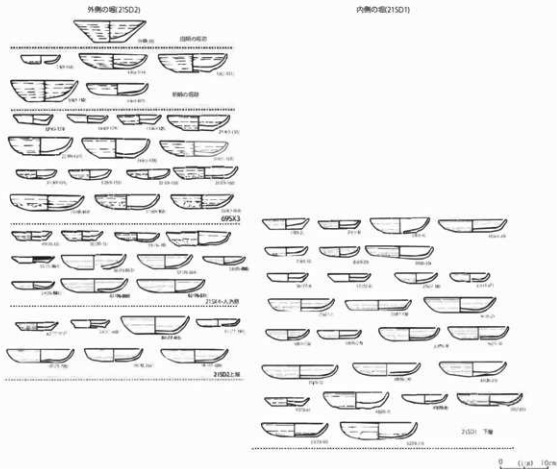


図304 堀跡出土の土器（南端部）

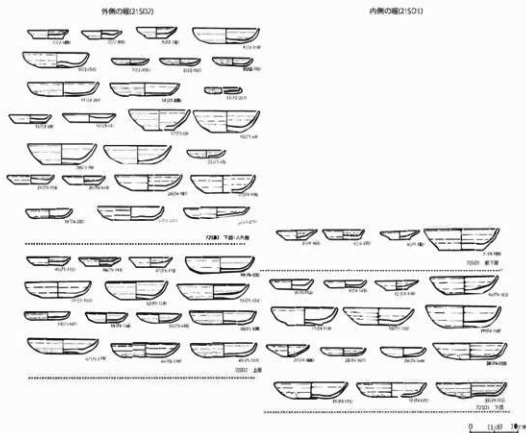


図305 堀跡出土の土器（北端部）

これらから、新しい段階から実年代を想定すると堀Ⅱの段階の年代は12世紀後半から末葉における。堀Ⅱの段階は12世紀中葉以降から12世紀後半と想定する。堀Ⅰの段階の年代は堀Ⅱの段階の想定年代を勘案し、12世紀中葉以前として12世紀前半から中葉を想定しておきたい。ただし、堀Ⅰの段階が細分可能であれば、外側の堀の構築がⅠ段階としたうでやや後出する可能性がある。

(2) 遺構の変遷

①史跡整備における検討の概要

遺跡内の建物などの変遷はこれまでも検討が行われており、簡単な研究史は第Ⅱ章に記した。これらの先行研究でも指摘されているように、遺構間での空間的な重複が多く、一方で遺構の直接的な重複関係の把握には事例の少なさも含めて多くの困難な事象がある。遺跡内は全体に大きく削平を受けており柱穴の残存状況が不良なことなどが挙げられる。そのため、遺構の変遷について、総合的に整理しきれない部分があることが指摘されてきた。一方で、多くの先行研究でも相対的な変化には共通した理解も多く、一定の方向性が示されてきたものと理解できよう。ここではこれらの先行研究で有意と認識できる属性から、変遷の想定と提示を行う。

遺跡内の建物は軸方位によって分類が可能である。整備にあたっての整理検討では軸方位と遺物の変遷を対応させて検討を行ってきた（柳之御所調査事務所2005～2008）。その際には堀内部地区全体での軸方位の傾向を示し、変遷を想定した（柳之御所調査事務所2008）。検討の経過は既報に譲るが、

そこでの検討内容を大まかに下記のとおりまとめることができる。

- ・建物軸方位は①0～5°、②6～9°、③10～13°、④15～25°に分類できる。
- ・軸方位による変化と土器の変化とを概ね対応した傾向を把握できる。
- ・軸方位②→①→③→④の変遷を想定した。

ただし、このうち軸方位③は方位の幅が広く計画性を想定できるかはやや留保される。また、軸方位③の建物群は、土器群との対応も他の群ほど明瞭な対応を示さないことが指摘されている。

これまでの整備等に際しての検討から、軸方位②6～9°→①0～5°(→④(15～25°))→③10～13°の変遷が理解できる。以下ではこれらの成果をふまえ、遺跡範囲全体で軸方位と重複関係の再整理を行う。軸方位による同時期性の設定や重複関係と出土遺物による時期の想定は、柱穴出土遺物が限定的であることや同一軸方位の建物を同時期に想定するなどの方法論上の課題は内包するものの、掘立柱建物を中心とした遺跡での検討のあり方として大方の支持を得て行われてきた一般的なものであろう。これは本遺跡に係る既往の研究においても、多くの論で軸方向が重視されてきたことでも窺える。

また、軸方位による変化と土器の変化とを概ね対応すると想定しているが、そこでは土器群を5群に分けて分類している(柳之御所遺跡調査事務所2007・2008)。本報告書で示した内容と概ね対応させることが可能と考えており、これを整理すると、軸方位②=(1群≒本報告土器Ⅰ)、軸方位①=(2・3群≒本報告土器Ⅱ)、軸方位④=(4群≒本報告土器Ⅱ・Ⅲ)、軸方位③=(5群≒本報告土器Ⅲ)の対応が可能と捉えられる。

一方で建物群は集中して分布する範囲が看取できる。そこで、集中域ごとの様相も合わせて確認する。

②調査状況の整理

○堀内部全体の軸方位での分類

堀内部全体で確認された掘立柱建物について、軸方位を基準に分類し、それぞれの遺構名と重複関係を表に示す(表70～73)。ここで対象とした遺構は掘立柱建物跡と堀跡である。また、この表中では軸方位14°と15°の建物を④とした軸方位の建物群に追加した。遺構数自体が少ないことと、後述する遺構の重複関係からの判断である。

0～5°の建物群 28棟の建物がこの群に分類できる。正方位に近い軸線を示す遺構で、28SB1・28SB2・28SB3・28SB4などの四面庇建物などがこの群にあたる。表中では正方位から西に1～2°傾く遺構もこの群に近似する軸方位として含めた。また、10条の堀跡がこの群に分類できる。23SA1、28SA1、55SA1などがこの群に入る。

6～9°の建物群 18棟の建物がこの群に分類できる。正方位から東にやや傾く遺構で、55SB5、55SB6などがこの群にあたる。また、5条の堀跡がこの群に分類できる。55柱列1などがこの群に入る。

10～15°の建物群 18棟の建物がこの群に分類できる。正方位から東に傾く遺構で、52SB25などの四面庇建物や50SB4がこの群にあたる。また、10条の堀跡がこの群に分類できる。50 SA1や55柱列2、23SA4などがこの群に入る。

16～25°前後の建物群 28棟の建物がこの群に分類できる。正方位から大きく東に傾く遺構で、軸方位のばらつきも大きい。また、8条の堀跡がこの群に分類できる。50SA2などがこの群に入る。

表70 0~5°の建物群

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
31SB6	72-68	N-0°-E	31SB6→28SA1	52SB26
31SB7	75-66	N-0°-E		55SB20, 55SB23, 36SA2, 31SK81
HSB23	89-100	N-0°-E		HSB18, HSB19
31SB8	65-74	N-1°-E		
52SB26	73-67	N-1°-E		31SB6
55SB25	80-67	N-1°-E	55SB25→55SX2	28SB6
HSB21	89-96	N-1°-E		
HSB22	86-100	N-1°-E		
23SB10	85-85	N-2°-E		
28SB1	79-68	N-2°-E	28SB6, 28SX1, 28SA1→28SB1→ 28SE2, 28SE1	28SB2, 28SK30, 55柱列1, 55柱列2
28SB2	77-69	N-2°-E	28SB2→28SE2, 28SE6	28SB1・3・6, 28SE7・8・9, 28SK11, 55柱列2
28SB4	83-67	N-2°-E	28SB8→28SB4→28SE11, 28SK14, 50SB4	
41SB1	64-72	N-2°-E		
HSB17	87-98	N-2°-E		
23SB1	83-75	N-3°-E	23SB1→23SB6	
23SB2	87-75	N-3°-E		
28SB3	80-71	N-3°-E	28SB3→28SE9, 28SK11, 28SK13, 28SK33, 28SK34	28SB2, 28SK15, 28SE8, 28SE10
28SB8	83-70	N-3°-E	28SB8→28SB4	
56SB4	57-49	N-3°-E		56SK93, 56SK94, 56SK95, 56SK96
HSB20	87-96	N-3°-E		
23SB3	87-80	N-4°-E		23SB7, 23SA3, 23SK81
55SB8	82-58	N-4°-E	55SB8→55SK60	
55SB27	76-62	N-4°-E		55SB24
52SB18	70-63	N-5°-E	52SB18→52SK14	
28SB5	75-68	N-1°-W		28SA1, 55柱列1, 28SE4, 28SK4
HSB19	90-100	N-1°-W		HSB23
56SB3	57-51	N-2°-W		56SB5, 56SK99
56SB5	57-53	N-2°-W		56SB3
23SA1	85-83	N-0°-E	23SA3, 23SA4, 23SK60, 23SK61, 23SK62, 23SK83→23SA1	23SB4, 23SK84, 23SB7
23SA6	86-81	N-0°-E		
55SA1	78-64	N-0°-E	55柱列2→55SA1→55SB21, 28SE3	55柱列1
55SA2	84-65	N-0°-E		
23SA3	87-83	N-2°-E	23SA3→23SA4→23SA1	23SB3
50SA5	89-65	N-3°-E	50SA6→50SA5だが、明確ではない	
50SA7	86-66	N-3°-E	50SA2, 50SA8→50SA7→50SA6	50SB16
28SA1	73-69	N-4°-E	28SA1→28SX1→28SB1, 31SB6→28SA1	28SB5, 55SB20, 65SA2
36SA4	74-65	N-4°-E		36SA5, 55SB23, 31SK85
42SA21	95-67	N-5°-E		

表71 6~9°の建物群

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
31SB3	69-74	N-6°-E		31SB4, 31SE3, 31SK57, 31SK59
55SB5	78-52	N-6°-E	55SK42→55SB5→55SB6	55SB17, 55SK40, 55SK42
55SB24	77-62	N-6°-E		55SB27, 55SB29
HSB18	89-100	N-6°-E		HSB23
28SB6	79-67	N-7°-E	28SB6→28SB1, 55SX2	28SB2, 28SE1, 55SB25, 55柱列1, 55柱列2
55SB17	79-54	N-7°-E	55SB17→55SK63	55SB5
56SB1	59-52	N-7°-E	56SB2→56SB1	
55SB29	77-63	N-7°-E		55SB19, 55SB24
50SB21	91-62	N-8°-E		50SB23, 50SB26

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
50SB25	94-68	N-8°-E		50SB9, 50SB19, 50SB24
55SB6	76-52	N-8°-E	55SB5→55SB6	55SK33, 55SK34, 55SK37
55SB18	75-55	N-8°-E	55SB18→55SK38	
55SB19	76-63	N-8°-E	36SA2→55SB19	55SB29
23SB4	89-81	N-9°-E	23SA1と重複するが、不明。	23SB7
23SB5	90-84	N-9°-E	23SK65→23SB5	23SB8, 23SB9, 23SK56, 23SK64
50SB28	89-66	N-9°-E		50SB16, 50SB17, 50SA2
52SB27	69-56	N-9°-E		56SE2
55SB9	82-57	N-9°-E		
55柱列1	82-62	N-6°-E	55柱列1→28SA1	28SB1, 28SB5, 55SB20, 55柱列2, 55SK64, 28SB6
36SA3	75-65	N-7°-E		55SB23, 31SK83, 31SK84
23SA2	88-79	N-9°-E		
23SA4	87-83	N-9°-E	23SA3→23SA4→23SA1。	
50SA8	86-66	N-9°-E	50SA8→50SA7。	

表72 10～15°の建物群

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
41SB3	61-64	N-10°-E		
50SB3	86-64	N-10°-E	50SB6AB, 50SA2→50SB3	50SB5
52SB25	73-59	N-10°-E	52SE7, 52SD30 (52SC1) →52SB25→52SK21	52SK37, 55SK15
55SB10	84-57	N-10°-E		
23SB8	92-83	N-11°-E	23SB8→23SB9, 23SK66	23SB5, 23SK68
50SB4	84-65	N-11°-E	28SB4→50SB4。	
23SB9	91-83	N-12°-E	23SB8→23SB9	23SB5, 23SK66
50SB17	90-65	N-12°-E		50SB16, 50SB28
50SB18	93-64	N-12°-E		
52SB21	70-65	N-12°-E		52SK28, 52SK30, 50SA1
55SB20	77-66	N-12°-E	55SB20→28SA1	31SB7, 55柱列1
55SB21	79-65	N-12°-E	55SA1→55SB21	
50SB16	89-66	N-13°-E		50SB17, 50SB28, 50SA2
50SB27	90-65	N-13°-E		50SB10
55SB13	83-54	N-13°-E	55SB13→55SB14	55SB11, 55SB12
55SB16	79-57	N-13°-E		
55SB12	82-54	N-14°-E		55SB11, 55SB13, 55SB14, 55SK49, 55SK54, 55SK56
55SB11	82-54	N-15°-E		55SB12, 55SB13, 55SB14
36SA2	75-65	N-10°-E	36SA2→55SB19。	31SB7
50SA12	90-65	N-10°-E		
50SA1	85-63	N-11°-E	50SA2, 55柱列1, 50SB6A, 50SB22, 50SB8→50SA1。	50SB6B, 50SB5, 50SB8, 50SB10
55柱列2	80-63	N-11°-E		28SB1, 28SB2, 55柱列1, 28SB6
55SA3	82-59	N-11°-E		
55SA4	82-58	N-11°-E		
65SA2	69-69	N-11°-E		31SB5, 28SA1
50SA13	90-62	N-14°-E		
50SA6	89-65	N-15°-E	50SA6→37SE2, 50SA2, 50SA7。 50SA6→50SA5だが、明確ではない。	
50SA10	89-67	N-15°-E	50SA10→68SK35。	

表73 16~25°前後の建物群

建構名	位置	角度	直接重複	空間重複
50SB8	89-64	N-16°-E	50SB23→50SB8→50SA1	50SB7, 50SB10, 50SB20, 50SB22, 50SB27
50SB10	89-63	N-16°-E	50SB10→50SB7	50SB8, 50SB20, 50SB23, 50SB27
50SB7	89-62	N-17°-E	50SB10→50SB7	50SB22, 50SB23, 50SB5, 50SB6B, 50SB8, 50SB20, 50SB26
50SB24	94-67	N-17°-E		50SB9, 50SB19, 50SB25
52SB19	64-56	N-17°-E		
72SB1	60-41	N-17°-E		72SA1, 72SA2, 72SK6
HSB15	88-98	N-17°-E		HSB13, HSB14
23SB7	89-81	N-18°-E		23SB3, 23SB4, 23SA1
50SB6A	87-61	N-18°-E	50SB6A→50SA1, 50SB6B→50SA6A→50SB3	50SB5
50SB6B	87-61	N-18°-E	50SB6B→50SB6A→50SB3	50SB5, 50SB7
50SB20	89-63	N-18°-E		50SB8, 50SB10, 50SB23, 50SB7
HSB25		N-18°-E		
56SB2	59-51	N-19°-E	56SB2→56SB1	
50SB5	87-62	N-20°-E		50SB6AB, 50SB7, 50SB8, 50SB22, 50SB23, 50SB3, 50SB20
50SB9	94-67	N-20°-E		50SB19, 50SB24, 50SB25, 68SK4, 68SK5, 68SK6, 68SK7, 68SK9
50SB19	95-66	N-20°-E		50SB9, 50SB24, 50SB25
50SB22	89-62	N-20°-E		50SB5, 50SB7, 50SB8, 50SB23
55SB14	83-54	N-20°-E	55SB13→55SB14	55SB11, 55SB12
55SB23	75-65	N-20°-E		31SB7, 36SA3, 36SA4, 31SK83, 31SK84
HSB24		N-20°-E		
23SB6	86-78	N-23°-E	23SB1→23SB6	23SK87, 23SK89
31SB4	70-73	N-23°-E	31SE4, 31SE5→31SB4→31SE3, 65SD10	31SK58, 31SB3
31SB5	71-70	N-23°-E	65SA2と重複	
HSB13	88-98	N-23°-E	HSB13→HSB14	HSB15
50SB23	90-62	N-24°-E	50SB23→50SB8	50SB7, 50SB10, 50SB20, 50SB21, 50SB22, 50SB26
52SB14	73-62	N-24°-E	52SB14→52SK13	36SK23
HSB14	88-98	N-24°-E	HSB13→HSB14	HSB15
HSB16	88-98	N-25°-E		
50SA2	88-62	N-17°-E	50SA2→50SA1, 50SB3, 50SA2→50SA6, 50SA7	50SA10, 50SB5, 50SB7, 50SB16, 50SB17, 50SB28
52SA1	71-65	N-17°-E		52SB21, 52SK22
52SA2	67-58	N-17°-E		
72SA1	59-42	N-17°-E		72SB1
72SA2	59-43	N-17°-E	72SA2→72SK6	72SB1
36SA5	74-63	N-25°-E		36SA4
65SA1	67-60	N-25°-E		28SE15
65SA3	68-69	N-27°-E		

○建物の軸方位と重複関係

建物群はいくつかの集中する範囲が確認されている。ここでは遺構集中域ごとに、建物や塀などの区画施設の軸方位と重複関係を確認する。なお、図においては重複を「→」、空間重複を「⇄」として示す。

【集中域①】

堀内部の北側範囲で建物群がまとまって確認されている。軸方位と重複関係を確認する。直接的な重複関係が確認できる遺構は少ない（図307）。

この範囲では、6～9°群の遺構は55SB5や55SB6などの大型の建物が存在する。0～5°群の建物群がは少ない。55SB8がこの群に位置づけられる。また、16°～群の遺構と10～15°群の遺構はこの範囲の東側付近にまとまりを示す。この位置より西側ではトイレ状土坑が多く確認されており、遺構分布と場の使い方との関連が想起される。55SX1も土器様相からは、これらの10～15°群もしくは16°

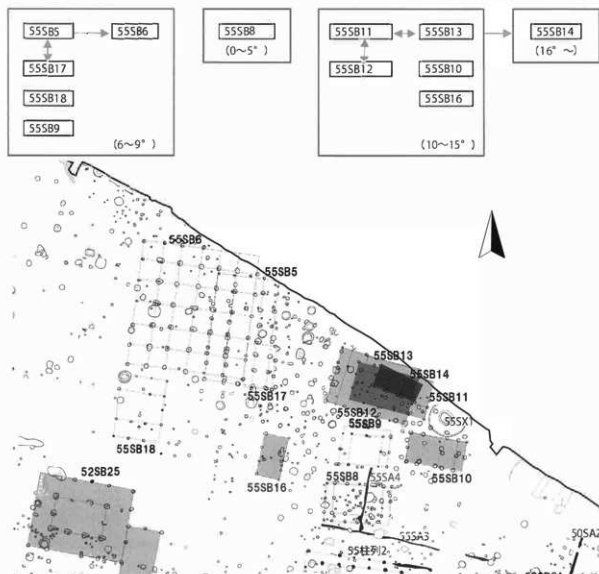


図306 集中域①の遺構

～群に対応するとみられる。円形のため軸方位は判然としなが中心部の円の長軸方向は 16° ～群の方向になる。

【集中域②】

掘内部の中央部から北西付近で建物群がややまとまって確認されている。軸方位と重複関係を確認する(図307)。

この範囲では各群の建物が分布する。 $6\sim 9^{\circ}$ 群の遺構は $Y=76$ 付近に分布域が集中する。これらの建物は、空間的に重複しており、建て替えが想定される。 $0\sim 6^{\circ}$ 群の遺構は全体に分布する。55SA1やより南方に位置する28SA1による区画で確認できる遺構群(集中域③)との位置関係から、

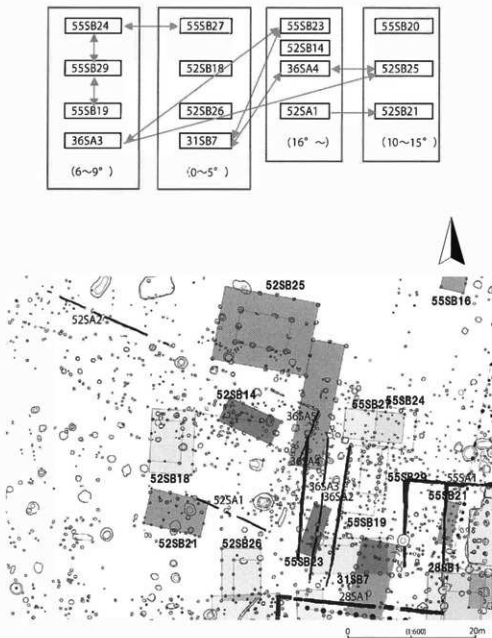


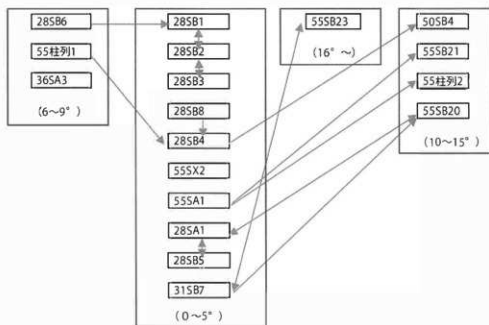
図307 集中域②の遺構

大型の建物群とは塀による区画を境に相対して逆の位置にあたる。建物の規模や構造は四面庇等ではなく小規模なものが多い。建物規模などからは集中域③を区画内とし、集中域②を区画外との想定が可能であろう。16°～群の遺構は、36SA5と52SA1、52SA2の塀が同一方向を向いてもしくは直交して位置する。これらが組んで区画を構成する可能性が考えられる。52SB14はこの塀群による区画を想定すれば、その中に位置するようにみられる。10～15°群の遺構では、大型の四面庇遺物である52SB25が所在する。また、52SB21が52SB25の前面に位置する。

【集中域③】

堀内部の中央付近で建物跡がまとまって確認されている。この周囲は圍池なども所在する。軸方位と重複関係を確認する（図308）。

この周囲では各群の建物が分布する。6～9°群の遺構は、28SB6と55柱列1が存在する。36SA3も同一の軸方向を示す。0～5°群の遺構は空間的な重複が多く、多くの遺構が所在する。28SB1、28SB2、28SB3の四面庇建物群が分布するほか、28SB8、28SB4が所存する。これらは空間的にも重複し、建て替えが理解できるものの、直接的な重複が少なく、新旧の理解が遺構情報のみからでは難しい部分がある。55SX2、23SB1などの特徴的な遺構もある。北西側は28SA1、55SA1による区画が想定される。南辺及び東辺では23SA1がこの群に想定できる。16°～群の遺構は遺構が少ない。特に、0～5°群の四面庇建物との重複が、空間的な重複も含めて少ないことは留意すべき特徴であろう。10～15°群の遺構は50SB4、50SB3などのほか、55柱列2や50SA1などの区画施設がある。西側では31SB4、31SB5などの建物や65SA2、65SA3が分布する。



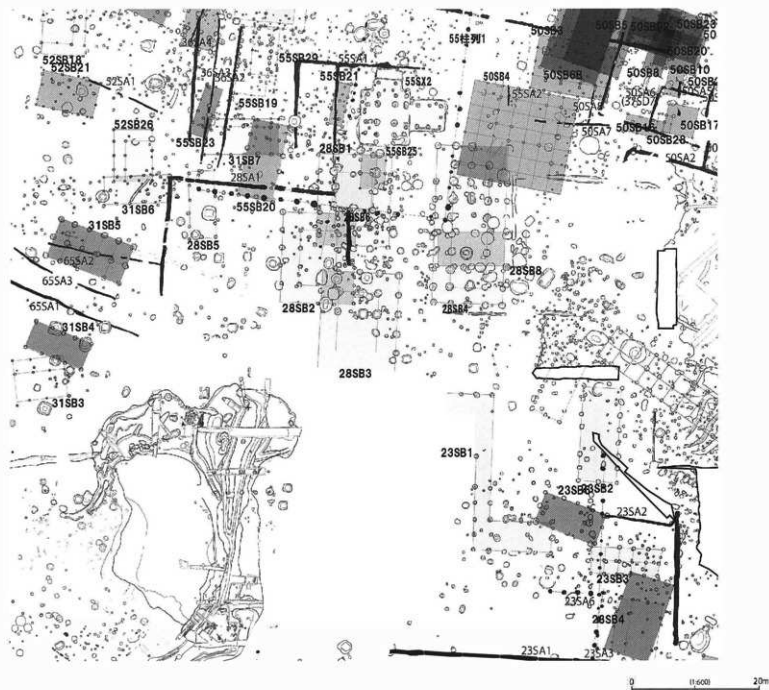


図308 集中域③の遺構

【集中域④】

堀内部の北東付近で建物跡がまとまって確認されている（図309）。

この周囲では各群の建物が分布する。6～9°群の遺構は50SB21や50SB25がある。0～5°群の遺構は、50SA5があるほか、50SB26がこの群に含まれる可能性がある。16°群の遺構は空間的重複

が著しい分布の集中がY=87~91付近と、Y=94~96付近の2カ所にみられる。Y=87~91付近では、50SB6A・50SB6B・50SA5・50SB7・50SB8・50SB10・50SB20・50SB23などがある。また、50SA2もこの群に入り、これによる区画された時期が想定される。Y=94~96付近では50SB9・50SB19・50SB24がある。これらは空間的に重複し、同一位置での建て替え等が想定される。10~15°群の遺構は50SB3や50SB4、50SB27がある。50SB16・50SB17・50SB28は空間的に重複し、同一位置での建て替えが想定される。区画施設では50SA1がこの群に入る。50SA10もこれらと関連する可能性がある。

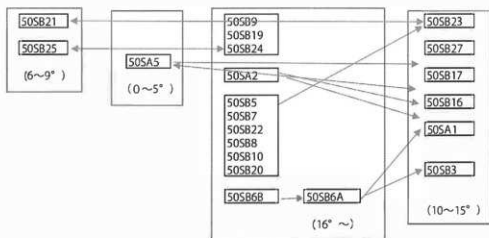


図309 集中域④の遺構

③遺構の変遷

これまで整備に際して示してきた遺構変遷の検討において（柳之御所遺跡調査事務所2008）、軸方位による分類と土器群が一定程度対応することが理解できている。軸方位による分類と遺構の重複関係では、全ての範囲にわたる事象を説明しつくすことはできないが、概ね遺構の新旧の説明が可能である。これらから、軸方位②6～9°→①0～5°（→③）→④10～13°の変遷が理解できている。

一方で、いくつかの建物が集中する範囲の様相で確認したように、②→①→④の建物群は重複関係が多いものの、③とした建物群は他の遺構との重複が少ない。また、③とした建物群は、23SG1池跡の周囲に分布が少なく、この時期区分をそのまま単線的に適用した場合にここに大きな空地が存在することとなる。これらをもふまえ、ここでは①の建物群と③の一部が、さらに④の建物群と③の建物群の一部が時間的重複関係をもつ可能性を想定した。

【遺構 I】 軸方向が6～9°の遺構を主に構成される（図310）。

55SB5、55SB6、55SB17、55SB18の建物群や28SB6、55SB19、55SB29の建物群が想定できる。また、区画施設として、55柱列1や36SA3を想定した。

周囲の遺構は軸方位からこの時期に想定している建物が、散漫ではあるものの分布する。遺構の重



図310 建物 I (6～9°)

複は少ないものの50SB21、50SB25などを想定した。

【遺構Ⅱ】軸方向が0°～5°の遺構を主に構成される（図311）。

28SB1、28SB2、28SB3、28SB4などがあるほか、23SB1、23SB2、23SB3が23SG1池跡に近い位置に分布する。区画施設では23SA1、55SA1、55SA2、28SA1がこの段階に想定できる。また、28SA1や55SA1の区画の外側に分布する遺構に、52SB18や55SB8、52SB26などがある。遺跡の西側にあたる31SB3などもこの段階の可能性はあるほか、遺跡の北西側の56SB4などを想定した。

Ⅱ段階の遺構群は28SB1・28SB2・28SB3の重複や、28SB8と28SB4の重複のほか、28SA1と28SB1の重複や55SA1の重複などもあり、同一位置での造り替えが想定できる。Ⅱ期とした時期に一定程度の時間幅が想定される。このことは整備時の変遷で【Ⅱ・Ⅲ期】として示したことも対応する（柳之御所調査事務所2008）。

一方で16°～群とした遺構群はこの群との重複が少ない遺構が存在する。これらをつまみ、遺構Ⅱの0°～5°群の遺構群のうちや新しい段階で16°～とした建物群の一部が構築された可能性を想定したい（図312）。0°～5°の建物群と直接的な重複関係がないものを、Ⅱ段階のうちや後出の段階

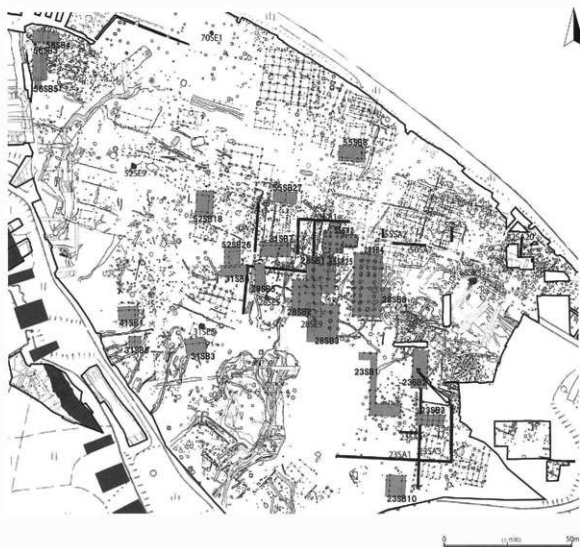


図311 建物Ⅱ（0～5°）

と想定可能と考えて図示した。55SB11、55SB12、55SB14は重複をもたないほか、50SB9、50SB19、50SB24も重複をもたない。また、集中域④として示した遺構のうち、0～5°群と重ならず10～15°群と重複する50SB5、50SB6A・B、50SB20、50SB22などをこの段階と想定した。これらは精査している遺構も少ないため、想定による部分が残る。また50SA2による区画が想定でき、その場合に時間幅が想定される。また、16°～群の遺構のうち、0～5°群の遺構と重複するものはⅢ段階に下ると想定した。これについては次に記す。この段階に想定する建物に、50SB6A、50SB6Bなどが所在する遺構のまとまりや区画施設では50SA2が対応するとみなし、これらの遺構が分布する範囲の利用を想定した。

ただし、16°～群の建物のみで、ある時期が成立するような想定も可能性は残る。その場合、整備で示した【Ⅳ期】とした遺構群（柳之御所遺跡調査事務所2008）として独立して存在する捉え方が成立する余地がある。

【遺構Ⅲ】 軸方位が10～15°の遺構を主に構成される（図313）。

遺構の分布は堀内部の全体に広がる。52SB25のほか、50SB4、50SB3などをこの時期に想定した。

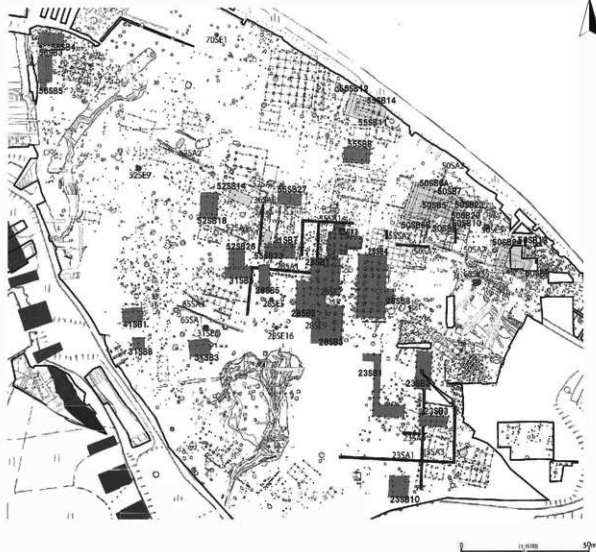


図312 建物Ⅱ後（0～5°・16°～）

区画施設として、55柱列2や50SA1、55SA3などを想定した。南側への延長部分は割平等もあり、確定できていないが堀の延長がそのまま延伸して接続するとみた場合には50SB3や50SB4をの区画が広範囲に、52SB25についても、36SA2などによる区画が想定できる可能性がある。52SD32や52SB19の軸方向と位置が52SB25の北側柱列と軸方向が近似する点は留意される。

また、16°~とした建物群のうち、0~5°の建物群と直接的な重複関係があるものの一部をこの段階に想定する。31SB5や31SA4は0~5°群の遺構と重複関係をもち、10~15°群の遺構とは重複関係をもたないことから、この段階と想定した。また23SB7、23SB8、23SB9の遺構群をこの段階に想定した。

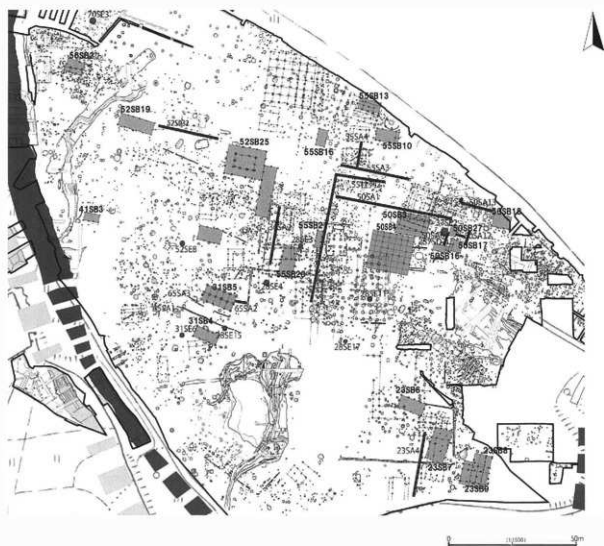


図313 建物Ⅲ (10~15°・16°~)

(3) 柳之御所遺跡堀内部の変遷

堀とそれ以外の遺構変遷の対応は直接的な重複関係がないため理解が難しい部分がある。ここでは出土土器の様相をふまえ、下記の対応を想定した。

なお、遺構と堀の対応については各遺構変遷期における主たる堀の段階を対応させるものである。時期区分上の対応を示したが、堀とその他の遺構の変遷が同一の時点で造り替えが行われるものかは判断できない。つまり、遺構変遷Ⅱと堀Ⅰの段階が重なる時期や遺構変遷Ⅲと堀Ⅱが重なる時期などの存在は完全には排除できない。なお、ここでは3期に区分して遺跡内容を理解している。しかし、当然ながら設定した各時期の中でも変遷がある。つまり、「Ⅰ期」とした遺構もⅠ期の中で構成されたものでⅠ期の当初に全ての要素が揃うという性格のものではない。これはⅡ期、Ⅲ期も同様で、各時期においた建物においても重複が生じることはより微細な時期変遷が内包されることによる。

また、時間的な重複は遺物の変遷も同様である。一括性が高いと見なしうる遺構出土資料を主な対象に変遷を把握しているが、各器種ごとの変化と幅狭しながら時期ごとの変化が看取できる。

【Ⅰ】(遺構変遷Ⅰ・堀Ⅰ) (図314)

堀内部が位置する段丘上に建物群が造営される。遺跡は内溝56SD40や外側の溝21SX3で区画される。このほか、外側の堀もこの段階の当初に置けるかは確定できないものの、土器類の出土量の寡少さと遺物の様相などの特徴や全体を囲む遺構がⅠ期の内に構築されたと判断し、Ⅰ期と捉えられる時間幅の内に遡るとみている。

建物跡では時期の比定が難しいものを含むが、柱穴等からの遺物の出土が少ない遺構にこの段階にあたる遺構が含まれるとみられる。堀内部の遺構は内部の建物はやや散漫な傾向を示すが、遺跡の中央からやや北側に多くみられる。55SB5や55SB6などの建物群をこの段階に想定した。両者の内では後者が後出する。これらが平面規模等からはこの時期において大型の建物として認識できる。また、28SB6や55柱列1、36SA3がこの段階に遡りうる。堀による区画が一部で構成された可能性がある。遺跡の中央から南側では遺構の分布が薄く、特に南端部では遺構・遺物ともに分布が散漫な傾向がみられる。

この段階の出土土器も遺構分布と同様に遺跡の中央からやや北側に分布する。52SE10のほか、やや後出する可能性がある55SE1、52SE7などがこの段

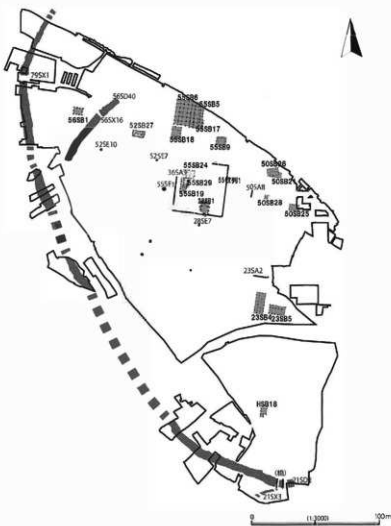


図314 柳之御所遺跡の遺構変遷【Ⅰ期】

階に想定できるが、いずれも遺構分布と同様の傾向を示す。土器変遷ではI段階とした12世紀前半(1100前後～1140年代)に概ね対応するとみている。

【II】(遺構変遷Ⅱ・堀Ⅱ・池Ⅰ)(図315)

外側の堀によって全体が閉鎖される。掘り直しによる改修が時期的にはこの段階と前後すると考えられる。これらは北側の土橋、南側の橋が想定できる。堀内部に23SG1池跡(池Ⅰ期)が造営される。池跡では排水溝がこの段階で確認され、西側の猫間ヶ瀬方向へと向かう。この段階では西方向を向く橋(64SX1)が架かる。

堀に閉鎖された区域の全域に遺構・遺物が分布する。堀による区画が確認できる。23SA1と55SA1・28SA1による区画が想定できる。この堀の内部には四面庇掘立柱建物が存在する。28SB1～3、28SB4など掘立柱建物は四面庇の構造で、規模も大きく、柱配置などの規格性も高い。これらは空間的に重複し、同一や近接した位置での造り替えが想定される。直接的な重複関係が少ないため、新旧関係の理解が困難である。

28SB1、28SB2、28SB3はほぼ同一の位置で類似した規格性の高い四面庇建物であるが、28SB3は平面的な位置関係からは23SB1と接続する可能性をもつ。28SB2とは重複するため、同時存在の可能性があるのは28SB1である。東側では28SB8→28SB4の新旧関係がある。28SB2と28SB4が、南側の柱列が揃うなど、並立していた可能性を考慮することができる。また、28SB1と重複する55SA1の平面構造も分岐があり、造り替えとみる余地が残るほか、28SA1が途切れることも注目しておく。

55SX2は壑穴遺構で性格等に不明な点が残るが、建物軸方位からはこの段階の構築が想定できる。時間幅をもった機能が想定されるが埋戻しによって廃絶しており出土遺物はこの遺構の下限を示すと考えられ、Ⅲ期以前の遺構と判断できる。28SB4を避けるように拡張されることなどから、この段階と想定している。

また、堀による区画の外側でも当該期と想定できる建物



図315 柳之御所遺跡の遺構変遷【II期】

が分布する。52SB26や55SB8、52SB18などがこれらにあたる。堀による区画内の建物群が構造や平面規模の上でより優位な状況が理解でき、遺構の機能等と対応するとみられる。

なお、やや後出する時期とみたが、この群の遺構と空間的な重複をもたない、北東側の16"～群の遺構の一部をこの時期の後半に並行する可能性を想定しておきたい。50SB6などの建物群がこの時期に想定でき、50SA2により区画される時期がある。50SB6A・50SB6Bと50SB8、50SB10、50SB20、50SB23などの50SA2の西側を中心とした遺構群と50SB5、50SB7、50SB22などの遺構群がグループ化できる可能性がある。東西棟の建物と南北棟の建物があり、これらがそれぞれに対応する可能性も想定できようが、遺構の重複等は少なく確定できていない。今後の課題でもある。

かわらけが多く出土し、国産・輸入の陶磁器類も多くなる。瓦が出土する。紡織具の多くはこの時期の資料であろうか。手づくねかわらけがみられるようになる。なお、土器変遷では概ねⅡ段階とした12世紀中葉（1140年代～1160年代）に対応するとみているが、細分が可能と考えられるほか前後には時間幅も想定される。

【Ⅲ】（遺構変遷Ⅲ・堀Ⅲ・池Ⅱ）（図316）

大規模な内側の堀が構築される。外側の堀は部分的に埋め戻されるほか、南端部では盛土整地が行われる。南端部では21SX35橋跡で南方向へとつながるほか、23SX12橋跡がある。南端部では外側の堀跡と内側の堀跡の間において部分的に土塁状になる可能性がある。北端部では41SX2橋跡がある。

堀内部の全域に遺構の分布が広がる。23SG1池跡は塗り替えられる（池Ⅱ期）。この時期の遺構では、四面庇建物である52SB25があるほか、50SB3や50SB4が分布する。50SB4も平面規模は大型の遺構を想定しているが、不確定な部分も残る。いずれが中心的な機能をもつかは特定したいものの大型の建物が所在することは重要である。55柱列2や50SA1による区画が想定できるほか、23SA4も軸方位はこの時期のものに近い。堀は断片的な確認のため確定できないが、区画された空間が拡張されたようにも捉えられる。また堀による区画の

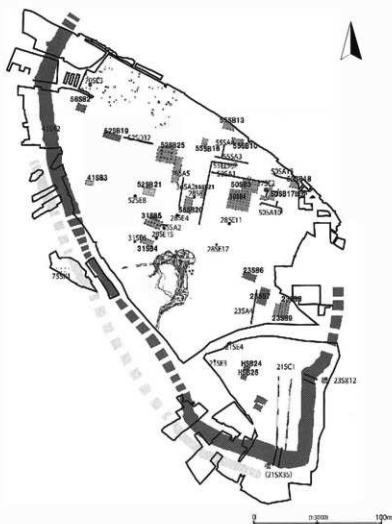


図316 柳之御所遺跡の遺構変遷【Ⅲ期】

両側で、それぞれ大型の建物が所存する点も注目しておきたい。

52SB25の周囲では建物や堀、溝が散見され、区画された空間内の可能性も考えられるが、確定が難しい。またこれらより北側などにも建物等が分布する。このほか、23SG1池跡の北西側にあたる31SB4や総柱構造で倉庫としての機能が推察できる31SB5をこの時期に想定した。55SX2はこの段階の早い時期には埋戻されたと考えられる。また、遺跡外にあたるが、近接して無量光院が造営されるが、位置関係から関係が想起される75SX1はこの段階に想定した。

ただし、この時期と想定した遺構の全てが遺跡の廃絶時まで機能したことを示すものではない。

手づくねかわらけを中心に多くの土器が出土する。多くの文字資料も出土する。なお、土器変遷では概ねⅡ段階とした12世紀後半（第3四半期後半1170年前後～1189年頃）とみている。

第3節 まとめと課題

（1）平泉遺跡群における柳之御所遺跡堀内部地区

①柳之御所遺跡堀内部地区の概要と各時期の様相

ここまで柳之御所遺跡の調査成果について検討してきた。ここで各時期の遺構概要とそれぞれでの遺物の特徴を対応させてまとめる。既述のとおり、各期の中でも微細な変化が想定されるもので、全ての要素が各期の当初に完成するものではない。

【Ⅰ期】

遺構の概要 堀による区画が行われ、堀内部の範囲の利用が始まる。内部の建物はやや散漫な傾向を示すが、遺跡の中央からやや北側に多くみられる。一方で遺跡の南側では遺構・遺物ともに寡少な傾向が看取できる。

遺物の概要 かわらけが出土するものの、出土遺構は多くなく分布も比較的まとまる。ロクロかわらけに限定され、手づくねかわらけが入る場合にも細片など極めて少量が含まれるのみである。これらはこの期の中で後出の可能性がある。なお、出土瓦のうち、古相を示す資料はこのうち後半段階にあたる可能性が高い。

堀内部の様相 やや建物分布は散漫なものの、大規模な建物が確認できる（55SB5・55SB6）。また、堀による区画の初現と捉えられる。堀の区画もⅠ期の中で現れる（55柱列1）。これらの遺構の様相とかわらけの一括性の高い出土からは、遺物の出土量は後続する時期に比して限定的なものの、儀礼などを伴う遺跡利用の開始が考えられる。遺構と遺物の分布は遺跡内の中央付近からやや北側にかけて多く分布する。利用範囲が後代に比して限定的と捉えられる。

大型の建物の存在や儀礼的な利用の開始の想定からは、遺跡の機能開始と合わせて、拠点的な性格をもったことが考えられる。遺跡の機能が遺跡規模に対応するとした場合には、拠点的な性格を想定できるものの、後代に比べてやや限定的なものであることも考えられる。その評価については、奥州藤原氏に関わる歴史的事象との関連も考慮に入れる必要がある。

【Ⅱ期】

遺構の概要 外側の堀によって全体が圍繞される。北側の土橋、南側の橋の想定により平泉拠点区域との物理的連結が明らかである。堀内部に園池が造営されるとともに、堀による区画が確認できる。

堀の内部には四面庇掘立建物群が所在する。また、園池には西方向を向く橋が架かる。堀に囲繞された区域の全域に遺構・遺物が分布する。

遺物の概要 かわらけが多く出土し、国産・輸入の陶磁器類も多くなる。瓦が出土する。紡織具の多くはこの時期の資料であろうか。手づくねかわらけが現出する。

堀内部の様相 堀による区画の内部に、さらに堀に囲まれた区画がある(23SA1・28SA1)。堀の内部を中心に、規格的な四面庇建物群(28SB1・28SB2・28SB3・28SB4)と多量の遺物から拠点空間としてのあり方が顕著になる。園池の造営からは空間の性格が変化もしくは儀礼空間としての性格がより強くなるなどの変化が想起できる。また、21SC1道路跡がこの時期には想定できるほか、52SC1道路の存在も想定される。

遺物では井戸跡からの紡織具がこの時期に比定できるほか、手工業生産関連の遺物も増加する。行政的機能を推察させる文字資料の出土もみられる。

これらから堀内部全体が一体として機能しながら、堀等の区画による空間の分節が理解できる。堀に区画された範囲では、四面庇で規格性の高い建物群や園池がある。井戸跡も複数みられ、そこからの多量の土器類は儀礼が想起される。また、手工業生産資料が多く、紡織具などがこの時期に見込まれることから、遺跡内で手工業も行われたことがわかる。文字資料なども鑑みると、堀内部において行政機能や儀礼といった行政府としてのあり方が想定できる。また、堀内部の空間全体として捉えた場合には手工業などを行う空間があわせて機能したとみられる。

【Ⅲ期】

遺構の概要 内側の堀が構築される。外側の堀は部分的に埋め戻されるほか、南端部では盛土整地が行われる。園池は造り替えられる。四面庇建物と重複して、大型建物群の分布範囲が確認できる。

遺物の概要 手づくねかわらけを中心に多くの土器が出土する。多くの文字資料も出土する。

堀内部の様相 改修された大規模な堀(内側の堀)による区画の内部に、さらに堀に囲まれた区画が想定できる。堀の内部を中心に大型の建物(50SB4)や四面庇建物(52SB25)が構築される。堀・道路による分節と、規格的な建物跡などからは拠点空間としてのあり方が継続する。建物分布の拡張などからは中心域の拡張と捉えることも可能であろうが、遺跡の機能面での変化などの想定も可能である。園池の造り替えがあるほか、大規模な堀への改修もあり、拠点空間としての性格の継続と強化が想起される。また、倉庫と推察される総住の建物(31SB5)が確認できる。21SC1道路跡はこの段階も継続して機能したとみられる。

手工業生産関連の遺物も漆工などを中心に継続して出土が確認できる。土器類の一括性の高い出土状況や文字資料の出土を合わせると、遺跡内での行政的な機能が想定でき、前代からの行政機能をもつ施設としてのあり方が一定程度継続したと考えられる。

また、遺跡外にあたるが、近接して無量光院が造営される。猫間ヶ淵周辺における75SX1なども注目できるほか、前代の正方位を中心とする建物群から東へと傾く軸方位への変化も無量光院や周辺の街区との関係を含めて注目できる。

②平泉遺跡群における柳の御所遺跡の素描

各時期の遺構をまとめてきたが、平泉の拠点的な範囲での概要との対応を確認しておきたい。なお、ここでは現在の平泉町中心部にあたる北を衣川、南を太田川、東を北上川で囲まれる範囲を拠点的な範囲として指定して記載する。衣川北岸や北上川東岸など同時期の遺跡が分布する範囲があるも

の、調査成果の濃淡や遺構・遺物分布の様相から、今後の検討を要する範囲と捉えておきたい。

【～I期】(図317)

柳之御所遺跡堀内部は、高館の位置する丘陵から南東側に傾斜する段丘上に立地する。西側は猫間ヶ淵の低地帯で画される。東側は範囲は判然としないものの、68次調査などから現在の北上川流路へと下る斜面地で低地の様相だったと考えられる。北側は北上川によって削られてしまい、当時の地形は残存していない。堀跡の走向方向などからは楕円形状に東側に延びる段丘だったと推察できる。

堀内部として利用される範囲は、遺構検出面などからは南東側へと傾斜する緩やかな傾斜地と推測できる。低地へと落ちる端部で傾斜が急になるものの、全体に緩やかな傾斜で、特に後に23SG1池跡や規格性の強い建物が構築される位置は緩斜面と推測できる。また、北側の55SB5建物や55SB6建物が構築される位置は、堀内部では標高が比較的高い位置にあたる。柳之御所遺跡の占地にも関わろうが、遺跡南側の現在の一関市方面への眺望が開けるとともに、遺跡北側にあたる現在の奥州市方向などへの眺望も開けていた可能性が高い。

【I期】(図318)

12世紀前半には平泉でも遺物の分布が限定的で、まとまって確認できるのは柳之御所遺跡と中尊寺の2つにほぼ限定される。このほかには生産遺跡(花立II遺跡)のほか土器類や瓦などの遺物が散見される位置があるものの、分布は限定的である。

柳之御所遺跡では、大溝(56SD40)に架かる土橋(56SX1)など、遺構の面からも両者の関係が示唆される。外側の堀の土橋(79SX1)も外側の堀の構築がどこまで遡るかは課題が残る



図317 柳之御所遺跡(～I期)

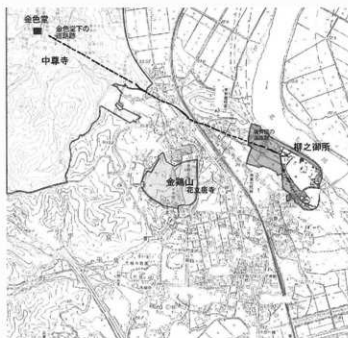


図318 平泉における柳之御所遺跡(1)

が、堀の構築当初から存在する。外側の堀などによる圍繞が確認できるほか、大型の建物も分布するなど、後代へと継続する遺跡の主たる要素が確認され始める。遺物の分布状況や遺構などからは当時の平泉において、柳之御所遺跡堀内部に拠点機能が想定できようが、堀内部の遺構も後代より散漫な分布傾向が窺える。これらの分布傾向が機能面などと結びつくとであれば、限定的な機能をもつ拠点の可能性も想起される。Ⅰ期とした時間幅の中での機能の充実は想定されるが、遺構面からの細分は難しい。

【Ⅱ期】

12世紀中葉以降、平泉の街区を構成する道路などが造られる。志羅山遺跡や泉屋遺跡などで確認されてきた道路跡は構築年代などの検討も必要だが、12世紀中葉前後に構築され始めるとみられる。柳之御所遺跡内と遺跡外が道路によって関連し、堀外部も含めた利用が明確になる。

この段階で堀内部地区では外側の堀が継続するほか、規格的な建物や園池跡などが存在する。文字資料の出土などもあり、政治行政の拠点と評価できる。遺跡内容が充実すると把握できることから機能の拡充が窺える。前代からの拠点的な性格が継続し、それがより拡充されたと捉えておきたい。外側の堀に架かる南端部の橋や北西端の土橋は、中尊寺や平泉の街区と遺跡との関係を示す遺構であろう。空間的な位置関係では、柳之御所遺跡の園池に架かる橋が、延長方向に金鶏山などがある真西方向を向くことも留意される。また、遺跡内の大型の建物が南北棟で構成されることや、南北正方位に近いことは毛越寺などの軸方位とも類似し、平泉の街区やその空間の整備との時間的対応が推察される。

手づくねかわらけの導入といった事象と、奥州藤原氏に関連する歴史的事象（陸奥守への藤原基成の補任など）も含め、遺跡内のみならず周辺も含めた変化が推定される時期である。今後、細かい変化の把握とこれらの対応の把握をふまえた歴史的な評価が課題となろう。

【Ⅲ期】(図319)

12世紀後半に無量光院が柳之御所遺跡に近接して造営される。無量光院と柳之御所遺跡を結ぶ位置では、真西を向く橋状の掘立柱建物確認されている。無量光院との間に位置する施設は無量光院との関連を示すが、さらに西方向に位置する金鶏山との関係も注目される。この時期には高館の利用も明確になり、堀内部から堀外部・高館までが関連をもつ機能したと推察できる。

堀内部の施設も充実し、文字資料からも政治行政の拠点の機能が継続が想定される。大規模な堀への改修や大型の建物群と堀による区画は遺跡の評価の上で重要である。また、

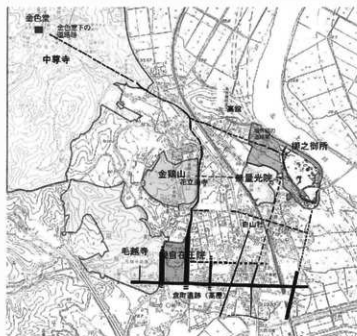


図319 平泉における柳之御所遺跡（2）

倉庫と見られる遺構の存在も留意すべき特徴である。内側の堀に架かる橋などもあり、街区や無量光院などとの関係が明確となる。無量光院の調査も進展しており、堀内部地区と無量光院など周囲との詳細な時期などの検討が課題となる。一方で堀の改修のほか、堀内部の建物群の配置や構造に変化がみられることから、遺跡の機能などにも変化が推察できる。これらの事象と藤原秀衡の当主期における対外的地位（鎮守府將軍や陸奥守への就任）といった歴史的事象との関連などが検討課題となる。

柳之御所遺跡の性格 なお、Ⅲ期とした段階が「吾妻鏡」文治5年の各条に記載される平泉の様相と捉えられる。例えば、文治5年9月17日条の「寺塔已下注文」に記載される平泉の各施設と対応が可能であれば、この段階の遺構が中心となろう。この中では藤原秀衡の宿館が「平泉館」として記され、藤原秀衡・泰衡の常居所が「加羅御所」として記される。「宿館」の語義と、それにあたる「平泉館」の内実は研究史の中で論じられてきた課題であるが、Ⅱ章で既述したとおり、「平泉館」について行政機能をもつ政治の中心としての理解が大方の了解を得られている。

ここで再度、「吾妻鏡」に記載される「平泉館」について確認しておきたい。平泉内の諸施設が記載された「寺塔已下注文」には中尊寺、毛越寺などの寺院と並んで、宿館の存在が記される。金色堂の正方、無量光院の北に宿館があることが記される。また、文治5年8月22日条では、文治5年8月21日条で藤原泰衡方により火を放たれ焼亡した平泉館の様相が記される。これらが実態をどの程度記したものは不明だが記載内容からは、一定の範囲をもつ区画であることや、南西の角に倉が置かれていたことなどが窺える。このほか、文治5年9月14日条からは、平泉館に陸奥・出羽両国の省帳田文が置かれていたこともわかる。遺跡の同時代史料として、「平泉館」の具体的な内容を示す史料である。

研究史の詳細は繰り返さないが、文献史料の研究成果や文字資料の検討から柳之御所遺跡を「平泉館」にあてる見解が示されてきた（斉藤1992ほか）。文献の理解については議論が尽くされてきているが（入間田2013）、その中で出土資料から読み取れる特徴も指摘されてきた。いくつかを例示し、付加できる内容や見解があればそれを記す。①遺跡の位置関係として金色堂の正方に位置し、無量光院と位置関係などから柳之御所遺跡周辺が想定できる。この理解は多くで一致する見解である。②「人々給絹日記」（埋-2272）は人名の比定やその背景に意見が分かれる部分はあるものの、いくつかの人名に藤原秀衡の子息たちをあてる見解は大方の支持が得られている（入間田2013、大石2010、岡田2006ほか）。行政的な文字資料とは性格を異にするが、饗宴儀礼の存在やその内実を示す資料として位置づけられる。人名への奥州藤原氏の一族の比定も、遺跡の性格を評価する上で重要な内容である。出土遺構は土器群の評価やその年代的な位置づけがやや難しい遺構でもあるが、本遺跡の出土文字資料では遺跡の性格のみならず屹立した内容をもつ重要な資料であり、今後も十分な検討が必要と考えられる。③文献に記載された「倉庫」の記載と、柱配置などから倉庫と考えられる31SB5との関連が想起されてきた。既述のとおり、遺構情報からは31SB5に「倉庫」としての性格が想定できる。文献上の記載施設と一遺構を比定することは難しいが、12世紀後半段階で遺跡内に倉庫と推察される遺構が存在することは遺跡を理解する上で重要な特徴であろう。

このほか、本報告書でここまで記してきた柳之御所遺跡堀内部地区の考古学的な特徴をいくつか挙げておきたい。①文字資料が多く出土する。宴会儀礼との関連が想起される資料のほか、行政的な機能との関係が強い資料（銅印（50-5003）や題籤軸（75-501）などを含む。②各時期で膨大な遺物が出土し、特に饗宴儀礼との関係が強い土器や折敷などの食膳具類は遺跡内に多く出土し集中する傾向がある。③大規模な堀に囲繞され、その区域は100年間の遺跡の機能時を通じて概ね維持される。堀によって外部と一定程度区画された空間が形成され、かつ維持されたこととなる。④遺跡内には規格性の高い掘立柱建物が分布し、規模からも平泉の中で各時期において優位な施設が所在する場所と

捉えられる。これらの特徴は12世紀後半代にあたるⅢ期とした段階でも当てはまるほか、その前代からも継続して把握可能である。これらの主に発掘調査で得られてきた考古学的情報から評価した場合には、平泉の拠点域でも重要な機能と性格をもった存在であったことが理解できる。また、占地面积も参考にする指標として付加しておきたい。平泉の中心域で平坦な範囲として面的な広がりをもつ範囲（ここでは高館、花立院寺、毛越寺、国衡館、志羅山遺跡、泉屋遺跡、伽羅之御所跡、柳之御所遺跡を結んだ範囲を指定する）はおおよそ100万㎡ほどにあたる。そのうちには低地帯などの範囲も多く、平坦な地形が広く確保できる場所は決して多くないことが、現況の区画整理以前の状況から窺うことができる（本澤1993）。柳之御所遺跡が位置する段丘面は堀内部とした範囲が約65,000㎡程、堀内部地区と堀外部で11万㎡程になる。定量的な評価は難しいが、堀の内部は大きな平坦地としての面積を占める範囲と把握できよう。

「平泉館」が示す具体によっても評価はわかれようが、ここでは通説どおり政治の中心として理解する。平泉の既往の調査成果の中では柳之御所遺跡堀内部地区が各種の考古学的事象がまとまって優位に確認できる範囲と捉えられる。上記の特徴による評価が可能であれば、この範囲に行政的機能を指定することが可能であり、柳之御所遺跡堀内部地区を「平泉館」とする見方に一定の妥当性を与えられよう。また、この評価は上述の文献史料等の検討によりこれまで指摘されてきた遺跡の性格への理解とも矛盾しないと思われる。

なお、遺構変遷から理解できるように遺跡には100年間の存続期間があり、各段階においても微細な時間幅は存在しう。それぞれの時期における遺跡の機能や奥州藤原氏の実態との対応や各時期の政治拠点の機能や名称といった課題が残る。また、各時期を通して堀内部地区は堀による区画により機能の分化が想定されるが、それらの詳細な位置づけも課題となる。通時的にみると、堀の区画範囲は概ね継続するが、堀の内部の各時期において堀による区画が存在するものの、その範囲は一定ではない。ここでは堀内部地区が一体として機能したと想定できることを重視し、堀内部地区を「平泉館」とする見方の妥当性を指摘した。遺跡や考古資料と文献上の施設名称との対照にはいくつかの前提となる事項が存在し、なお一定の距離が残ることは留意されるべきでもある。

各時期の様相で記したとおり、12世紀後半代のみでなくそれ以前の時期についても、柳之御所遺跡堀内部が当時の平泉において拠点施設として機能した範囲と評価できであろうことを付記しておきたい。特に、12世紀代を通してそうした評価が可能であろうことは遺跡の位置づけとして重要である。

【Ⅲ期～】12世紀末以降、13世紀代とみられる資料は柳之御所遺跡堀内部では基本的に確認されていない。個別の遺物等が含まれる可能性は完全には排除できないほか、小規模な人為的な営為はありうるものの、それまでのような遺跡範囲の利用は基本的に停止されたとみられる。位置によっては炭化物を含む包含層に含まれる12世紀代の多量の土器などから、廃絶後の遺跡内の状況が推察される。なお、平泉においては志羅山遺跡などで、この段階での遺構や遺物が確認されており、奥州藤原氏滅亡後に鎌倉方が平泉を治めた際の主たる利用範囲は花立Ⅱ遺跡などの周囲に求められている。

その後、近世段階で舟運に際して利用されることは1章で記したとおりである。

（2）まとめと課題

最後に、本報告書の成果をまとめる。検討すべき課題も多く残るがそれらのうち遺跡やその評価に関わる代表的なものを課題として記し、本報告書のまとめと課題とする。

○まとめ

柳之御所遺跡は現在、史跡柳之御所・平泉遺跡群として約10.8万㎡が史跡指定されている。本書の対象とした堀内部は約65,500㎡にあたる。そのうち、これまでの調査では46,500㎡程が調査されてきた。単純な各次での調査面積の合計は69,800㎡ほどになるが、調査範囲には重複も多い。

本書は柳之御所遺跡のうち、堀に囲まれた堀内部地区の内容確認調査の内容をまとめたものである。本書で記してきた内容の概要を以下に列記する。

- ・遺跡は堀で囲繞される。堀による区画と、区画される範囲は堀の変化や内部の遺構変遷を内包しながら、自然地形による段丘上に12世紀代を通して概ね維持される。
- ・遺跡内の変遷は解決が難しい部分もあるものの、12世紀代を通してそれぞれの時期に中心的な機能を推察させる建物と塀等による区域がある。その位置や区域は時期的な変化が想定できるが、いずれの時期においても主要な位置が堀内部地区に想定できることとなろう。
- ・遺構の特徴や文字資料から、柳之御所遺跡堀内部地区が行政的な機能をもつことが推察できる。
- ・12世紀代を通して遺跡が拠点的な性格をもつとみられ、遺物の様相からは行政府としての機能とその継続を想定できる。また、12世紀後半代における柳之御所遺跡堀内部地区は、文献上にみえる「平泉館」にあたる可能性が高い。

○調査研究の課題

柳之御所遺跡の調査研究には様々な分野から取り組まれている。それぞれの学問分野からの課題もあるが、ここでは本報告書の内容に関わる部分を中心に列記する。

- ・遺物の時期的な出土量の変化の詳細な検討が課題である。遺物変遷と対応させた定量的な検討は編年的な位置づけが不十分もしくは困難な遺物もあり、今後の課題である。
- ・遺構期区分において、上記の遺物検討を含め、各時期の様相やそこから想定される各期の具体的な機能には更なる検討が求められる。
- ・平泉における柳之御所遺跡の位置づけには不十分な点が残る。拠点域と目される志羅山遺跡や泉屋遺跡などの道路跡や周辺遺構との時期的な対応、隣接する無量光院跡やその下層の遺構を含めた時期変遷との詳細な対応が今後の課題である。
- ・柳之御所遺跡堀内部地区と近接する堀外部の変遷や意義付けは遺跡理解にも重要な内容を含むことが推察される。周辺遺跡の理解とともに、今後の重要な課題である。

今後の継続的な調査や蓄積されてきた資料のさらなる検討を課題として挙げておきたい。また、奥州藤原氏が拠点とした平泉や政治支配上の、東北地方及び列島内における位置づけや歴史的な理解はこれらと合わせて、継続的に取り組むべき学術的な課題である。

柳之御所遺跡の保存とその後の調査整備は、I章やII章で概略を記したようにさまざまな経緯を経て多くの人々の尽力を受けて続けられてきたものである。現在、堀内部地区が史跡公園として整備されているが、学術的な検討の継続と多分野を交えた更なる研究の発展やこれまで蓄積されてきた多くの成果や資産の更なる保全と活用が望まれる。

参考・引用文献

- 愛知県史編さん委員会2012『愛知県史 別編 窯業3 中世・近世 常滑系』
相原康二2014「文学に表れた平泉文化の基礎的研究(その2)」『岩手大学平泉文化研究センター年報』第2集 pp.150-186
- 青森県史編さん古代部会2001『青森県史 資料編 古代1 文献史料』
青森県史編さん古代部会2008『青森県史 資料編 古代2 出土文字資料』
- 井上雅孝2010「平泉かわらけの系譜と成立」『兵たちの生活文化』高志書院 pp.156-185
井上雅孝2016「陸奥・出羽の土器」『中世武士と土器』高志書院 pp.188-213
- 入間田宣夫1990「平泉柳之御所跡出土の折敷墨書を読む」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XI pp.88-96
入間田宣夫1991「平泉館はベースキャンブだった」『歴史手帖』19-7 pp.12-15
入間田宣夫1997「平泉柳之御所跡出土の折敷墨書を読む(続)」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XVI pp.66-69
入間田宣夫1998「中世武士団の自己認識」三弥井書店
入間田宣夫2013「平泉の政治と仏教」高志書院
- 岩田雄雄1994「柳之御所跡の尺度」『計量史研究』16-1 pp.59-61
岩手県教育委員会ほか2014「日本都市史のなかの平泉 資料集」
岩手県教育委員会ほか2015「アジア都市史における平泉 資料集」
岩手県教育委員会2017a「柳之御所遺跡」『奥州藤原氏が構想した理想世界』平成28年度「平泉の文化遺産」拡張登録に係る研究集会報告書 pp.3-10
岩手県教育委員会2017b「柳之御所遺跡」『奥州藤原氏が構想した理想世界 資料集』pp.7-36
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995「志羅山遺跡第14・25次発掘調査報告書」岩埋文第216集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1997「泉屋遺跡第10・11・13・15次発掘調査報告書」岩埋文第247集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2000「志羅山遺跡第46・66・74次発掘調査報告書」岩埋文第312集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2000「志羅山遺跡発掘調査報告書(第47・56・67・73・80次調査)」岩埋文第352集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2001「泉屋遺跡第16・19・21次発掘調査報告書」岩埋文第399集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2002「里遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財発掘調査報告書第383集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2003「本町Ⅱ遺跡第二次発掘調査報告書」岩埋文第410集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2008「六日市場・細田・接待館遺跡発掘調査報告書」岩埋文第523集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2008「岩手を掘る-いわて発掘30年-」
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2015「無量光院跡第26次・花立Ⅰ遺跡第30次・花立Ⅱ遺跡第24次発掘調査報告書」岩埋文第631集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2016「伽羅之御所跡第22・23次発掘調査報告書」岩埋文第648集
岩手県立博物館1998「考古Ⅳ 小田島コレクション その3」岩手県立博物館収蔵資料目録第14集
上原真人2001「秀衡の持仏堂」『京都大学文学部研究紀要』第40号 pp.69-135
江谷 寛1993「平安京出土瓦から見た平泉出土瓦の年代」『古代文化』45-9 pp.37-46
及川 司・杉沢昭太郎2003「陸奥北部1-岩手県-」『中世奥羽の土器・陶磁器』高志書院 pp.37-48
及川 司2012「中尊寺境内の遺跡調査」『中尊寺仏教文化研究所論集』第3号 pp.2-26
大石直正1991「平泉館と柳之御所跡」『歴史手帖』第19巻7号 pp.16-21
大石直正2000「奥州藤原氏の時代」吉川弘文館
大石直正2010「人々給朝日記」を読み直す」『兵たちの生活文化』高志書院 pp.4-29
大庭康時はか編2008「中世都市・博多を掘る」海鳥社
岡岡一郎・阿部勝則・小岩弘明・時田里志・七海雅人・平田光彦2012「平泉出土文字資料の再検討 その1」『平泉文化研究年報』第12号 pp.17-24
岡岡一郎・阿部勝則・小岩弘明・時田里志・七海雅人・平田光彦2013「平泉出土文字資料の再検討 その2」『平泉文化研究年報』第13号 pp.67-73
岡田清一2006「奥州藤原氏の奥羽支配」『鎌倉幕府と東国』続群書類従刊行会
小田裕樹2016「盤上遊技「構蒲」の基礎的研究」『考古学研究』63-1 pp.63-84
鎌倉市教育委員会1996「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告12 平成七年度調査報告書第二分冊」

鎌田 勉1994「柳之御所跡出土瓦からの一考察」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XIV pp.61-94

鎌田 勉2006「柳之御所遺跡出土瓦についての再検討」『岩手県立博物館研究報告』第23号 pp.35-63

鎌田 勉2009「柳之御所遺跡の祭祀遺構について(1)」『岩手県立博物館研究報告』第26号 pp.55-64

首野成寛2007「平泉都市構造の再検討」『平泉・衣川と京・福原』高志書院 pp.155-191

久保智康2010「中世前期の鏡作り」『兵たちの生活文化』高志書院 pp.74-101

古代学協会1994『平安京提要』角川書店

斉藤利男1992「平泉 よみがえる中世都市」岩波新書

斉藤利男2014「平泉 北方王国の夢」講談社選書メネエ

櫻井友梓2012「柳之御所遺跡出土の滑石製石鏡」『岩手考古学』第23号 pp.93-102

櫻井友梓2014「平泉出土の下駄の変遷と特質」『岩手考古学』第25号 pp.47-62

櫻井友梓2016「柳之御所遺跡における箸の特徴とその意義」『岩手考古学』第27号 pp.37-48

櫻井友梓2016「折敷の資料的履歴」『歴史』第126輯 pp.146-161

櫻井友梓2017「柳之御所遺跡の木器輪」『岩手考古学』第28号 pp.19-34

佐藤嘉広2000「柳之御所遺跡の暦年代」『山形考古』第6巻4号 pp.193-202

佐藤嘉広2005「柳之御所遺跡出土かわらけの年代推定」『岩手考古学』第17号 pp.61-74

杉沢昭太郎2003「岩手県平泉で出土した産地不明の輸入陶器」『貿易陶磁研究』第23号 pp.1-8

杉山 洋2002「平泉周辺出土の和鏡について」『里遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第383集

多賀城市教育委員会1983「市川橋遺跡」多賀城市文化財調査報告書第4集

高橋富雄1958「奥州藤原氏四代」吉川弘文館

高橋富雄・三浦謙一・入間田宣夫1993『図説 奥州藤原氏と平泉』河出書房新社

太宰府市教育委員会2000『大宰府条坊跡XV-陶磁器分類編-』

中世土器研究会1995『概説 中世の土器・陶磁器』真陽社

東北大学東北文化研究会1959『奥州藤原史料』吉川弘文館

東北中世考古学会2003「中世奥羽の土器・陶磁器」高志書院

徳留大輔2018「平泉出土中国産陶磁器について」『考古学ジャーナル』719 pp.20-24

富島義幸2004「平泉柳之御所遺跡出土部材にもとづく板葺屋根の復元考察」『建築史学』第43号 pp.159-180

富島義幸2006「平泉柳之御所遺跡の建築についての一考察」『平泉文化研究年報』第6号 pp.1-10

中井淳史2011『日本中世土器の研究』中央公論美術出版社

仲田茂司1999「平泉・柳之御所跡の復元試案」『考古学に学ぶ』同志社大学考古学シリーズⅦ pp.667-678

奈良国立文化財研究所1985『木器集成図録 近畿古代篇』奈良国立文化財研究所史料第27冊

西澤正晴2007「柳之御所遺跡調査の現段階」『平泉・衣川と京・福原』高志書院 pp.95-104

野中奈津子2005「柳之御所付近の沖積地の河川氾濫と河道痕跡の検出」『平泉文化研究年報』第5号 pp.37-44

羽柴直人1996「近世の「柳之御所跡」について」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XVI pp.25-56

羽柴直人2000「平泉御蔵場についての考察」『館研究』第2号 pp.21-34

羽柴直人2001「平泉遺跡群のロタロかわらけについて」『岩手考古学』第13号 pp.41-62

羽柴直人2002「平泉の道路と都市構造の変遷」『平泉の世界』高志書院 pp.155-178

羽柴直人2004「柳之御所遺跡の変遷」『国立歴史民俗博物館研究報告』第118集 pp.219-251

羽柴直人2011「東日本初期武家政権の考古学的研究」総合研究大学院大学博士論文

平泉郷土館1988「平泉の古絵図」

平泉遺跡群調査事務所(佐藤嘉広・岩湖計・西澤正晴・千葉正彦)2009「柳之御所遺跡堀内部地区の建物復元(中間報告 その5)」『平泉文化研究年報』第9号 pp.63-74

平泉文化研究会編1992『奥州藤原氏と平泉』吉川弘文館

平泉文化研究会編1993『日本史の中の平泉』吉川弘文館

平泉町文化財センター2000『柳之御所資料館常設展示図録』

平泉町文化財センター2000『遺跡が語る平泉文化』柳之御所資料館第1回特別展図録

平泉町教育委員会1993「志羅山遺跡第21次」『平泉遺跡群発掘調査報告書』岩手県平泉町文化財調査報告書第34集(以下、平文とのみ略す)

平泉町教育委員会1994『特別史跡中尊寺境内金剛院発掘調査報告書』平文第53集

平泉町教育委員会1995「志羅山遺跡第31・32・37次発掘調査報告書」平文第49集

- 平泉町教育委員会1995『志羅山遺跡第35次発掘調査報告書』平文第51集
 平泉町教育委員会2004『倉町遺跡第4次発掘調査報告書』平文第88集
 平泉町教育委員会2007『倉町遺跡第7・8・9・10次発掘調査報告書』平文第104集
 平泉町教育委員会2009『平泉遺跡群発掘調査報告書』平文第110集
 平泉町教育委員会2018『無量光院跡Ⅳ』平文第129集
 平泉町史編纂委員会1985『平泉町史 史料編一』平泉町
 平泉町史編纂委員会1988『平泉町史 総説・論説編』平泉町
 平泉町史編纂委員会1993『平泉町史 史料編二』平泉町
 平泉町・平泉町教育委員会2006『特別史跡無量光院跡 史跡柳之御所・平泉遺跡群 史跡金鶏山 史跡達谷窟
 保存管理計画書』平文第102集
 平川 南2014『律令国都里制の実像』下 吉川弘文館
 福島県教育委員会1997『常磐自動車道遺跡調査報告11 大猿田遺跡』福島県文化財調査報告書第341集
 藤島文治郎監修1980『平泉 中尊寺・毛越寺の全容』川島印刷株式会社
 藤島文治郎1981『発掘された平泉 夢のあと』岩手日報社
 藤島文治郎編著1995『平泉建築文化研究』吉川弘文館
 藤沼邦彦1992『石巻市水沼斎跡の再検討と平泉藤原氏』『石巻の歴史』第六巻 特別史編pp.363-419
 文化財保護委員会1954『無量光院跡』
 本澤慎輔1993『12世紀平泉の都市景観の復元』『古代文化』45-9 pp.31-36
 本澤慎輔2000『平泉出土の瓦』『瓦からみた平泉文化』pp.3-22
 前川佳代2000『平泉の都市プラン』『享楽史苑』45号 pp.54-84
 前川佳代2007『「聖地」平泉』『平泉文化研究年報』第7号 pp.15-30
 前川佳代2015『12世紀平泉の暮らし』『平泉文化研究年報』第15号 pp.21-33
 松本建造1993『柳之御所跡からわらけ編年試案』『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』Ⅱ pp.53-79
 松本建造1998『柳之御所遺跡出土遺構の変遷とその性質』『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』ⅤⅡ
 pp.81-90
 松本秀明・熊谷真樹2011『平泉とその周辺地域の河成地形形成についての自然地理学的研究1』『平泉文化研究
 年報』第11号 pp.19-26
 三浦謙一1990『柳之御所跡出土の木製品』『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』Ⅹ pp.27-45
 宮本長二郎2008『柳之御所遺跡の建築』『季刊東北学』第16号 pp.122-133
 八重樫忠郎1996『輸入陶磁器から見た柳之御所跡』『中近世土器の基礎研究』Ⅹ pp.5-21
 八重樫忠郎2001『中世前期の時間軸としての遺物』『平泉文化研究年報』第1号 pp.37-46
 八重樫忠郎2015『北のつわもの之都 平泉』新泉社
 八重樫忠郎2016『発掘された平泉』『平泉の光芒』吉川弘文館 pp.98-134
 八木光則2001『奥六郡安倍氏から奥州藤原氏へ』『平泉の世界』高志書院 pp.87-111
 八木光則2016『北奥における12世紀の居館と居宅』『岩手大学平泉文化研究センター年報』VOL.4 pp.1-24
 矢崎裕子1964『岩手県平泉中尊寺伝大池址周辺遺蹟出土瓦について』『物質文化』第3号 pp.59-74
 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・杉沢昭太郎・大関真人・佐藤淳一）2005『柳之御所遺跡中心域における遺
 構の変遷（中間報告）』『平泉文化研究年報』第5号 pp.45-54
 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・杉沢昭太郎・大関真人・吉田光）2006『柳之御所遺跡中心域における遺構
 の変遷（中間報告 その2）』『平泉文化研究年報』第6号 pp.49-60
 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・西澤正晴・大関真人・吉田光）2007『柳之御所遺跡の検討（中間報告 そ
 の3）』『平泉文化研究年報』第7号 pp.57-68
 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・西澤正晴・吉田光・岩濤計）2008『柳之御所遺跡掘内部地区の遺構変遷
 （中間報告 その4）』『平泉文化研究年報』第8号 pp.65-75
 柳原敏昭編2015『平泉の光芒』東北の中世史1 吉川弘文館
 横手市教育委員会2009『大島井山遺跡-第9次・第10次・第11次調査-』横手市文化財調査報告書第12集
 横手市教育委員会2016『金沢樺推定地 陣館遺跡』横手市文化財調査報告書第38集
 吉田 歙2014『日中古代都城と中世都市平泉』汲古書院
 渡辺 誠1993『柳之御所跡出土の御籠籠み用鐘について』『古代世界の諸相』pp.412-421

※柳之御所遺跡に係る発掘調査報告書については例言及びⅡ章に記載し、ここでは省略する。

表74 掲載遺物一覧

図	番号	種別	出土遺構	層位	1日積 (長さ)	敷積 (幅)	部高 (厚さ)	備考・登録番号 (田根番号)	
31	1	かわらけ	ロタロ大	21S02	D層	11.8	6.2	4.6	69-135・69R0k36
31	2	かわらけ	手づくね小	21S02	F層	8.0	-	1.7	69-138・69R0k10
31	3	かわらけ	ロタロ大	21S02	F層	14.1	7.3	3.2	69-150・69R0k102
31	4	かわらけ	ロタロ大	21S02	F層	14.1	7.4	3.7	69-151・69R0k104
31	5	かわらけ	ロタロ大	21S02	F層	13.8	7.4	4.7	69-152・69R0k105
31	6	かわらけ	ロタロ大	21S02	F層	13.3	7.4	3.3	69-153・69R0k106
31	7	かわらけ	手づくね大	21S02	F層	12.6	-	2.5	69-177・69R0k107
31	8	かわらけ	手づくね大	21S02	F層	13.9	-	3.3	69-178・69R0k108
31	9	かわらけ	手づくね大	21S02	F層	14.4	-	-	69-179・69R0k109
31	10	かわらけ	ロタロ大	21S02	14層	(13.0)	(6.6)	3.1	77-800・76Rk36
31	11	かわらけ	ロタロ大	21S02	埋土下部	-	-	-	77-286・77Rk182
32	12	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	8.0	6.1	2.3	69-123・69R0k61
32	13	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	8.6	5.7	1.5	69-124・69R0k75
32	14	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	9.0	6.5	1.9	69-125・69R0k76
32	15	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	8.5	6.5	1.6	69-126・69R0k77
32	16	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	7.8	5.4	1.7	69-127・69R0k78
32	17	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	7.1	4.5	1.8	69-128・69R0k79
32	18	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	8.3	6.1	1.7	69-129・69R0k80
32	19	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	8.1	5.8	1.8	69-131・69R0k82
32	20	かわらけ	ロタロ小	21S02 69SN3-D	C層	7.2	5.7	1.9	69-132・69R0k83
32	21	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	12.9	6.4	3.1	69-136・69R0k57
32	22	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	13.2	7.9	3.7	69-137・69R0k58
32	23	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	13.6	7.1	4.0	69-138・69R0k59
32	24	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	12.5	7.7	3.5	69-139・69R0k64
32	25	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	12.3	6.5	3.1	69-140・69R0k65
32	26	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	12.9	7.0	3.3	69-141・69R0k66
32	27	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	13.2	(7.0)	3.3	69-142・69R0k67
32	28	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	(11.8)	6.9	3.1	69-144・69R0k69
32	29	かわらけ	ロタロ大	21S02 69SN3-D	C層	14.3	8.4	2.7	69-145・69R0k70
32	30	かわらけ	ロタロ大	21S02	F層	14.1	7.3	3.2	69-150・69R0k102
32	31	かわらけ	手づくね小	21S02 69SN3-D	C層	8.3	-	1.6	69-154・69R0k98
32	32	かわらけ	手づくね小	21S02 69SN3-D	C層	8.7	-	2.1	69-155・69R0k99
32	33	かわらけ	手づくね小	21S02 69SN3-D	C層	8.6	-	2.1	69-156・69R0k100
32	34	かわらけ	手づくね小	21S02 69SN3-D	C層	-	-	-	69-157・69R0k101
32	35	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	13.3	-	2.6	69-160・69R0k60
32	36	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	15.1	-	3.3	69-161・69R0k62
32	37	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	13.1	-	3.0	69-162・69R0k63
32	38	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	12.9	-	3.1	69-163・69R0k85
32	39	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	13.0	-	3.0	69-164・69R0k86
32	40	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	13.8	-	3.0	69-167・69R0k89
32	41	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	13.8	-	3.0	69-168・69R0k90
32	42	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	12.1	-	2.1	69-169・69R0k91
32	43	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	13.9	-	2.1	69-172・69R0k94
32	44	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	13.6	-	3.0	69-174・69R0k96
32	45	かわらけ	手づくね大	21S02 69SN3-D	C層	12.4	-	2.5	69-175・69R0k97
32	46	かわらけ	手づくね大	21S02	F層	13.6	-	2.9	69-176・69R0k93
33	47	かわらけ	手づくね大	21S02	D層	12.9	-	2.8	69-139・69R0k55
33	48	かわらけ	手づくね大	21SX4	埋土上段	13.3	-	3.0	69-194・69R0k111
33	49	かわらけ	ロタロ小	21SX4	D層	7.9	6.0	1.7	70-12・70Rk168
33	50	かわらけ	ロタロ小	21SX4	D層	8.5	5.7	1.9	70-13・70Rk169
33	51	かわらけ	手づくね小	21SX4	D層	(8.8)	-	1.9	70-14・70Rk170
33	52	かわらけ	手づくね小	21SX4	D層	8.8	-	1.7	70-15・70Rk171
33	53	かわらけ	手づくね小	21SX4	D層	9.0	-	1.7	70-16・70Rk172
33	54	かわらけ	手づくね大	21SX4	D層	13.3	-	3.0	70-17・70Rk175
33	55	かわらけ	ロタロ小	21S02	11-12	(8.9)	(6.2)	1.3	76-865・76Rk46
33	56	かわらけ	ロタロ大	21S02	11-12	(13.2)	(6.6)	3.0	76-863・76Rk35
33	57	かわらけ	ロタロ大	21S02	11-12	(11.1)	(5.5)	2.9	76-861・76Rk45
33	58	かわらけ	手づくね小	21S02	11-12	-	-	1.7	76-880・76Rk33
33	59	かわらけ	手づくね小	21S02	11-12	(8.9)	-	1.5	76-881・76Rk39
33	60	かわらけ	手づくね小	21S02	11-12	8.8	-	1.6	76-882・76Rk42
33	61	かわらけ	手づくね大	21S02	11-12	(13.9)	-	2.8	76-866・76Rk30
33	62	かわらけ	手づくね大	21S02	11-12	(11.0)	-	2.7	76-871・76Rk38
33	63	かわらけ	手づくね大	21S02	11-12	13.8	-	2.9	76-872・76Rk40
33	64	かわらけ	手づくね大	21S02	11-12	(11.0)	-	2.3	76-873・76Rk41
33	65	かわらけ	ロタロ小	21S02	9-10	8.4	6.0	1.3	76-885・76Rk21
33	66	かわらけ	ロタロ小	21S02	9-10	6.6	(4.7)	1.9	76-886・76Rk13
33	67	かわらけ	ロタロ大	21S02	9-10	(12.4)	(6.6)	2.8	76-883・76Rk18
33	68	かわらけ	ロタロ大	21S02	9-10	(13.2)	(7.6)	4.2	76-884・76Rk19
33	69	かわらけ	手づくね小	21S02	9-10	7.0	-	1.8	76-901・76Rk58
33	70	かわらけ	手づくね小	21S02	9-10	(8.6)	-	1.5	76-902・76Rk17
33	71	かわらけ	手づくね小	21S02	9-10	9.2	-	1.6	76-904・76Rk23
33	72	かわらけ	手づくね大	21S02	9-10	(12.5)	-	2.8	76-880・76Rk35
33	73	かわらけ	手づくね小	21S02	9-10	(14.0)	-	2.5	76-888・76Rk34
33	74	かわらけ	手づくね大	21S02	9-10	12.8	-	2.6	76-889・76Rk43
33	75	かわらけ	手づくね大	21S02	9-10	14.0	-	2.7	76-898・76Rk16
33	76	かわらけ	ロタロ大	21S02	A-10層	13.4	7.3	3.4	69-199・69R0k113

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・登録番号 (出掘調査号)
33	77	かわらけ	手づね小	灰土層	A ~ B層	14.4	-	3.4	69-200-699Rk114
33	78	かわらけ	手づね大	灰土層	A ~ B層	14.7	-	3.6	69-200-699Rk115
33	79	かわらけ	ロクロ小	88-112	19層	18.0	(6.4)	1.4	70-18-7090k86
33	80	かわらけ	手づね小	88-112	19層	8.9	-	1.8	70-19-7090k88
33	81	かわらけ	手づね大	88-112	19層	12.0	-	2.8	70-20-7090k138
34	82	かわらけ	ロクロ小	2SD2	埋土一辺	(8.6)	(6.1)	(1.6)	77-417-7790Rk184
34	83	かわらけ	ロクロ小	2SD2	埋土上部	(7.7)	(6.4)	1.6	77-418-7790Rk185
34	84	かわらけ	ロクロ大	2SD2	NO.7	(14.0)	(7.0)	(3.6)	77-415-7790Rk179
34	85	かわらけ	手づね小	2SD2	埋土上	(8.8)	-	1.5	77-387-7790Rk210
34	86	かわらけ	手づね大	2SD2	埋土上	(12.0)	-	2.3	77-389-7790Rk189
34	87	かわらけ	手づね大	2SD2	埋土上	(13.8)	-	2.8	77-390-7790Rk190
34	88	かわらけ	手づね大	2SD2	埋土上	(12.0)	-	2.3	77-392-7790Rk192
34	89	かわらけ	手づね大	2SD2	埋土上	(11.9)	-	2.6	77-394-7790Rk207
34	90	かわらけ	手づね大	2SD2	NO.3	(4)	-	2.6	77-427-7790Rk199
34	91	かわらけ	手づね大	2SD2	NO.6	(13.8)	-	(2.7)	77-429-7790Rk201
34	92	瓦皿	四角皿	2SD2		3.9	7.8	(9.1)	77-448-7790Rk027
34	93	かわらけ	ロクロ大	2SD2	8	(14.0)	(7.5)	3.0	76-905-7690Rk29
34	94	かわらけ	ロクロ大	2SD2	8	(13.0)	(7.9)	3.5	76-906-7690Rk57
34	95	かわらけ	手づね小	2SD2	8	(8.1)	-	1.4	76-914-7690Rk28
34	96	かわらけ	手づね小	2SD2	8	(7.8)	-	1.3	76-915-7690Rk52
34	97	かわらけ	手づね大	2SD2	8	(3.2)	-	2.6	76-908-7690Rk24
34	98	かわらけ	手づね大	2SD2	8	(12.7)	-	2.2	76-909-7690Rk27
34	99	かわらけ	手づね大	2SD2	8	(14.2)	-	(3.3)	76-910-7690Rk31
34	100	かわらけ	手づね大	2SD2	8	(14.0)	-	2.6	76-911-7690Rk53
34	101	かわらけ	手づね大	2SD2	7	(14.0)	-	2.6	76-912-7690Rk25
34	102	かわらけ	ロクロ小	2SD2	-	9.0	5.8	-	21次調査
34	103	かわらけ	手づね小	2SD2	-	9.2	-	2.1	21次調査
34	104	かわらけ	ロクロ小	2SD2	-	9.2	7.0	19	21次調査
34	105	かわらけ	手づね大	2SD2	-	13.8	-	2.4	21次調査
34	106	かわらけ	ロクロ大	2SD2	-	14.4	8.2	3.4	21次調査
34	107	かわらけ	手づね大	2SD2	-	14.2	7.1	3.2	21次調査
34	108	かわらけ	ロクロ大	2SD2	-	12.4	7.6	4.0	21次調査
34	109	かわらけ	ロクロ大	2SD2	-	13.0	7.2	3.5	21次調査
34	110	かわらけ	ロクロ大	2SD2	-	13.0	6.2	3.3	21次調査
34	111	かわらけ	ロクロ大	2SD2	-	14.8	10.0	3.3	21次調査
34	112	かわらけ	手づね小	2SD2	-	10.0	-	2.8	21次調査
34	113	かわらけ	手づね小	2SD2	-	10.0	-	1.9	21次調査
34	114	かわらけ	手づね大	2SD2	-	13.2	-	2.1	21次調査
34	115	かわらけ	手づね大	2SD2	-	14.6	-	2.7	21次調査
34	116	かわらけ	手づね大	2SD2	-	13.0	-	2.2	21次調査
34	117	かわらけ	手づね大	2SD2	-	12.0	-	2.7	21次調査
34	118	かわらけ	手づね大	2SD2	-	13.0	-	3.2	21次調査
34	119	かわらけ	手づね大	2SD2	-	13.0	-	2.6	21次調査
34	120	かわらけ	手づね大	2SD2	-	13.6	-	2.6	21次調査
34	121	かわらけ	手づね大	2SD2	-	12.8	-	3.0	21次調査
34	122	かわらけ	手づね大	2SD2	-	13.6	-	2.8	21次調査
34	123	かわらけ	手づね大	2SD2	-	12.8	-	2.5	21次調査
34	124	かわらけ	手づね大	2SD2	-	12.0	-	2.2	21次調査
34	125	かわらけ	手づね大	2SD2	-	14.0	-	2.7	21次調査
35	126	木製品	農具木部	2SD2	F層	3.9	2.4	0.6	69-240-699W22
35	127	木製品	漆製品(漆*)	2SD2	F層	10.0	4.2	0.9	69-347-699W10
35	128	木製品	形込(瓦子型)	2SD2	F層	29.6	6.7	0.6	69-255-699W95
35	129	木製品	漆製品(所載片)	2SD2	F層	10.9	5.9	0.6	69-348-699W83
35	130	木製品	漆製品	2SD2	F層	16.3	7.8	5.9	69-338-699W22
35	131	木製品	漆	SD2	20	7.29	15.0	-	76-993-699W1
35	132	木製品	農具木部	2SD2	C ~ F層	13.5	2.1	0.2	69-239-699W122
35	133	木製品	高さ(横木)	2SD2 69SX3	C ~ F層	9.5	2.1	0.9	69-257-699W12
35	134	木製品	高さ(棒)	2SD2 69SX3	C層	22.7	2.1	1.5	69-258-699W20
35	135	木製品	不明(鐵線具*)	2SD2 69SX3	C層	20.3	2.6	1.1	69-261-699W42
35	136	木製品	折敷片	2SD2 69SX3	C層	19.5	11.7	0.5	69-290-699W72
35	137	木製品	筒形(瓦子形)	2SD2 69SX3	C層	3.2	5.1	0.5	69-250-699W21
35	138	木製品	歯付物	2SD2 69SX3	C層	23.6	6.9	0.7	69-242-699W94
35	139	木製品	櫛	2SD1	10-11-14層	31.2	3.0	2.9	69-262-699W29
35	140	木製品	櫛	2SD2 69SX3	C層	30.4	7.5	0.5	69-293-699W87
35	141	木製品	折敷片	2SD2 69SX3	C層	31.3	9.8	0.4	69-294-699W88
35	142	木製品	漆製品	2SD2 69SX3	C層	(8.6)	-	5.0	69-339-699W3
35	143	木製品	漆*残*	2SD2 69SX3	C層	6.4	8.6	1.2	69-345-699W43
35	144	木製品	漆製品	2SD2 69SX3	C層	23.9	7.6	1.1	69-343-699W1
35	145	木製品	下底面	2SD2 69SX3	C層	7.7	12.2	3.0	69-344-699W9
35	146	木製品	漆製品	2SD2 69SX3	C層	87.0	19.0	14.7	69-351-
35	147	木製品	漆製品	2SD2 69SX3	C層	76.3	17.8	19.3	69-352-
35	148	木製品	漆製品	2SD2 69SX3	C層	139.0	18.0	17.5	69-355-
35	149	木製品	漆製品	2SD2 69SX3	C層	160.0	21.9	21.4	69-356-
46	1	かわらけ	ロクロ小	2SD1	5・12・13層	9.6	6.6	2.0	69-2・699Rk26
46	2	かわらけ	ロクロ小	2SD1	10-11-14層	8.8	6.4	1.6	69-3・699Rk27
46	3	かわらけ	ロクロ大	2SD1	10-11-14層	(12.0)	(6.6)	3.2	69-9・699Rk25
46	4	かわらけ	手づね小	2SD1	3層	8.8	-	1.6	69-11-699Rk3
46	5	かわらけ	手づね小	2SD1	10-11-14層	9.5	-	2.0	69-14-699Rk43

国	番号	種別	出土遺構	層位	口積 (長さ)	幅積 (幅)	高さ (高さ)	備考・登録番号 (国庫登録番号)	
46	6	かわらけ	手づくね小	2ISD1	10・11・14層	8.5	-	20 60-15・6980k44	
46	7	かわらけ	手づくね小	2ISD1	10・11・14層	8.8	-	19 60-16・6980k45	
46	8	かわらけ	手づくね小	2ISD1	底層	8.2	-	21 60-20・6980k53	
46	9	かわらけ	手づくね大	2ISD1	10・11・14層	14.0	-	26 60-39・6980k30	
46	10	かわらけ	手づくね大	2ISD1	10・11・14層	14.2	-	2.5 60-10・6980k31	
46	11	かわらけ	手づくね大	2ISD1	10・11・14層	13.8	-	3.2 60-41・6980k32	
46	12	かわらけ	手づくね大	2ISD1	10・11・14層	12.7	-	2.7 60-43・6980k34	
46	13	かわらけ	手づくね大	2ISD1	10・11・14層	12.2	-	2.8 60-44・6980k35	
46	14	かわらけ	手づくね大	2ISD1	底層	11.7	-	3.2 60-53・6980k40	
46	15	かわらけ	手づくね大	2ISD1	底層	12.8	-	2.4 60-32・6980k39	
46	16	かわらけ	口口大	2ISD1	19-20	8.5	6.4	1.7 77-4・7780k67	
46	17	かわらけ	口口小	2ISD1	19-20	8.8	6.4	1.6 77-5・7780k109	
46	18	かわらけ	口口大	2ISD1	19-20	-	-	3.4 77-1・7780k67	
46	19	かわらけ	口口大	2ISD1	19-20	12.1	7.1	3.1 77-2・7780k64	
46	20	かわらけ	口口大	2ISD1	18	-	6.0	1.9 77-3・7780k65	
46	21	かわらけ	手づくね小	2ISD1	19-20	8.5	-	2.2 77-16・7780k65	
46	22	かわらけ	手づくね小	2ISD1	19-20	7.8	-	1.7 77-17・7780k47	
46	23	かわらけ	手づくね小	2ISD1	18	-	-	1.9 77-18・7780k106	
46	24	かわらけ	手づくね大	2ISD1	18	-	-	2.1 77-13・7780k103	
46	25	かわらけ	手づくね大	2ISD1	19-20	13.7	-	2.6 77-7・7780k623	
46	26	かわらけ	手づくね大	2ISD1	19-20	13.7	-	2.1 77-8・7780k621	
46	27	かわらけ	手づくね大	2ISD1	19-20	12.1	-	2.0 77-9・7780k625	
46	28	かわらけ	手づくね大	2ISD1	19-20	13.5	-	2.0 77-10・7780k628	
46	29	かわらけ	手づくね大	2ISD1	19-20	13.6	-	2.2 77-13・7780k87	
46	30	かわらけ	口口大	2ISD1	19	11.8	7.6	3.1 76-2・7680k42	
46	31	かわらけ	口口大	2ISD1	D9	14.0	8.0	3.8 76-3・7680k171	
46	32	かわらけ	手づくね小	2ISD1	D1	8.8	-	2.2 76-26・7680k162	
46	33	かわらけ	手づくね小	2ISD1	D4	9.0	-	1.8 76-27・7680k177	
46	34	かわらけ	手づくね小	2ISD1	D6	9.5	-	2.2 76-28・7680k157	
46	35	かわらけ	手づくね大	2ISD1	D4	12.2	-	2.7 76-4・7680k163	
46	36	かわらけ	手づくね大	2ISD1	D1	12.8	-	2.6 76-6・7680k165	
46	37	かわらけ	手づくね大	2ISD1	D4	15.5	-	2.7 76-5・7680k164	
46	38	かわらけ	手づくね大	2ISD1	D1	14.4	-	3.3 76-9・7680k185	
46	39	かわらけ	手づくね大	2ISD1	D6	12.0	-	2.6 76-16・7680k189	
46	40	かわらけ	手づくね大	2ISD1	D9	14.1	-	2.6 76-20・7680k145	
46	41	かわらけ	手づくね大	2ISD1	D9	13.7	-	3.0 76-21・7680k172	
46	42	かわらけ	内削れ	2ISD1	D9	-	-	0.8 76-23・7680k183	
46	43	かわらけ	口口大	2ISD1	5層	-	-	78-1・7880k20	
46	44	かわらけ	口口大	2ISD1	5層	-	6.4	-	78-2・7880k21
46	45	かわらけ	手づくね小	2ISD1	5層	68.0	-	1.3 78-3・7880k9	
46	46	かわらけ	手づくね大	2ISD1	20層	(13.7)	-	2.2 78-4・7880k18	
46	47	かわらけ	口口小	2ISD1	20層	(9.2)	6.2	1.6 78-6・7880k8	
46	48	かわらけ	口口大	2ISD1	20層	(13.2)	(6.3)	3.4 78-7・7880k6	
46	49	かわらけ	手づくね小	2ISD1	20層	9.1	-	1.8 78-8・7880k7	
46	50	かわらけ	手づくね大	2ISD1	20層	13.4	-	(2.4) 78-9・7880k2	
46	51	かわらけ	手づくね大	2ISD1	20層	13.7	-	2.9 78-10・7880k3	
46	52	かわらけ	手づくね大	2ISD1	20層	(13.6)	-	3.6 78-11・7880k4	
46	53	かわらけ	手づくね大	2ISD1	20層	(13.6)	-	(2.6) 78-12・7880k5	
46	54	かわらけ	口口小	2ISD1	20層	8.8	(6.0)	1.5 78-363・7880k170	
46	55	かわらけ	手づくね小	2ISD1	19層下層	8.8	-	1.7 78-367・7880k174	
46	56	かわらけ	手づくね大	2ISD1	19層下層	12.4	-	2.6 78-371・7880k176	
47	37	かわらけ	口口小	2ISD1	11-8	9.6	6.4	1.8 76-56・7680k123	
47	38	かわらけ	口口小	2ISD1	11-8	9.6	6.6	1.8 76-57・7680k125	
47	39	かわらけ	口口小	2ISD1	11-8	8.8	6.0	1.5 76-58・7680k116	
47	40	かわらけ	口口小	2ISD1	11-8	9.0	6.6	1.8 76-59・7680k119	
47	41	かわらけ	口口大	2ISD1	11-8	12.7	7.2	3.6 76-46・7680k112	
47	42	かわらけ	口口大	2ISD1	11-8	14.0	8.6	3.1 76-48・7680k122	
47	43	かわらけ	口口大	2ISD1	11-8	10.6	6.0	2.7 76-49・7680k141	
47	44	かわらけ	口口大	2ISD1	11-8	11.2	5.8	3.3 76-30・7680k108	
47	45	かわらけ	手づくね小	2ISD1	10-9	7.5	-	1.6 76-91・7680k101	
47	46	かわらけ	手づくね小	2ISD1	11-8	7.8	-	1.6 76-92・7680k120	
47	47	かわらけ	手づくね小	2ISD1	11-8	(8.9)	-	1.8 76-87・7680k100	
47	48	かわらけ	手づくね小	2ISD1	11-8	8.8	-	1.7 76-88・7680k109	
47	49	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11-8	13.0	-	2.9 76-65・7680k94	
47	50	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11-8	13.2	-	2.3 76-66・7680k107	
47	51	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11-8	12.1	-	2.4 76-70・7680k117	
47	52	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11-8	9.8	-	2.0 76-73・7680k128	
47	53	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11-8	12.8	-	2.6 76-75・7680k130	
47	54	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11-8	13.0	-	3.0 76-77・7680k132	
47	55	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11-8	13.5	-	3.2 76-80・7680k136	
47	56	かわらけ	口口小	2ISD1	(6.8)	(6.4)	1.8	78-238・7880k71	
47	57	かわらけ	口口小	2ISD1	11・12層	8.3	5.7	1.5 78-239・7880k150	
47	58	かわらけ	口口小	2ISD1	11・12層	9.9	(6.8)	(1.9) 78-240・7880k67	
47	59	かわらけ	口口大	2ISD1	11・12層	(12.3)	(6.5)	(3.0) 78-241・7880k71	
47	60	かわらけ	口口小	2ISD1	11・12層	13.1	7.2	3.3 78-242・7880k73	
47	61	かわらけ	手づくね小	2ISD1	11・12層	(7.8)	-	2.1 78-243・7880k66	
47	62	かわらけ	手づくね小	2ISD1	11・12層	(8.7)	-	(2.2) 78-244・7880k70	
47	63	かわらけ	手づくね大	2ISD1	11・12層	(13.7)	-	(2.9) 78-245・7880k68	

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	縦径 (幅)	高さ (幅)	備考・発掘番号 (目録番号)	
47	84	かわらけ	手づくね大	2SD1	11-12層	(13.8)	7.5	78-246・78R069	
47	85	かわらけ	手づくね大	2SD1	11-12層	(14.6)	-	(73.1) 78-247・78R072	
47	86	かわらけ	ロクロ小	2SD1	14~16	18.0	3.6	21 76-130・76R0173	
47	87	かわらけ	ロクロ小	2SD1	16	8.6	6.8	19 76-131・76R0175	
47	88	かわらけ	ロクロ大	2SD1	14	(14.2)	(8.0)	3.6 76-115・76R0211	
47	89	かわらけ	ロクロ大	2SD1	14~15	13.4	6.7	3.3 76-119・76R0203	
47	90	かわらけ	ロクロ大	2SD1	16	(13.6)	(8.0)	3.1 76-122・76R0271	
47	91	かわらけ	ロクロ大	2SD1	17・H8・D5	13.2	6.2	3.4 76-128・76R047	
47	92	かわらけ	手づくね小	2SD1	14	8.5	-	1.8 76-210・76R0194	
47	93	かわらけ	手づくね小	2SD1	14	7.3	-	1.3 76-211・76R0211	
47	94	かわらけ	手づくね大	2SD1	16	(11.6)	-	2.0 76-209・76R0274	
47	95	かわらけ	手づくね小	2SD1	14~15	8.0	-	1.6 76-215・76R0293	
47	96	かわらけ	手づくね小	2SD1	15	9.0	-	1.3 76-228・76R0352	
47	97	かわらけ	手づくね大	2SD1	14	(14.6)	-	2.2 76-139・76R0215	
47	98	かわらけ	手づくね大	2SD1	14	13.2	-	2.6 76-143・76R0254	
47	99	かわらけ	手づくね大	2SD1	14~15	12.5	-	3.3 76-146・76R0207	
47	100	かわらけ	手づくね大	2SD1	14~15	12.4	-	2.8 76-147・76R0208	
47	101	かわらけ	手づくね大	2SD1	14~15	(13.6)	-	2.6 76-151・76R0220	
47	102	かわらけ	手づくね大	2SD1	14~15	(14.0)	-	2.8 76-150・76R0219	
47	103	かわらけ	手づくね大	2SD1	15	(15.0)	-	2.7 76-174・76R0249	
47	104	かわらけ	内孔	2SD1	14~16	7.6	-	1.3 76-230・76R0476	
47	105	かわらけ	ロクロ小	2SD1	10-14	(8.8)	(6.1)	1.9 77-72・77R066	
47	106	かわらけ	ロクロ小	2SD1	10	(8.3)	(6.4)	1.5 77-73・77R0111	
47	107	かわらけ	ロクロ大	2SD1	10-14	(13.3)	(7.2)	3.5 77-67・77R059	
47	108	かわらけ	ロクロ大	2SD1	10-14	(13.0)	7.2	3.7 77-68・77R060	
47	109	かわらけ	ロクロ大	2SD1	10-14	(13.7)	(7.4)	3.4 77-69・77R061	
47	110	かわらけ	手づくね小	2SD1	14	(7.4)	-	(1.9) 77-126・77R044	
47	111	かわらけ	手づくね小	2SD1	10-14	(8.7)	-	1.6 77-128・77R0695	
47	112	かわらけ	手づくね大	2SD1	10-14	(15.2)	-	3.1 77-74・77R067	
47	113	かわらけ	手づくね大	2SD1	10-14	(13.2)	-	3.1 77-104・77R075	
47	114	かわらけ	手づくね大	2SD1	10	(15.2)	-	2.8 77-125・77R0149	
47	115	かわらけ	手づくね大	2SD1	10-14	(12.8)	-	2.7 77-108・77R0739	
47	116	かわらけ	手づくね大	2SD1	10-14	(12.6)	-	3.1 77-111・77R0682	
47	117	かわらけ	手づくね大	2SD1	10-14	(13.6)	-	2.9 77-107・77R0678	
47	118	かわらけ	手づくね大	2SD1	10	(13.0)	-	3.0 77-123・77R0136	
52	1	かわらけ	ロクロ小	T4 56SD38	2層	9.0	5.7	3.3 56-101	
52	2	かわらけ	ロクロ小	T4 56SD39	13・22層	9.0	5.0	(2.9) 56-103	
52	3	かわらけ	ロクロ大	T2 築瓦	A層	15.1	6.8	4.1 56-95	
52	4	かわらけ	ロクロ大	T2 SD38-39の 間	築地層	13.4	7.6	3.1 56-96	
52	5	かわらけ	ロクロ大	T4	埴土中	13.8	6.2	3.3 56-101	
52	6	かわらけ	ロクロ大	T4 56SD39	埴土	14.0	7.6	3.8 56-102	
52	7	かわらけ	手づくね小	T4 56SD39	2-34層	(7.8)	-	1.8 56-97	
52	8	かわらけ	手づくね大	T2 56SD39	22・29層	14.4	-	3.0 56-92	
52	9	かわらけ	手づくね大	T2 56SD39	39層	13.5	-	2.8 56-93	
52	10	かわらけ	手づくね大	T2 56SD39	13層	(14.0)	-	2.9 56-98	
52	11	かわらけ	ロクロ小	56SD38	27層	8.1	4.5	2.0 56-81	
52	12	かわらけ	ロクロ小	T1 56SD38	埴土	9.2	7.4	1.7 56-85	
52	13	かわらけ	柱状高台	56SD38	埴土	-	7.4	-	56-83
52	14	かわらけ	ロクロ大	56SD38	27層	15.6	7.8	3.5 56-79	
52	15	かわらけ	ロクロ大	56SD38	14層	14.3	5.9	3.6 56-80	
52	16	かわらけ	ロクロ大	56SD38	27層	14.2	7.6	4.0 56-81	
52	17	かわらけ	ロクロ大	56SD38	29層	14.6	5.5	3.9 56-82	
52	18	かわらけ	手づくね小	56SD38	27層	9.0	-	2.0 56-77	
52	19	かわらけ	手づくね小	T2 56SD38	3層	(9.2)	-	1.9 56-74	
52	20	かわらけ	手づくね大	56SD38	27層	14.1	-	3.1 56-73	
52	21	かわらけ	手づくね大	56SD38	27層	13.9	-	3.0 56-75	
52	22	かわらけ	手づくね大	56SD38	29層	13.8	-	2.8 56-76	
53	1	木製品	漆桶	72SD2 6グリップ E20	E1~E5	-	8.2	-	75-592・75R0008
53	2	木製品	漆桶	72SD2 2-3ベ ルト	E9~E10	15.8	8.0	5.7	75-601・75R0005
53	3	木製品	漆桶	72SD2 2-3グ リップ	E9~E10	-	8.6	1.7	75-602・75R0335
53	4	木製品	下駄	72SD2	E9~E10	22.9	11.9	3.8	75-599・75R0435
53	5	木製品	箸	72SD2 2-3ベ ルト	E9~E10	18.7	0.5	0.4	75-605・75R0148
53	6	木製品	箸	72SD2 2-3ベ ルト	E9~E10	15.7	0.6	0.3	75-606・75R0149
53	7	木製品	皿	56SD38	29層	21.4	14.0	2.3	56-4044
53	8	木製品	円形木製品	56SD39 T2	13層	31.4	13.7	0.5	56-4054
53	9	木製品	らま木	56SD39	13層	22.5	5.5	0.5	56-4105
53	10	木製品	女用	56SD39 T4	11・15層	9.4	14.9	2.0	56-4099
53	11	木製品	折敷(底取・縁)	56SD39 T4	14・15層	39.0	28.0	2.1	56-4109
53	12	木製品	無蓋箱	72SD1	10・15層	12.9	1.4	0.3	75-501・75R0446
53	13	木製品	箱	72SD1	10・15層	26.9	3.3	1.1	75-503・75R0288
53	14	木製品	漆塗り下駄	72SD1	16層	13.5	18.2	2.7	75-516・75R0002
53	15	木製品	桶	72SD2	16層	5.0	7.0	-	75-535・75R0132

国	番号	種別	出土遺構	階段	口径 (長さ)	底径 (幅)	高さ (厚さ)	備考・存続番号 (山陽県番号)	
53	16	木製品	漆刷	72S02	16層	-	7.8	-	75-517・75R0004
53	17	木製品	漆刷り下駄	72S02	16層	13.2	18.5	30	75-517・75R0003
60	1	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑤	No.1	8.4	6.3	1.8	72-189・72R0k25
60	2	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑤	10層	8.4	1.8	5.4	72-190・72R0k30
60	3	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑤	10層	8(4)	(4.5)	2.2	72-192・72R0k28
60	4	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑤	1層	(14.0)	(7.0)	(3.3)	72-193・72R0k27
60	5	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑤	1層	13.8	7.4	3.1	72-194・72R0k36
60	6	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑤	1層	(12.5)	(7.5)	3.5	72-195・72R0k39
60	7	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑤	1層	(7.9)	-	1.3	72-198・72R0k32
60	8	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑤	9・12層	8.3	-	1.3	72-197・72R0k37
60	9	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑤	10層	8.9	-	1.6	72-198・72R0k38
60	10	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑤	10層	14.6	-	2.9	72-203・72R0k29
60	11	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑤	1層	14.8	-	3.0	72-204・72R0k38
60	12	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑤	15層	14.7	-	2.7	72-206・72R0k41
60	13	かわらけ	内折丸	72S02 ⑤	9・10層	-	-	(1.3)	72-201・72R0k34
60	14	陶器類	山岳瓶	72S02 ⑤	底面直上	-	6.9	(3.9)	72-207・72R0k131
60	15	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑩	23・27層	8.8	6.7	1.7	73-60・73R0k46
60	16	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑩	16・17層	11.0	8.6	1.8	73-61・73R0k47
60	17	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑩	23・27層	12.6	4.3	6.4	73-63・73R0k49
60	18	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑩	28層直上No.1	11.0	6.5	4.6	73-64・73R0k150
60	19	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑩	11・18層	14.6	7.0	4.2	73-65・73R0k31
60	20	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑩	23・27層	14.4	8.0	4.3	73-66・73R0k152
60	21	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑩	28層直上No.1	14.3	6.8	3.9	73-67・73R0k153
60	22	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑩	2層	8.0	-	1.6	73-69・73R0k155
60	23	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑩	直層中	13.4	-	2.8	73-70・73R0k157
60	24	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑨	10層	9.6	6.8	1.8	74-193・74R0k202
60	25	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑨	12層	8.8	6.0	1.8	74-194・74R0k203
60	26	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑨	13・11層	11.0	7.0	3.3	74-197・74R0k205
60	27	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑨	10層	(13.2)	(7.4)	3.7	74-198・74R0k200
60	28	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑨	10層	8.8	-	1.7	74-199・74R0k201
60	29	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑨	10層	9.7	-	1.8	74-200・74R0k201
60	30	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑨	13・11層	9.4	-	2.0	74-202・74R0k207
60	31	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑨	12層	(13.9)	-	2.9	74-205・74R0k210
60	32	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑨	12層	13.6	-	2.4	74-208・74R0k211
60	33	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑨	12層	14.3	-	2.8	74-209・74R0k212
60	34	かわらけ	柱状高台	72S02 ⑩	21層	-	-	-	74-215・74R0k230
60	35	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑩	7層	9.4	6.2	2.2	74-216・74R0k217
60	36	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑩	8層	8(6)	5.8	1.8	74-217・74R0k214
60	37	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑩	14層	(8.0)	(5.6)	1.6	74-218・74R0k216
60	38	かわらけ	ロクロ小	72S02 ⑩	16層	(13.9)	7.0	3.7	74-222・74R0k219
60	39	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑩	22層	(13.0)	6.2	4.1	74-225・74R0k227
60	40	かわらけ	ロクロ大	72S02 ⑩	22層	(13.4)	6.0	3.7	74-224・74R0k226
60	41	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑩	16層	(9.3)	-	1.6	74-229・74R0k240
60	42	かわらけ	手づくね小	72S02 ⑩	16層	(8.8)	-	1.2	74-230・74R0k221
60	43	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑩	16層	(13.2)	-	3.0	74-232・74R0k218
60	44	かわらけ	手づくね大	72S02 ⑩	21層	(14.6)	9.0	3.1	74-233・74R0k229
60	45	かわらけ	ロクロ小	72S02 2区	暗褐色土 (No.8直下)	9.4	6.2	1.7	73-113・73R0k1
60	46	かわらけ	ロクロ小	72S02 2区	砂層	8.7	5.7	1.9	73-114・73R0k57
60	47	かわらけ	ロクロ小	72S02 2区	砂層	9.0	6.3	2.1	73-115・73R0k38
60	48	かわらけ	ロクロ小	72S02 2区	砂層	-	5.7	1.6	73-116・73R0k39
60	49	かわらけ	ロクロ大	72S02 2区	暗褐色土 (No.1)	14.0	7.6	3.5	73-120・73R0k2
60	50	かわらけ	ロクロ大	72S02 2区	暗褐色土 (No.1・11間)	13.5	7.0	3.3	73-121・73R0k3
60	51	かわらけ	ロクロ大	72S02 2区	暗褐色土 (No.7)	14.0	7.0	3.4	73-122・73R0k4
60	52	かわらけ	ロクロ大	72S02 2区	暗褐色土 (No.6)	13.2	7.0	3.8	73-123・73R0k5
60	53	かわらけ	ロクロ大	72S02 2区	暗褐色土 (No.7)	15.2	9.6	3.3	73-124・73R0k6
60	54	かわらけ	手づくね小	72S02 2区	砂層・暗褐色土 (No.1直下・No.11)	9.4	-	1.7	73-147・73R0k19
60	55	かわらけ	手づくね小	72S02 2区	暗褐色土 (No.1直下・No.11)	8.8	-	2.1	73-148・73R0k20
60	56	かわらけ	手づくね小	72S02 2区	暗褐色土 (No.1直下・No.3・4・11)	9.4	-	2.1	73-149・73R0k21
60	57	かわらけ	手づくね小	72S02 2区	砂層・暗褐色土 (No.11)	9.4	-	1.8	73-150・73R0k22
60	58	かわらけ	手づくね大	72S02 2区	砂層・暗褐色土 (No.1)	13.9	-	2.8	73-170・73R0k30
60	59	かわらけ	手づくね大	72S02 2区	暗褐色土 (No.1直下・No.1・11)	14.0	-	2.3	73-171・73R0k31
60	60	かわらけ	手づくね大	72S02 2区	暗褐色土 (No.1直下・No.11)	14.4	-	2.4	73-172・73R0k32
60	61	かわらけ	手づくね大	72S02 2区	暗褐色土 (No.5)	12.4	-	2.8	73-173・73R0k34
60	62	かわらけ	手づくね大	72S02 2区	暗褐色土 (No.4・11)	14.7	-	3.2	73-174・73R0k33
60	63	かわらけ	手づくね大	72S02 2区	暗褐色土 (No.5直下)	13.7	-	2.8	73-175・73R0k35

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (出目数量番号)		
60	64	かわらけ	手づね大	72SD2 2区		14.4	-	3.0	73-176・73ROk36	
60	65	かわらけ	手づね大	72SD2 2区		13.8	-	3.0	73-177・73ROk37	
60	66	かわらけ	手づね大	72SD2 2区		14.6	-	2.8	73-178・73ROk38	
63	1	かわらけ	ロクロ	72SD1 3		41層 東 42層	-	4.2	-	74-180・74ROk86
63	2	かわらけ	ロクロ	72SD1 3		35 41層 西	-	4.4	-	74-181・74ROk181
63	3	かわらけ	ロクロ	72SD1 3		35 41層 西	8.2	4.4	2.1	74-184・74ROk183
63	4	かわらけ	ロクロ	72SD1 3		37層	8.6	6.6	2.0	74-185・74ROk178
63	5	かわらけ	ロクロ	72SD1 3		37層	8.6	3.7	2.0	74-186・74ROk179
63	6	かわらけ	ロクロ	72SD1 3		41層	7.9	4.1	1.9	74-187・74ROk184
63	7	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		37層	13.2	9.4	4.5	74-189・74ROk177
63	8	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		29・30層	8.9	6.7	2.2	74-142・74ROk146
63	9	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		29・30層	8.8	6.8	1.5	74-143・74ROk148
63	10	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		29層 上面	9.6	3.7	2.0	74-144・74ROk161
63	11	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		29層 上面	9.2	6.8	1.9	74-145・74ROk162
63	12	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		30層	8.8	4.6	2.0	74-146・74ROk166
63	13	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		30層	7.0	3.1	1.3	74-147・74ROk165
63	14	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		31層	8.6	3.4	2.2	74-148・74ROk169
63	15	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		31層	8.2	4.6	1.7	74-149・74ROk168
63	16	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29層 上面	13.8	8.0	3.7	74-153・74ROk149
63	17	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29・30層	13.4	7.2	3.8	74-154・74ROk151
63	18	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29層 上面	14.7	8.2	3.6	74-155・74ROk157
63	19	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29層 上面	13.4	8.0	5.0	74-156・74ROk155
63	20	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29・30層	13.6	7.9	4.3	74-158・74ROk141
63	21	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29・30層	14.9	7.4	4.2	74-159・74ROk144
63	22	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29・30層	13.5	6.2	3.6	74-160・74ROk147
63	23	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		29層 上面	14.2	6.8	3.9	74-161・74ROk163
63	24	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		30層	13.2	6.6	3.9	74-162・74ROk167
63	25	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		32層	15.0	5.1	3.4	74-163・74ROk174
63	26	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		32層	15.6	6.0	4.4	74-165・74ROk176
63	27	かわらけ	手づね小	72SD1 3		29層 上面	(8.8)	-	2.4	74-166・74ROk150
63	28	かわらけ	手づね小	72SD1 3		29層 上面	8.4	-	1.6	74-167・74ROk153
63	29	かわらけ	手づね小	72SD1 3		29層 上面	9.2	-	2.1	74-169・74ROk159
63	30	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29層 上面	15.1	-	3.5	74-170・74ROk151
63	31	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29層 上面	15.0	-	3.4	74-171・74ROk152
63	32	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29層 上面	14.2	-	3.0	74-172・74ROk154
63	33	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29層 上面	14.2	-	3.2	74-173・74ROk156
63	34	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29・30層	14.8	(8.0)	3.6	74-174・74ROk142
63	35	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29層 上面	15.6	-	3.9	74-175・74ROk145
63	36	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29層 上面	13.7	-	3.3	74-176・74ROk160
63	37	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29層	13.6	-	2.8	74-177・74ROk170
63	38	かわらけ	手づね大	72SD1 3		29・30層	14.9	-	2.8	74-178・74ROk140
63	39	かわらけ	手づね小	72SD1 3		29・30層	-	-	1.1	74-168・74ROk139
63	40	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		18・19層・23・29 瀬戸遺跡No.2	9.3	6.1	2.0	74-1・74ROk3
63	41	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		18・23層	8.9	3.5	1.6	74-3・74ROk29
63	42	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		18・23層	(8.2)	(5.8)	1.5	74-4・74ROk102
63	43	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		18・19層・23・29 瀬戸遺跡No.13	9.4	4.8	2.1	74-5・74ROk12
63	44	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		23層中～下位	8.9	6.3	1.8	74-6・74ROk43
63	45	かわらけ	ロクロ小	72SD1 3		23層中～下位	9.4	6.5	2.2	74-7・74ROk49
63	46	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		18・23層	(13.3)	6.2	3.3	74-14・74ROk104
63	47	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		18・23層	(13.5)	7.3	3.4	74-15・74ROk108
63	48	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		18・23層	(13.5)	(7.2)	3.2	74-16・74ROk112
63	49	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		18・23層	(13.3)	6.6	3.2	74-17・74ROk114
63	50	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		18・23層	(14.2)	(8.8)	3.1	74-18・74ROk121
63	51	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		18・19層・23・29 瀬戸遺跡No.82	14.0	7.0	3.3	74-19・74ROk27
63	52	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		18・19層・23・29 瀬戸遺跡No.91	13.4	5.8	3.2	74-20・74ROk31
63	53	かわらけ	ロクロ大	72SD1 3		23層中～下位	15.4	8.0	4.3	74-21・74ROk71
63	54	かわらけ	手づね小	72SD1 3		18・23層	(8.6)	-	1.9	74-36・74ROk76
63	55	かわらけ	手づね小	72SD1 3		18・23層	(8.8)	-	1.6	74-38・74ROk82
63	56	かわらけ	手づね小	72SD1 3		18・23層	8.7	-	1.9	74-40・74ROk84
63	57	かわらけ	手づね小	72SD1 3		18・23層	8.5	-	1.7	74-41・74ROk86
63	58	かわらけ	手づね小	72SD1 3		18・23層	9.7	-	1.8	74-42・74ROk96
63	59	かわらけ	手づね小	72SD1 3		18・23層	(9.2)	-	1.8	74-44・74ROk101
63	60	かわらけ	手づね小	72SD1 3		23層中～下位	8.5	-	2.1	74-70・74ROk35
63	61	かわらけ	手づね小	72SD1 3		23層中～下位	8.6	-	1.8	74-71・74ROk98
63	62	かわらけ	手づね小	72SD1 3		23層中～下位	9.6	-	2.0	74-72・74ROk70
63	63	かわらけ	手づね大	72SD1 3		18・23層	(13.3)	-	2.5	74-78・74ROk75
63	64	かわらけ	手づね大	72SD1 3		18・23層	(14.2)	-	3.1	74-79・74ROk77
63	65	かわらけ	手づね大	72SD1 3		18・23層	(12.6)	-	2.5	74-98・74ROk111
63	66	かわらけ	手づね大	72SD1 3		18・23層	(12.8)	-	2.7	74-99・74ROk115
63	67	かわらけ	手づね大	72SD1 3		18・23層	(13.7)	-	3.0	74-101・74ROk117
63	68	かわらけ	手づね大	72SD1 3		18・23層	14.2	-	3.3	74-96・74ROk109

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・存続番号 (旧図表番号)	
63	69	かわらけ	手づくね大	7SD1③	18層・19層上位	14.1	-	3.1	74-122・74RW36
63	70	かわらけ	手づくね大	7SD1③	22層 本製品器下 部、粘土層	14.7	-	3.2	74-123・74RW39
63	71	かわらけ	手づくね大	7SD1③	23層中～下位	11.6	-	3.2	74-131・74RW62
63	72	かわらけ	手づくね大	7SD1③	23層中～下位	15.5	-	2.9	74-135・74RW65
63	73	かわらけ	手づくね大	7SD1③	23層中～下位	15.0	-	3.2	74-136・74RW67
63	74	かわらけ	手づくね小	7SD1③	1層	17.0	-	1.4	74-34・74RW187
63	75	かわらけ	手づくね小	7SD1③	13層	-	-	1.2	74-35・74RW189
63	76	かわらけ	手づくね小	7SD1③	18・23層	8.0	-	1.3	74-37・74RW78
63	77	かわらけ	ロクロ大	41S12 日トレン 12層	北壇原洛土 4a- 12層	-	(7.4)	-	74-192・74RW237
64	78	木製品	削断片	7SD1③	32層	22.5	6.3	0.6	74-1020・74RW2
64	79	木製品	削断片	7SD1③	32層	13.5	1.8	0.4	74-1049・74RW363
64	80	木製品	漆碗	7SD1③	29・30層	口径 (16.0)	底径 8.0	器高 (4.8)	74-1021・74RW10
64	81	木製品	漆碗	7SD1③	32層	口径 15.8	底径 6.8	器高 4.9	74-1022・74RW5
64	82	木製品	漆碗	7SD1③	29・30層	口径 (17.0)	底径 7.4	器高 6.8	74-1023・74RW4
64	83	木製品	漆碗	7SD1③	32層	口径 16.0	底径 8.2	器高 6.0	74-1024・74RW11
64	84	木製品	下駄	7SD1③	29・30層	18.0	6.0	2.4	74-1034・74RW45
64	85	木製品	下駄	7SD1③	30層	23.3	12.2	4.4	74-1044・74RW32
64	86	木製品	下駄	7SD1③	31層	22.8	13.1	4.8	74-1047・74RW29
64	87	木製品	形代	7SD1③	29・30層	16.8	10.5	0.6	74-1055・74RW62
64	88	木製品	刀子柄	7SD1③	32層	8.7	3.4	1.6	74-1036・74RW400
64	89	木製品	須り物	7SD1③	29・30層	10.9	3.2	-	74-1057・74RW66
64	90	木製品	鍔茎	7SD1③	29・30層	高さ 7.9	7.8	-	74-1058・74RW63
64	91	木製品	行子状	7SD1③	29層上面西側	18.6	8.9	0.6	74-1059・74RW42
64	92	木製品	削断	7SD1③	30層上面中央	33.5	16.3	0.9	74-1074・74RW15
64	93	木製品	削断	7SD1③	29・30層	20.5	13.8	0.7	74-1096・74RW20
64	94	木製品	削断	7SD1③	29・30層	30.7	20.7	0.2	74-1075・74RW14
64	95	木製品	不明	7SD1③	29・30層	2.6	3.6	2.5	74-1113・74RW64
64	96	木製品	不明	7SD1③	29・30層	高さ 3.9	4.8	4.4	74-1114・74RW49
64	97	木製品	削断片	7SD1③	23層中～下位	13.1	5.5	0.6	74-960・74RW1
64	98	木製品	漆碗	7SD1③	18・19層・23・29 層西端 No61	口径 (15.6)	7.4	5.7	74-961・74RW3
64	99	木製品	形代	7SD1③	23層中～下位	20.7	8.2	0.5	74-986・74RW41
64	100	木製品	箸	7SD1③	23層中～下位	23.3	1.2	1.1	74-977・74RW109-1
64	101	木製品	箸	7SD1③	23層中～下位	23.2	1.1	1.1	74-978・74RW109-2
64	102	木製品	桶底	7SD1③	23層中～下位	6.7	6.7	1.3	74-982・74RW71
64	103	木製品	漆物底	7SD1③	23層中～下位	22.2	24.3	0.8	74-1036・74RW19
64	104	木製品	円形板	7SD1③	18層・19層上位	17.5	8.7	1.3	74-1059・74RW69
64	105	木製品	円形板	7SD1③	23層	8.4	8.7	0.9	74-983・74RW74
67	1	かわらけ	ロクロ	23SB1 78-83 -PP2	埋土	13.8	-	3.5	23SB1-1
67	2	かわらけ	ロクロ	23SB1 78-83 -PP2	埋土	13.4	7.0	4.4	23SB1-4
67	3	かわらけ	ロクロ	23SB1 78-83 -PP1	埋土上部一括資料	-	7.2	2.6	23SB1-2
67	4	かわらけ	ロクロ大	23SB1 79-84 -PP1	埋土	13.4	5.6	3.0	23SB1-5
67	5	かわらけ	ロクロ大	23SB1 79-84 -PP1	埋土	13.4	7.0	3.3	23SB1-3
69	1	かわらけ	手づくね	23SB3 80-86 -PP4	埋土	13.0	-	3.2	23SB3-1
69	2	かわらけ	手づくね	23SB3 80-88 -PP1	埋土	13.8	-	2.9	23SB3-2
69	3	かわらけ	手づくね	23SB3 80-87 -PP10	埋土	12.4	-	2.8	23SB3-3
77	1	かわらけ	ロクロ大	28SB1 66-79 -PP17	埋土上部	12.4	7.4	3.7	28SB1-1
77	2	かわらけ	ロクロ大	28SB1 67-79 -PP3	埋土南半	13.3	7.0	4.0	28SB1-2
77	3	かわらけ	ロクロ小	28SB1 68-80 -PP6	埋土根柢内	9.5	6.6	2.0	28SB1-3
78	1	かわらけ	ロクロ小	28SB2 68-78 -PP13	埋土北半	11.6	8.2	1.8	28SB2-1
78	2	かわらけ	ロクロ大	28SB2 69-78 -PP1	北半埋土	8.6	5.2	2.3	28SB2-2
79	1	かわらけ	ロクロ小			8.8	5.6	1.8	90-2871-78-pp7
81	1	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -PP8	2層上部のレキ層 をはずした下の層	13.8	-	2.6	28SB4-1
81	2	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -PP6	2層	13.0	-	2.4	28SB4-2

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	厚さ (厚さ)	備考・足跡番号 (旧掲載番号)	
81	3	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -P16	2層	13.6	-	3.3	28SD4-3
81	4	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -P16	2層 (上部レキ群 のかわらけ層)	14.0	-	2.7	28SD4-4
81	5	かわらけ	ロクロ	28SB4 71-81 -P16	2層 (上部レキ群 のかわらけ層)	12.0	5.0	3.5	28SD4-5
81	6	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -P16	上部のレキ群をば すした下の層	13.8	-	2.8	28SD4-7
81	7	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -P16	2層+009 71-81 -P16 2層 (上部 遺群の下のかわら け層)	14.2	-	2.7	28SD4-8
81	8	かわらけ	手づくね大		(1)46	-	3.3		28SH4YC90-28 71-82 -P13
81	9	かわらけ	ロクロ	28SB4 71-82 -P13	埋土前半下部	13.0	7.6	3.1	28SD4-9
81	10	かわらけ	ロクロ	28SB4 71-82 -P13	埋土上半部 (新しい 柱穴の方の埋土)	8.8	5.8	1.6	28SD4-6
81	11	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	9.2	5.9	2.0	50-1
81	12	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	6.0	6.0	1.7	50-2
81	13	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	8.8	5.5	1.9	50-3
81	14	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	8.8	5.8	2.0	50-4
81	15	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	14.9	7.1	3.2	50-9
81	16	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	14.2	7.0	3.8	50-10
81	17	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	13.0	7.5	4.3	50-11
81	18	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	14.2	6.3	4.4	50-13
81	19	かわらけ	手づくね小	P557	3層	8.7	-	1.9	50-14
81	20	かわらけ	手づくね小	P557	3層	9.8	-	1.6	50-15
81	21	かわらけ	手づくね小	P557	3層	9.1	-	2.0	50-17
81	22	かわらけ	手づくね小	P557	3層	8.9	-	1.6	50-19
81	23	かわらけ	手づくね小	P557	3層	8.6	-	1.8	50-22
81	24	かわらけ	手づくね小	P557	3層	9.6	-	1.9	50-24
81	25	かわらけ	手づくね小	P557	3層	7.6	-	1.1	50-25
81	26	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.0	-	3.1	50-27
81	27	かわらけ	手づくね大	P557	3層	13.1	-	3.1	50-28
81	28	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.0	-	2.9	50-30
81	29	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.2	-	2.9	50-32
81	30	かわらけ	手づくね大	P557	3層	12.8	-	2.9	50-31
81	31	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.4	-	2.9	50-34
81	32	かわらけ	手づくね大	P557	3層	11.8	-	3.0	50-35
81	33	かわらけ	手づくね大	P557	3層	13.2	-	2.9	50-36
81	34	かわらけ	手づくね大	P557	3層	12.5	-	2.3	50-38
81	35	かわらけ	手づくね大	P569埋土		13.2	-	2.1	50-45
83	1	かわらけ	ロクロ小	P1478 (28SB6)	抜き取り直	9.2	3.4	1.7	33-897
83	2	かわらけ	ロクロ小	P1478 (28SB6)	抜き取り直	8.4	6.1	1.9	33-898
83	3	かわらけ	ロクロ	P821 (35SB3)	抜き取り直	-	16.7	-	33-896
83	4	かわらけ	ロクロ	P831 (35SB3)	抜き取り直	-	5.8	(1.9)	33-887
83	5	かわらけ	ロクロ大	P1478 (28SB6)	抜き取り直	13.4	7.0	3.8	33-899
83	6	かわらけ	ロクロ大	P1478 (28SB6)	抜き取り直	13.6	6.8	3.8	33-900
97	1	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	14.0	-	3.0	50-194
97	2	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	14.5	-	2.8	50-195
97	3	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	14.0	-	2.8	50-197
97	4	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	13.5	-	3.3	50-199
97	5	かわらけ	手づくね大	50SB3 PP23	埋土	14.0	-	2.8	50-196
97	6	かわらけ	手づくね大	50SB3 PP23	埋土	14.5	-	3.3	50-203
98	1	かわらけ	手づくね大	50SB4P26		13.2	-	3.2	50SB4-1
98	2	かわらけ	手づくね大	50SB4P26		8.2	-	1.5	50SB4-2
98	3	かわらけ	手づくね大	50SB4P26		9.8	5.4	3.7	50SB4-3
126	1	かわらけ	ロクロ小	P1469 (35SB3)	抜き取り直	8.2	5.8	3.7	35-871
126	2	かわらけ	ロクロ小	P1469 (35SB3)	抜き取り直	7.8	5.8	1.6	35-872
126	3	かわらけ	ロクロ大	P1452 (35SB3)	抜き取り直	-	15.5	-	35-884
126	4	かわらけ	ロクロ大	P824 (35SB6)	抜き取り直	-	6.8	(2.7)	35-886
126	5	かわらけ	柱状高倉	P887 (35SB3)	抜き取り直	-	3.0	(4.7)	35-890
128	1	かわらけ	ロクロ小	35SB8		(9.0)	3.2	1.6	
128	2	かわらけ	ロクロ	P1460 (35SB9)	埋土	15.2	5.8	4.0	35-892
129	1	かわらけ	ロクロ大	P187 (35SB19)	鞋直	-	6.3	-	35-883
135	1	かわらけ	ロクロ大	35SB16		-	(7.4)	3.2	
135	1	かわらけ	ロクロ小	35SB19 P202 埋土		14.4	6.0	4.7	35-894
167	1	かわらけ	ロクロ小	35SN2	埋土	8.4	6.2	1.5	35-388
167	2	かわらけ	ロクロ小	35SN2	埋土	9.0	7.0	1.9	35-389
167	3	かわらけ	ロクロ小	35SN2	埋土	8.6	6.0	1.2	35-390
167	4	かわらけ	ロクロ小	35SN2	埋土	8.4	6.2	1.4	35-391
167	5	かわらけ	ロクロ小	35SN2	埋土	9.0	6.0	1.4	35-392
167	6	かわらけ	ロクロ小	35SN2	埋土	8.8	6.8	1.6	35-393
167	7	かわらけ	ロクロ大	35SN2	埋土	12.2	6.8	3.2	35-401
167	8	かわらけ	ロクロ大	35SN2	埋土	13.2	6.2	3.8	35-403

図	番号	種別	出土遺構	構体	口縁 (長さ)	底径 (幅)	高さ (厚さ)	備考・参照番号 (目録表番号)
107	9	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.0	6.6	3.6 55-404
107	10	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	7.0	3.3 55-406
107	11	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.8	7.8	4.4 55-415
107	12	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.4	6.5	3.9 55-418
107	13	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.4	6.6	3.8 55-420
107	14	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.6	8.0	3.8 55-423
107	15	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.6	6.8	3.3 55-430
107	16	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.4	7.4	3.9 55-433
107	17	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.8	7.6	3.2 55-434
107	18	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	6.8	3.0 55-442
107	19	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.1	7.0	3.5 55-443
107	20	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.2	6.4	3.2 55-444
107	21	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.2	6.2	3.3 55-453
107	22	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.4	6.1	3.0 55-460
107	23	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.4	6.8	3.6 55-461
107	24	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.5	7.2	4.1 55-462
107	25	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.2	6.8	3.3 55-463
107	26	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.6	7.0	2.7 55-475
107	27	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.1	7.0	4.0 55-481
107	28	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	6.6	4.1 55-487
107	29	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.8	7.2	3.3 55-490
107	30	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.8	7.4	3.2 55-494
107	31	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.6	7.6	3.4 55-501
107	32	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.6	8.0	4.2 55-509
107	33	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.1	6.8	3.6 55-515
107	34	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	9.0	3.5 55-520
107	35	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	7.8	3.6 55-522
107	36	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.6	7.0	3.2 55-524
107	37	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	7.8	3.6 55-531
107	38	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.7	6.1	3.0 55-545
107	39	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.6	7.4	3.0 55-552
107	40	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.6	6.6	2.5 55-553
107	41	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	13.2	6.8	2.5 55-554
107	42	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	6.8	3.8 55-560
107	43	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.4	7.2	3.3 55-564
107	44	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.6	7.5	3.7 55-567
107	45	かわらけ	ロタロ大	55SX2	理土	14.0	7.8	3.5 55-569
107	46	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	8.9	-	1.7 55-578
107	47	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	8.6	-	1.5 55-589
107	48	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	8.8	-	1.9 55-590
107	49	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	8.2	-	1.9 55-582
107	50	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	8.6	-	1.7 55-583
107	51	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	9.2	-	2.1 55-591
107	52	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	7.8	-	1.5 55-585
107	53	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	9.1	-	1.9 55-703
107	54	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	8.6	-	1.6 55-778
107	55	かわらけ	手づくね小	55SX2	理土	8.9	-	1.8 55-779
107	56	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.4	-	2.7 55-634
107	57	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.9	-	2.7 55-639
107	58	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.8	-	3.1 55-641
107	59	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.7	-	3.1 55-706
107	60	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	14.2	-	2.9 55-602
107	61	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	11.8	-	2.8 55-598
107	62	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.4	-	2.6 55-599
107	63	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.5	-	3.1 55-617
107	64	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	14.0	-	3.1 55-591
107	65	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.9	-	2.9 55-618
107	66	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.1	-	2.7 55-630
107	67	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.2	-	2.8 55-604
107	68	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.3	-	3.1 55-607
107	69	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.0	-	2.8 55-608
107	70	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.0	-	2.6 55-611
107	71	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.4	-	3.0 55-612
107	72	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.4	-	3.0 55-622
107	73	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.2	-	2.1 55-636
108	74	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.1	-	3.0 55-627
108	75	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	14.2	-	3.5 55-628
108	76	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.2	-	2.2 55-620
108	77	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.8	-	2.2 55-633
108	78	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.6	-	2.6 55-643
108	79	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.2	-	2.9 55-664
108	80	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.8	-	3.2 55-670
108	81	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	14.6	-	2.9 55-672
108	82	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.8	-	3.2 55-675
108	83	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.7	-	2.6 55-678
108	84	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.2	-	2.4 55-650
108	85	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	13.8	-	2.4 55-653
108	86	かわらけ	手づくね大	55SX2	理土	12.7	-	2.7 55-635

図	番号	種別	出土遺構	層位	口縁 (長)	底径 (厚さ)	幅 (厚さ)	備考・登録番号 (図説番号)
168	87	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	126	-	27 55-660
168	88	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	133	-	30 55-662
168	89	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	133	-	38 55-667
168	90	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	134	-	29 55-678
168	91	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	133	-	3.0 55-683
168	92	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	134	-	2.6 55-689
168	93	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	148	-	3.1 55-692
168	94	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	130	-	3.1 55-694
168	95	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	13.0	-	2.5 55-702
168	96	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	142	-	3.1 55-680
168	97	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	146	-	2.9 55-684
168	98	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	132	-	2.9 55-685
168	99	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	129	-	2.9 55-707
168	100	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	135	-	3.0 55-708
168	101	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	124	-	2.4 55-709
168	102	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	137	-	3.2 55-716
168	103	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	142	-	3.0 55-718
168	104	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	124	-	2.9 55-725
168	105	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	143	-	3.0 55-727
168	106	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	128	-	2.9 55-728
168	107	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	129	-	3.1 55-730
168	108	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	131	-	2.8 55-733
168	109	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	131	-	3.0 55-736
168	110	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	122	-	2.6 55-744
168	111	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	139	-	3.1 55-745
168	112	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	136	-	2.7 55-748
168	113	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	130	-	3.1 55-749
168	114	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	136	-	2.4 55-782
168	115	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	126	-	2.9 55-711
168	116	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	136	-	3.0 55-715
168	117	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	135	-	2.7 55-752
168	118	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	130	-	2.9 55-753
168	119	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	138	-	2.7 55-754
168	120	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	132	-	2.8 55-763
168	121	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	135	-	3.2 55-766
168	122	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	128	-	2.9 55-764
168	123	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	131	-	2.7 55-790
168	124	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	140	-	2.9 55-795
168	125	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	128	-	2.6 55-796
168	126	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	134	-	3.1 55-798
168	127	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	140	-	3.2 55-800
168	128	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	133	-	3.0 55-802
168	129	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	139	-	3.0 55-768
168	130	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	143	-	3.3 55-770
168	131	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	146	-	2.6 55-772
168	132	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	135	-	2.7 55-804
168	133	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	146	-	3.1 55-810
168	134	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	134	-	2.4 55-788
168	135	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	127	-	2.8 55-813
168	136	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	136	-	3.1 55-825
168	137	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	144	-	3.1 55-830
168	138	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	142	-	2.9 55-831
168	139	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	160	-	3.1 55-834
168	140	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	158	-	3.1 55-841
168	141	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	139	-	3.4 55-842
168	142	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	142	-	2.9 55-844
168	143	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	133	-	3.2 55-830
168	144	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	137	-	3.0 55-851
168	145	かわらけ	手づくね小	55S2	埋土	110	-	3.3 55-832
168	146	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	146	-	2.9 55-854
168	147	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	136	-	3.2 55-836
168	148	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	127	-	2.6 55-838
168	149	かわらけ	手づくね大	55S2	埋土	143	-	3.6 55-867
174	1	かわらけ	口ロ大	2SG1	57T2C-10層 (5) (57SE3)	-	9.6 (2.5)	57-28
174	2	かわらけ	手づくね大	39SE1	上面	136	-	25 64-101
174	3	かわらけ	手づくね大	2SG1	57T1-11層 (3)	(13.5)	-	2.8 57-1
174	4	かわらけ	手づくね大	2SG1	57T1-11層 (1)	(13.4)	-	2.4 57-2
174	5	かわらけ	手づくね小	2SG1	59T1d. 1	8.4	-	1.6 64-2
174	6	かわらけ	手づくね小	2SG1	59T1d. 42	8.4	-	1.7 64-3
174	7	かわらけ	手づくね小	2SG1	59T1d. 11	9.4	-	1.7 64-7
174	8	かわらけ	手づくね小	2SG1	59T1d. 29	8.4	-	1.7 64-8
174	9	かわらけ	手づくね大	2SG1	59T1d. 19	12.6	-	2.4 64-11
174	10	かわらけ	手づくね大	2SG1	59T1d. 25	13.2	-	2.8 64-13
174	11	かわらけ	手づくね大	2SG1	59T1d. 35	14.7	-	3.0 64-15
174	12	かわらけ	手づくね大	2SG1	59T1d. 21	12.6	-	2.9 64-16
174	13	かわらけ	手づくね大	2SG1	59T1d. 27	13.4	-	2.9 64-17
174	14	かわらけ	手づくね大	2SG1	59T1d. 37	13.3	-	2.7 64-21

種	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (長さ)	高さ (長さ)	備考・登録番号 (田圃番号)	
174	15	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_36	126	-	24 64-22	
174	16	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_15	130	-	31 64-26	
174	17	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_9	139	-	28 64-30	
174	18	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_41d	126	-	19 64-31	
174	19	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_30	130	-	23 64-32	
174	20	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_26	129	-	28 64-34	
174	21	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_6	132	-	23 61-35	
174	22	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_8	137	-	23 61-37	
174	23	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T1d_5	136	-	30 64-40	
175	24	かわらけ	ロクロ小	Z8SG1	57T3B-3割南	131	70	32 57-32	
175	25	かわらけ	ロクロ小	Z8SG1	57T3B-1割	83	56	15 57-44	
175	26	かわらけ	ロクロ大	Z8SG1	57T3B-1d割8割	140	80	31 57-46	
175	27	かわらけ	ロクロ小	Z8SG1	59T2_18	100	67	17 64-42	
175	28	かわらけ	ロクロ小	Z8SG1	59T2_2(3HSD58土 圃)	89	54	16 64-43	
175	29	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T2_11	89	-	18 64-44	
175	30	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T2_17	86	-	15 64-45	
175	31	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T2_16	92	-	17 64-46	
175	32	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T2_12	91	-	17 64-47	
175	33	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T2_5	146	-	30 64-40	
175	34	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T2_6	120	-	64-48	
175	35	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T2_13	138	-	28 64-51	
175	36	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T2_9	132	-	22 64-53	
175	37	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T2_5	136	-	30 64-55	
175	38	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T2_2	128	-	29 64-56	
175	39	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T3A-3割1d	142	-	31 57-28	
175	40	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T3A-3割1	134	-	30 57-29	
175	41	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T3B-1a割1	137	-	31 57-28	
175	42	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	57T2A-3割5	980	-	15 57-13	
175	43	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T2A-6割72	1000	-	15 57-14	
175	44	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T2A-4割7	(131)	-	30 57-11	
175	45	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T2A-4割71	(134)	-	19 57-12	
175	46	かわらけ	ロクロ大	Z8SG1	57T2C-2割1	144	60	35 57-22	
175	47	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T2C-2割1	(136)	-	32 57-19	
175	48	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	57T2C-2割1	(138)	-	25 57-20	
175	49	かわらけ	ロクロ小	Z8SG1	59T3_5~7割	89	66	16 61-57	
175	50	かわらけ	ロクロ大	Z8SG1	59T3_3	141	78	30 64-50	
175	51	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T3_18	84	-	19 64-61	
175	52	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T3_6	88	-	17 64-62	
175	53	かわらけ	平づくね小	Z8SG1	59T3_2	88	-	17 64-63	
175	54	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T3_1	141	-	29 64-64	
175	55	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T3_13	142	-	31 64-67	
175	56	かわらけ	平づくね大	Z8SG1	59T3_15_1割	128	-	28 64-60	
175	57	木製器	底面	37SE1	2割	180	70	55 64-100	
178	1	かわらけ	ロクロ小	37SE2	NO.1	83	60	17 50-86	
178	2	かわらけ	ロクロ大	37SE2	2割 下南平	128	72	40 50-87	
178	3	かわらけ	ロクロ大	37SE2	1割 北平	139	74	40 50-88	
178	4	かわらけ	ロクロ大	37SE2	2割 下南平	128	72	26 50-89	
178	5	かわらけ	ロクロ大	37SE2	NO.3	141	74	40 50-90	
178	6	かわらけ	ロクロ大	37SE2	北平	136	67	45 50-91	
178	7	かわらけ	ロクロ大	37SE2	底面NO.15	143	71	32 50-92	
178	8	かわらけ	ロクロ大	37SE2	1割 南平	142	68	33 50-93	
178	9	かわらけ	平づくね小	37SE2	底面	96	-	18 50-72	
178	10	かわらけ	平づくね小	37SE2	底面	98	-	20 50-73	
178	11	かわらけ	平づくね小	37SE2	3割 南平	96	-	17 50-74	
178	12	かわらけ	平づくね大	37SE2	1割 北平	143	-	33 50-66	
178	13	かわらけ	平づくね大	37SE2	底面NO.13	150	-	35 50-69	
178	14	かわらけ	平づくね大	37SE2	底面NO.2	144	-	34 50-70	
178	15	かわらけ	平づくね大	37SE2	底面NO.5	156	-	33 50-75	
178	16	かわらけ	平づくね大	37SE2	底面NO.14、NO.3	156	-	32 50-77	
178	17	かわらけ	平づくね大	37SE2	底面NO.1	146	-	29 50-80	
178	18	かわらけ	平づくね大	37SE2	9割	154	-	36 50-82	
178	19	かわらけ	平づくね大	37SE2	底面NO.8	141	-	23 50-85	
178	20	陶器割器	片口鉢	37SE2	2割	-	141	-	50-1188
180	1	かわらけ	ロクロ小	50SE3	3割 P32	92	38	22 50-51	
180	2	かわらけ	ロクロ小	50SE3	3割	89	62	16 50-52	
180	3	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 P8	142	71	36 50-53	
180	4	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 P8	139	66	35 50-54	
180	5	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 P20	144	69	36 50-55	
180	6	かわらけ	ロクロ大	50SE3	P1	145	58	30 50-56	
180	7	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 西平	138	66	38 50-57	
180	8	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 西平	143	62	31 50-58	
180	9	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 西平	152	90	31 50-59	
180	10	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 西平	143	72	37 50-60	
180	11	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 P1	135	76	34 50-61	
180	12	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3割 P9	147	63	24 50-62	
180	13	かわらけ	平づくね小	50SE3	3割 P3	82	-	16 50-27	
180	14	かわらけ	平づくね小	50SE3	3割 P15	91	-	22 50-28	

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長×)	底径 (幅)	器高 (厚×)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
180	15	かわらけ	手づくね小	50SE3	9.1	-	1.8	50-29
180	16	かわらけ	手づくね小	50SE3	9.0	-	2.3	50-31
180	17	かわらけ	手づくね大	50SE3	13.9	-	3.0	50-1
180	18	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.2	-	3.3	50-3
180	19	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.4	-	3.2	50-4
180	20	かわらけ	手づくね大	50SE3	15.5	-	3.3	50-6
180	21	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.3	-	3.2	50-14
180	22	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.4	-	2.9	50-15
180	23	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.2	-	3.0	50-16
180	24	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.4	-	3.2	50-19
180	25	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.8	-	3.3	50-20
180	26	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.1	-	3.0	50-23
180	27	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.4	-	3.1	50-34
180	28	かわらけ	手づくね大	50SE3	14.5	-	3.0	50-36
180	29	かわらけ	手づくね大	50SE3	13.4	-	3.3	50-50
180	30	中国産陶磁器	四耳甕	50SE3	10.1	6.8	26.5	50-2008
180	31	金属製品	印章	50SE3	4.7	4.7	3.7	50-5013
181	32	木製品	下駄	50SE3	3.9	12.5	3.6	50-4001
181	33	木製品	下駄	50SE3	21.2	10.5	2.6	50-4002
181	34	木製品	笥	50SE3	21.5	6.4	0.8	50-4003
181	35	木製品	不明	50SE3	31.1	3.9	3.3	50-4009
181	36	木製品	不明	50SE3	46.1	2.4	1.1	50-4010
181	37	木製品	不明	50SE3	30.9	3.0	1.1	50-4011
181	38	木製品	笥	50SE3	3.4	7.3	2.8	50-4013
181	39	木製品	昆布巻?	50SE3	7.0	1.3	0.1	50-4012
181	40	木製品	折敷板	50SE3	27.9	2.5	0.3	50-4028
181	41	木製品	墨書木片	50SE3	8.7	2.2	0.4	50-4043
181	42	木製品	墨書木片	50SE3	16.2	1.3	0.4	50-4041
181	43	木製品	墨書木片	50SE3	18.9	2.0	0.5	50-4042
181	44	木製品	墨書木片	50SE3	4.5	1.5	0.4	50-4046
181	45	木製品	墨書木片	50SE3	3.1	1.9	0.4	50-4045
181	46	木製品	墨書木片	50SE3	4.0	1.5	0.1	50-4044
181	47	木製品	墨書木片	50SE3	11.7	0.8	0.3	50-4047
181	48	木製品	墨書木片	50SE3	10.8	2.0	0.3	50-4048
181	49	木製品	墨書木片	50SE3	9.7	2.1	0.1	50-4049
181	50	木製品	折敷板	50SE3	29.2	6.6	0.4	50-4050
181	51	木製品	折敷板	50SE3	33.1	16.0	1.0	50-4025
181	52	木製品	笥	50SE3	31.2	1.7	1.1	50-4034
182	1	かわらけ	ロタロ大	52SE1	13.4	7.9	3.5	52-16
182	2	かわらけ	ロタロ大	52SE1	13.6	7.6	3.2	52-17
182	3	かわらけ	ロタロ大	52SE1	13.4	6.6	4.0	52-18
182	4	かわらけ	ロタロ大	52SE1	14.0	7.0	3.0	52-19
182	5	かわらけ	ロタロ大	52SE1	14.3	7.2	3.7	52-20
182	6	かわらけ	ロタロ大	52SE1	13.7	6.7	4.2	52-21
182	7	かわらけ	ロタロ大	52SE1	14.8	7.2	3.4	52-22
182	8	かわらけ	ロタロ大	52SE1	13.1	6.4	3.7	52-23
182	9	かわらけ	ロタロ大	52SE1	14.0	7.7	3.4	52-24
182	10	かわらけ	ロタロ大	52SE1	14.2	7.6	3.9	52-25
182	11	かわらけ	ロタロ	52SE1	-	7.0	11.0	52-26
182	12	かわらけ	手づくね小	52SE1	9.3	-	1.7	52-1
182	13	かわらけ	手づくね小	52SE1	9.1	-	2.0	52-2
182	14	かわらけ	手づくね小	52SE1	8.6	-	2.3	52-3
182	15	かわらけ	手づくね大	52SE1	13.1	-	2.8	52-5
182	16	かわらけ	手づくね大	52SE1	14.8	-	2.8	52-7
182	17	かわらけ	手づくね大	52SE1	14.5	-	2.8	52-8
182	18	かわらけ	手づくね大	52SE1	14.0	-	2.6	52-9
182	19	かわらけ	手づくね大	52SE1	14.3	-	3.3	52-10
182	20	かわらけ	手づくね大	52SE1	13.2	-	3.1	52-12
182	21	かわらけ	手づくね大	52SE1	14.3	-	3.1	52-14
182	22	かわらけ	手づくね大	52SE1	13.2	-	2.7	52-13
183	1	かわらけ	ロタロ小	52SE7	8.5	6.2	1.4	52-27
183	2	かわらけ	ロタロ小	52SE7	8.7	5.7	1.7	52-28
183	3	かわらけ	ロタロ小	52SE7	9.0	5.5	2.1	52-29
183	4	かわらけ	ロタロ小	52SE7	9.0	5.5	1.8	52-30
183	5	かわらけ	ロタロ小	52SE7	8.6	4.7	1.9	52-31
183	6	かわらけ	ロタロ小	52SE7	8.6	6.2	1.6	52-32
183	7	かわらけ	ロタロ小	52SE7	8.5	6.0	1.8	52-33
183	8	かわらけ	ロタロ小	52SE7	8.3	5.4	1.4	52-38
183	9	かわらけ	ロタロ小	52SE7	8.8	5.8	1.8	52-39
183	10	かわらけ	ロタロ大	52SE7	14.0	6.0	3.7	52-44
183	11	かわらけ	ロタロ大	52SE7	13.5	5.6	3.6	52-43
183	12	かわらけ	ロタロ大	52SE7	13.1	6.3	3.5	52-46
183	13	かわらけ	ロタロ大	52SE7	13.6	5.7	3.9	52-49
183	14	かわらけ	ロタロ大	52SE7	14.1	6.3	4.1	52-51
183	15	かわらけ	ロタロ大	52SE7	14.8	7.2	3.7	52-53
183	16	かわらけ	ロタロ大	52SE7	14.9	6.0	3.7	52-54
183	17	かわらけ	ロタロ大	52SE7	14.6	6.4	3.8	52-55
183	18	かわらけ	ロタロ大	52SE7	13.7	6.0	3.5	52-56

国	番号	種別	出土遺構	階位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (田代敷番号)
IK3	19	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	12.3	5.7	24 32-58
IK3	20	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.1	6.8	37 32-59
IK3	21	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.0	6.8	38 32-61
IK3	22	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.0	6.4	37 32-64
IK3	23	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.9	6.2	42 32-68
IK3	24	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階上	13.6	6.7	38 32-70
IK3	25	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.6	6.6	40 32-76
IK3	26	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.1	7.2	33 32-77
IK3	27	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.4	6.8	39 32-78
IK3	28	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.3	6.0	40 32-79
IK3	29	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	12.8	6.0	33 32-80
IK3	30	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.9	6.1	40 32-82
IK3	31	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.6	6.0	40 32-83
IK3	32	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.1	5.6	35 32-85
IK3	33	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.0	6.8	36 32-86
IK3	34	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	12.4	6.5	38 32-87
IK3	35	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	13.9	5.8	35 32-92
IK3	36	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.8	7.8	45 32-94
IK3	37	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	11.0	6.8	43 32-96
IK3	38	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	11.6	7.0	40 32-98
IK3	39	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.0	6.6	40 32-100
IK3	40	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.6	6.5	46 32-102
IK3	41	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.7	6.8	41 32-103
IK3	42	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階上層	12.8	7.3	3.0 32-104
IK3	43	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2階	14.4	6.2	39 32-109
IK4	1	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.3	-	1.6 32-118
IK4	2	かわらけ	手づくね小	52SE8	10階	8.2	-	1.4 32-120
IK4	3	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	9.6	-	1.3 32-129
IK4	4	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.6	-	1.6 32-132
IK4	5	かわらけ	手づくね小	52SE8	10階	8.8	-	1.8 32-135
IK4	6	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.6	-	1.8 32-140
IK4	7	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.4	-	1.6 32-141
IK4	8	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.1	-	1.3 32-146
IK4	9	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	7.4	-	1.5 32-149
IK4	10	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.6	-	1.8 32-156
IK4	11	かわらけ	手づくね小	52SE8	10階	9.0	-	1.7 32-153
IK4	12	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.6	-	1.6 32-167
IK4	13	かわらけ	手づくね小	52SE8	10階	9.1	-	2.0 32-169
IK4	14	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	9.0	-	2.2 32-171
IK4	15	かわらけ	手づくね小	52SE8	3階	9.8	-	2.1 32-179
IK4	16	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.8	-	1.9 32-186
IK4	17	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.8	-	1.8 32-197
IK4	18	かわらけ	手づくね小	52SE8	9階下	8.6	-	1.9 32-200
IK4	19	かわらけ	手づくね小	52SE8	5階	8.1	-	1.8 32-206
IK4	20	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	11.0	-	1.8 32-195
IK4	21	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	12.6	-	2.6 32-206
IK4	22	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.0	-	2.4 32-200
IK4	23	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	12.9	-	3.0 32-213
IK4	24	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.6	-	2.5 32-216
IK4	25	かわらけ	手づくね大	52SE8	10階	13.1	-	2.8 32-218
IK4	26	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階	12.4	-	2.6 32-219
IK4	27	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	12.2	-	2.6 32-221
IK4	28	かわらけ	手づくね大	52SE8	10階	13.5	-	2.5 32-222
IK4	29	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	12.6	-	2.3 32-226
IK4	30	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.8	-	2.9 32-231
IK4	31	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.3	-	3.5 32-239
IK4	32	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.0	-	2.7 32-249
IK4	33	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	12.8	-	2.6 32-250
IK4	34	かわらけ	手づくね大	52SE8	10階	13.5	-	2.3 32-262
IK4	35	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	14.2	-	2.8 32-301
IK4	36	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.4	-	3.3 32-307
IK4	37	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	14.6	-	2.8 32-308
IK4	38	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.4	-	2.9 32-309
IK4	39	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.1	-	3.0 32-311
IK4	40	かわらけ	手づくね大	52SE8	10階	13.1	-	2.8 32-316
IK4	41	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.0	-	2.9 32-325
IK4	42	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	14.0	-	3.2 32-326
IK4	43	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.6	-	3.0 32-327
IK4	44	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.9	-	2.9 32-332
IK4	45	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	14.0	-	2.8 32-312
IK4	46	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.2	-	2.8 32-319
IK4	47	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.4	-	2.8 32-306
IK4	48	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.5	-	2.7 32-307
IK4	49	かわらけ	手づくね大	52SE8	10階	13.5	-	2.7 32-371
IK4	50	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.6	-	2.7 32-374
IK4	51	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.1	-	2.3 32-380, ロクロ新土
IK4	52	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	12.7	-	2.5 32-381, ロクロ新土
IK4	53	かわらけ	手づくね大	52SE8	9階下	13.0	-	2.4 32-382, ロクロ新土

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長)	底径 (幅)	高さ (厚さ)	備考・登録番号 (但し掲載番号)	
184	54	かわらけ	手づくね大	5S2E8	9層下部	120	-	27	52-384, ロクロ粘土
184	55	かわらけ	手づくね大	5S2E8	9層下部	134	-	3.0	52-385, ロクロ粘土
184	56	かわらけ	手づくね大	5S2E8	9層下部	139	-	2.6	52-386, ロクロ粘土
184	57	かわらけ	手づくね大	5S2E8	6層	138	-	3.2	52-388
184	58	かわらけ	手づくね大	5S2E8	6層	135	-	2.6	52-400
184	59	かわらけ	内折れ	5S2E8	9層下部	98	-	1.2	52-385
185	60	木製品	木筒	5S2E8	9層, 9層下部	10.0	1.8	0.2	52-5002
185	61	木製品	木筒	5S2E8	10層	12.0	2.8	0.3	52-5005
185	62	木製品	木筒	5S2E8	9層下部	11.0	3.0	0.5	52-5003
185	63	木製品	木片	5S2E8	9層	25.3	4.0	0.2	52-5004
185	64	木製品	漆器類	5S2E8	9層下部	14.4	7.0	8.2	52-5007
185	65	木製品	折敷	5S2E8	9層下部	22.0	20.0	0.4	52-5009
185	66	木製品	折敷	5S2E8	9層	26.1	9.0	0.5	52-5018
185	67	木製品	折敷	5S2E8	9層下部	25.0	13.0	0.5	52-5010
185	68	木製品	骨管	5S2E8	9層	45.0	2.0	0.5	52-5050-1
185	69	木製品	骨	5S2E8	9層	7.0	3.7	0.5	52-5057
185	70	木製品	骨	5S2E8	9層下部	5.0	3.5	0.5	52-5056
185	71	木製品	刀子柄	5S2E8	9層下部	10.0	2.0	1.0	52-5059
185	72	木製品	刀子柄	5S2E8	9層下部	29.0	3.5	0.7	52-5058
185	73	木製品	刀子	5S2E8	9層	27.0	3.0	0.3	52-5062
185	74	木製品	木筒	5S2E8	9層下部	13.5	6.5	0.5	52-5063
185	75	木製品	骨製品	5S2E8	6層	7.5	1.2	0.8	52-5087
185	76	木製品	骨製品	5S2E8	9層	9.0	1.5	0.8	52-5083
185	77	木製品	骨製品	5S2E8	9層下部	6.5	1.8	0.7	52-5082
185	78	木製品	円筒状	5S2E8	10層	4.0	4.0	1.0	52-5084
185	79	木製品	部材	5S2E8	9層下部	35.0	20.0	3.0	52-5086
185	80	木製品	部材	5S2E8	10層	9.0	2.5	0.3	52-5087
185	81	木製品	部材	5S2E8	9層	30.0	5.0	5.0	52-5091
185	82	木製品	部材	5S2E8	9層下部	30.0	4.0	3.5	52-5092
185	83	木製品	形代	5S2E8	10層	20.5	26.0	0.6	52-5089
185	84	木製品	形代	5S2E8	10層	27.9	7.3	0.3	52-5090
186	1	かわらけ	ロクロ小	5S2E9	10層	9.0	5.9	1.9	52-421
186	2	かわらけ	ロクロ小	5S2E9	10層	9.6	7.2	1.5	52-422
186	3	かわらけ	ロクロ小	5S2E9	6層	14.4	7.2	3.6	52-406
186	4	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	15.5	7.2	4.3	52-407
186	5	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	15.3	6.7	4.0	52-408
186	6	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	15.9	7.6	3.8	52-409
186	7	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	15.9	8.4	4.4	52-410
186	8	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	15.0	7.0	3.9	52-411
186	9	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	14.7	7.2	3.9	52-412
186	10	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	15.5	6.9	3.3	52-413
186	11	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	6層	15.1	7.0	3.6	52-414
186	12	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	7層	14.9	7.1	3.5	52-418
186	13	かわらけ	ロクロ大	5S2E9	10層	14.7	7.2	3.8	52-425
186	14	かわらけ	手づくね大	5S2E9	6層	14.7	-	2.9	52-403
187	1	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	7.2	5.2	2.6	52-431
187	2	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.1	6.2	2.7	52-433
187	3	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.1	6.0	3.0	52-438
187	4	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.3	5.6	2.9	52-439
187	5	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.2	5.8	2.7	52-441
187	6	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.5	6.4	3.0	52-442
187	7	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.7	5.5	3.2	52-443
187	8	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.5	6.0	2.8	52-448
187	9	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	7.3	5.0	2.6	52-455
187	10	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.0	6.4	2.7	52-458
187	11	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	上層	8.0	6.0	2.0	52-468
187	12	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	8.1	5.7	4.0	52-470
187	13	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	9.3	5.5	3.0	52-481
187	14	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	9.8	6.3	2.6	52-482
187	15	かわらけ	ロクロ小	5S2E10	5層	9.7	5.8	3.4	52-483
187	16	かわらけ	ロクロ大	5S2E10	5層	14.4	5.3	5.1	52-501
187	17	かわらけ	ロクロ大	5S2E10	5層	13.0	5.8	4.4	52-502
187	18	かわらけ	ロクロ大	5S2E10	5層	14.2	5.4	5.1	52-503
187	19	かわらけ	ロクロ大	5S2E10	5層	14.0	5.0	4.8	52-504
187	20	かわらけ	ロクロ大	5S2E10	5層	12.8	5.0	5.1	52-505
187	21	かわらけ	ロクロ大	5S2E10	上層	11.8	5.3	5.3	52-506
187	22	かわらけ	柱状高台	5S2E10	5層	8.9	(3.3)	3.7	52-516
187	23	かわらけ	柱状高台	5S2E10	5層	11.3	7.2	4.0	52-517
187	24	かわらけ	柱状高台	5S2E10	5層	-	6.1	(3.0)	52-518
187	25	かわらけ	柱状高台	5S2E10	5層	-	9.8	(3.0)	52-519
187	26	かわらけ	柱状高台	5S2E10	5層	-	7.9	(6.7)	52-520
187	27	かわらけ	高坪	5S2E10	5層	20.4	10.3	10.5	52-521
187	28	かわらけ	高坪	5S2E10	5層	20.3	10.4	8.6	52-523
187	29	かわらけ	高坪	5S2E10	5層	21.2	11.2	9.7	52-522
187	30	かわらけ	高坪	5S2E10	5層	21.3	12.0	9.2	52-524
187	31	かわらけ	-	5S2E10	5層	12.5	-	6.1	52-528
188	1	かわらけ	ロクロ小	5S2E1	4層	8.1	3.8	1.9	55-1
188	2	かわらけ	ロクロ小	5S2E1	5層	8.2	3.6	2.2	55-4

国	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (最大)	底径 (最小)	器高 (厚さ)	備考・器番号 (副標記番号)
188	3	かわらけ	ロクロ小	55SE1	19号	8.4	4.8	2.2 55-11
188	4	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	9.0	5.0	2.2 55-15
188	5	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4号	8.8	5.0	1.9 55-17
188	6	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4号	8.4	4.8	2.3 55-18
188	7	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	9.5	4.8	2.2 55-24
188	8	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	8.7	5.0	2.2 55-27
188	9	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	8.3	4.7	1.9 55-29
188	10	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	8.4	5.1	2.0 55-33
188	11	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	8.2	4.6	2.1 55-34
188	12	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	8.7	5.3	2.1 55-36
188	13	かわらけ	ロクロ小	55SE1	30号	8.0	5.4	2.1 55-47
188	14	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4号	8.6	4.8	2.2 55-52
188	15	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4号	7.4	5.3	1.3 55-55
188	16	かわらけ	ロクロ大	55SE1	1号	14.2	4.8	4.1 55-62
188	17	かわらけ	ロクロ大	55SE1	4号	14.0	5.6	4.9 55-63
188	18	かわらけ	ロクロ大	55SE1	4号	13.5	5.6	5.1 55-64
188	19	かわらけ	ロクロ大	55SE1	30号	13.2	6.0	4.9 55-65
188	20	かわらけ	ロクロ大	55SE1	50号	12.4	6.0	5.2 55-66
188	21	かわらけ	ロクロ大	55SE1	40号	-	6.0	(3.4) 55-78
188	22	かわらけ	ロクロ大	55SE1	11号	-	6.4	(2.4) 55-79
188	23	かわらけ	ロクロ大	55SE1	17号	-	8.4	(2.2) 55-80
188	24	木製品	漆器椀	55SE1	19号	15.8	(7.9) 7.4	55-4001
188	25	木製品	木皿	55SE1	18号	9.4	8.7	0.7 55-4005
188	26	木製品	椀	55SE1	19号	3.4	3.1	2.4 55-4004
188	27	木製品	木皿	55SE1	15号	6.3	2.9	2.8 55-4014
188	28	木製品	椀	55SE1	15号	10.8	3.6	1.1 55-4008
188	29	木製品	漆器木片	55SE1	19号	8.8	2.2	0.1 55-4007
188	30	木製品	漆材	55SE1	18号	33.0	2.6	1.7 55-4016
191	1	かわらけ	ロクロ小	55SK41	11号	8.8	6.1	1.7 55-219
191	2	かわらけ	ロクロ大	55SK44	11号	9.0	6.0	1.5 55-228
191	3	かわらけ	ロクロ大	55SK44	2号	12.4	5.8	3.4 55-221
191	4	かわらけ	ロクロ大	55SK44	3号	13.6	6.6	3.5 55-223
191	5	かわらけ	ロクロ大	55SK44	11号	13.0	6.6	3.5 55-221
191	6	かわらけ	ロクロ大	55SK44	11号	14.3	8.0	3.8 55-225
191	7	かわらけ	柱状高台	55SK44	5号	-	6.2	(3.2) 55-227
191	8	かわらけ	手づくね小	55SK44	8号	9.2	-	1.9 55-231
191	9	かわらけ	手づくね小	55SK44	5号	8.9	-	1.8 55-232
191	10	かわらけ	手づくね小	55SK44	12号	9.1	-	1.8 55-233
191	11	かわらけ	手づくね小	55SK44	埴土(6層付置)	8.0	-	1.6 55-235
191	12	かわらけ	手づくね大	55SK44	5号	13.8	-	3.2 55-244
191	13	かわらけ	手づくね大	55SK44	3号	14.4	-	3.1 55-245
191	14	かわらけ	手づくね大	55SK44	埴土	12.0	-	2.6 55-246
191	15	かわらけ	手づくね大	55SK44	5号	13.7	-	2.4 55-247
191	16	かわらけ	手づくね大	55SK44	5号	14.0	-	3.6 55-248
191	17	かわらけ	手づくね大	55SK44	埴土(6層付置)	14.4	-	2.9 55-252
191	18	かわらけ	手づくね大	55SK44	11号	13.4	-	2.8 55-256
191	19	かわらけ	手づくね大	55SK44	5号	16.0	-	3.5 55-257
191	20	かわらけ	手づくね大	55SK44	6号	13.8	-	2.6 55-259
191	21	かわらけ	手づくね大	55SK44	埴土(6層付置)	14.2	-	2.4 55-260
191	22	かわらけ	手づくね大	55SK44	埴土(6層付置)	12.9	-	3.0 55-261
191	23	かわらけ	手づくね大	55SK44	埴土(6層付置)	12.9	-	2.7 55-262
194	1	かわらけ	手づくね小	56SK80	埴土上層、下層	(9.2)	-	1.9 56-51
194	2	かわらけ	手づくね大	56SK80	埴土上層	(13.4)	-	2.4 56-49
194	3	かわらけ	手づくね大	56SK80	埴土	14.5	-	2.9 56-52
194	4	かわらけ	手づくね大	56SK80	埴土	14.8	-	3.1 56-53
196	1	かわらけ	ロクロ小	70SE1	30号	7.9	4.5	1.5 70-104・70RO k.35
196	2	かわらけ	柱状高台	70SE1	30号	-	5.1	- 70-105・70RO k.38
196	3	かわらけ	ロクロ小	70SE1	1〜30号	13.8	8.4	3.4 70-106・70RO k.32
196	4	かわらけ	ロクロ大	70SE1	30号	12.7	6.2	3.1 70-107・70RO k.33
196	5	かわらけ	ロクロ大	70SE1	30号	12.6	6.0	3.0 70-108・70RO k.36
196	6	かわらけ	ロクロ大	70SE1	30号	12.0	6.5	3.7 70-109・70RO k.37
196	7	かわらけ	ロクロ大	70SE1	1〜30号	14.6	8.2	4.0 70-110・70RO k.42
196	8	かわらけ	ロクロ大	70SE1	1〜30号	15.0	8.4	3.0 70-111・70RO k.43
196	9	かわらけ	ロクロ大	70SE1	30号	14.3	7.2	4.5 70-112・70RO k.44
196	10	かわらけ	ロクロ大	70SE1	30号	14.8	6.4	4.3 70-113・70RO k.45
197	1	かわらけ	ロクロ小	70SE3	1号	8.7	6.2	2.1 70-114・70RO k.1
197	2	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3号	9.1	6.1	1.8 70-115・70RO k.2
197	3	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3号	7.4	5.0	1.7 70-116・70RO k.3
197	4	かわらけ	ロクロ小	70SE3	1号	7.8	5.3	1.7 70-117・70RO k.4
197	5	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3号	8.4	5.4	1.8 70-118・70RO k.5
197	6	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3号	9.4	7.6	1.4 70-119・70RO k.6
197	7	かわらけ	ロクロ小	70SE3	30号	8.0	4.8	2.3 70-120・70RO k.7
197	8	かわらけ	ロクロ小	70SE3	30号	8.8	6.5	1.7 70-121・70RO k.8
197	9	かわらけ	ロクロ小	70SE3	4号	10.0	7.6	2.0 70-122・70RO k.9
197	10	かわらけ	ロクロ小	70SE3	5号	8.8	5.4	1.7 70-123・70RO k.10
197	11	かわらけ	ロクロ小	70SE3	5号	9.5	7.4	1.9 70-124・70RO k.18
197	12	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3号	8.8	5.0	2.0 70-125・70RO k.20
197	13	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3号	8.8	6.8	2.1 70-126・70RO k.21

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (埋田番号)	
197	14	かわらけ	ロクロ小	70SE3	2層	7.5	5.5	16	70-128・70RO k 23
197	15	かわらけ	ロクロ大	70SE3	5層	13.8	8.2	6.5	70-129・70RO k 11
197	16	かわらけ	ロクロ大	70SE3	5層	14.0	6.8	4.6	70-130・70RO k 14
197	17	かわらけ	ロクロ大	70SE3	4層	12.6	5.5	3.3	70-131・70RO k 12
197	18	かわらけ	ロクロ大	70SE3	3層	14.0	7.0	3.7	70-132・70RO k 15
197	19	かわらけ	ロクロ大	70SE3	3層	15.0	8.2	3.8	70-133・70RO k 16
197	20	かわらけ	手づくね小	70SE3	4層	9.4	-	1.7	70-134・70RO k 19
197	21	かわらけ	手づくね大	70SE3	1・5層	14.3	-	2.6	70-135・70RO k 20
197	22	かわらけ	手づくね大	70SE3	5層	15.1	-	3.2	70-136・70RO k 17
197	23	かわらけ	手づくね大	70SE3	4層	14.6	-	3.4	70-137・70RO k 25
197	24	かわらけ	手づくね大	70SE3	5層	12.6	-	2.4	70-138・70RO k 26
197	25	かわらけ	手づくね大	70SE3	3・4層	15.2	-	3.4	70-139・70RO k 27
197	26	かわらけ	手づくね大	70SE3	3層	15.8	-	3.2	70-140・70RO k 28
197	27	かわらけ	手づくね大	70SE3	3・4層	15.0	-	4.0	70-141・70RO k 29
197	28	かわらけ	手づくね大	70SE3	1層	16.2	-	3.5	70-142・70RO k 30
198	1	かわらけ	ロクロ小	77SK1	9	9(2)	6(4)	1.8	77-450・77RO k 223
198	2	かわらけ	ロクロ大	77SK1	9	13.5	6.8	3.4	77-449・77RO k 220
198	3	かわらけ	手づくね小	77SK1	9	8.8	-	1.9	77-459・77RO k 240
198	4	かわらけ	手づくね小	77SK1	9	9.6	-	2.1	77-460・77RO k 241
198	5	かわらけ	手づくね小	77SK1	9	9.4	-	2.0	77-461・77RO k 242
198	6	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.5	-	3.1	77-461・77RO k 244
198	7	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.1	-	3.0	77-452・77RO k 230
198	8	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	12.8	-	3.0	77-453・77RO k 231
198	9	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	14.9	-	3.4	77-454・77RO k 232
198	10	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.8	-	2.7	77-455・77RO k 233
198	11	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.0	-	2.3	77-456・77RO k 234
198	12	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.2	-	3.0	77-457・77RO k 235
198	13	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	14.0	-	2.9	77-458・77RO k 236
198	14	かわらけ	ロクロ小	77SK1	2-3	8(6)	6(1)	1(1)	77-465・77RO k 219
198	15	かわらけ	ロクロ大	77SK1	2-3	11(6)	9(0)	3(3)	77-464・77RO k 218
198	16	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	10.7	-	2.0	77-473・77RO k 227
198	17	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	9.8	-	1.8	77-474・77RO k 225
198	18	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	8.6	-	1.7	77-475・77RO k 228
198	19	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	8.4	-	2.0	77-476・77RO k 226
198	20	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	13.4	-	2.5	77-467・77RO k 221
198	21	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	14.4	-	2.6	77-468・77RO k 222
198	22	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	14.4	-	3.0	77-469・77RO k 225
198	23	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	12.9	-	2.5	77-470・77RO k 226
198	24	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	14.0	-	3.0	77-471・77RO k 228
205	1	かわらけ	手づくね大	32SK11	埋土・敷上	14.4	-	3.3	32-330
205	2	木製品	ちゆう木	32SK11	3層下	28.0	0.8	0.5	32-3216
205	3	木製品	ちゆう木	32SK11	5層下	28.2	1.0	0.5	32-3217
205	4	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	22.4	1.1	0.3	32-3218
205	5	木製品	ちゆう木	32SK11	3層	28.3	0.9	0.5	32-3219
205	6	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	23.7	1.9	0.3	32-3220
205	7	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	21.0	1.9	0.5	32-3221
205	8	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	18.6	1.0	0.4	32-3222
205	9	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	17.5	1.7	0.4	32-3223
205	10	木製品	ちゆう木	32SK11	3層下	18.6	1.6	0.4	32-3224
205	11	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	18.3	1.5	0.7	32-3225
205	12	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	14.5	1.2	0.3	32-3234
205	13	木製品	ちゆう木	32SK11	5層	13.4	1.1	0.5	32-3235
205	14	木製品	ものさし?	32SK11	5層	14.3	2.4	0.5	32-3236
210	1	かわらけ	ロクロ大	32SK24	7層	14.0	8.8	3.2	32-351
210	2	かわらけ	ロクロ大	32SK24	6層	15.1	8.1	3.9	32-352
210	3	かわらけ	ロクロ大	32SK24	7層	13.1	8.1	3.3	32-353
210	4	かわらけ	ロクロ大	32SK24	7層	15.0	6.1	3.1	32-354
210	5	かわらけ	手づくね小	32SK24	埋土	9.1	-	1.5	32-347
210	6	かわらけ	手づくね小	32SK24	埋土	9.4	-	1.7	32-348
210	7	かわらけ	手づくね小	32SK24	埋土	9.6	-	1.9	32-349
210	8	かわらけ	手づくね大	32SK24	埋土	11(4)	-	3.4	32-350
210	9	鉄製品	小丸	32SK24	6層	8.5	4.3	0.2	32-6026
210	10	鉄製品	小丸	32SK24	6層	8.0	4.2	0.2	32-6027
210	11	鉄製品	小丸	32SK24	6層	8(5)	4(2)	0.2	32-6028
210	12	木製品	ちゆう木	32SK24	6層	22.6	1.0	0.8	32-3246
210	13	木製品	ちゆう木	32SK24	6層	23.0	0.9	0.5	32-3245
210	14	木製品	ちゆう木	32SK24	6層	15.4	1.0	0.3	32-3227
210	15	木製品	ちゆう木	32SK24	7層	15.9	1.6	0.4	32-3244
210	16	木製品	ちゆう木	32SK24	7層	16.2	1.1	0.5	32-3229
210	17	木製品	ちゆう木	32SK24	7層	17.0	1.1	0.3	32-3228
210	18	木製品	ちゆう木	32SK24	7層	14.6	1.4	0.4	32-3242
210	19	木製品	ちゆう木	32SK24	8層	14.6	1.4	0.4	32-3243
210	20	木製品	ちゆう木	32SK24	7層	18.4	1.0	0.7	32-3241
210	21	木製品	ちゆう木	32SK24	8層	16.0	0.8	0.7	32-3240
214	1	かわらけ	ロクロ小	33SK40	上層 埋土	8.4	5.8	1.9	33-164
214	2	かわらけ	ロクロ小	33SK40	同上	8.8	5.5	1.6	33-163
214	3	かわらけ	ロクロ小	33SK40	同上	8.4	5.0	1.8	33-166
214	4	かわらけ	ロクロ大	33SK40	上	13.6	7.3	3.1	33-168

国	番号	種別	出上端高	呼位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧規格番号)	
214	5	かわらけ	ロタロ大	5階?	12.3	6.9	3.4	55-169	
214	6	かわらけ	ロタロ大	埋土	12.3	6.8	2.9	55-170	
211	7	かわらけ	ロタロ大	上層 埋土	14.2	6.8	4.5	55-173	
214	8	かわらけ	ロタロ大	1層 埋土	13.4	6.8	3.1	55-174	
214	9	かわらけ	手づくぬ小	7階	9.0	-	1.8	55-175	
214	10	かわらけ	手づくぬ小	埋土	8.6	-	1.8	55-176	
214	11	かわらけ	手づくぬ大	埋土	13.0	-	2.7	55-177	
214	12	かわらけ	手づくぬ大	7階	12.8	-	2.7	55-179	
214	13	かわらけ	手づくぬ大	埋土下部	12.6	-	2.4	55-181	
214	14	かわらけ	手づくぬ大	4階	13.4	-	2.8	55-183	
214	15	かわらけ	手づくぬ大	5階?	16.0	-	3.1	55-185	
214	16	木製品	刀子削	7階	13.0	2.6	1.8	55-4080	
215	1	かわらけ	ロタロ小	5階	9.0	5.1	1.8	55-186	
215	2	かわらけ	ロタロ小	埋土	8.2	5.2	1.6	55-187	
215	3	かわらけ	ロタロ小	埋土	8.3	5.9	1.6	55-188	
215	4	かわらけ	ロタロ小	5階	9.2	4.3	3.3	55-192	
215	5	かわらけ	ロタロ大	5階	13.1	7.2	3.5	55-194	
215	6	かわらけ	ロタロ大	5階	13.4	7.0	3.8	55-195	
215	7	かわらけ	ロタロ大	5階	13.1	6.2	3.7	55-196	
215	8	かわらけ	ロタロ大	5階	13.3	6.2	3.3	55-197	
215	9	かわらけ	手づくぬ大	5階	13.6	6.1	3.1	55-200	
215	10	かわらけ	手づくぬ小	5階	9.9	-	2.2	55-202	
215	11	かわらけ	手づくぬ小	5階	9.2	-	1.8	55-203	
215	12	かわらけ	手づくぬ大	5階	13.4	-	2.9	55-204	
215	13	かわらけ	手づくぬ大	5階	13.5	-	2.7	55-205	
215	14	かわらけ	手づくぬ大	5階	13.8	-	3.0	55-206	
221	1	かわらけ	手づくぬ小	56SK28	(8.8)	-	1.6	56-16	
221	2	かわらけ	手づくぬ大	56SK28	(14.4)	-	3.5	56-14	
221	3	かわらけ	手づくぬ大	56SK28	埋土	13.6	-	3.0	56-15
221	4	かわらけ	手づくぬ大	56SK28	埋土	13.4	-	2.9	56-18
224	1	かわらけ	手づくぬ小	56SK33	8階?	●	1.7	56-32	
224	2	かわらけ	手づくぬ小	56SK33	6階	9.0	-	1.8	56-34
224	3	かわらけ	手づくぬ大	56SK33	7階	12.6	-	2.6	56-26
224	4	かわらけ	手づくぬ大	56SK33	6階11	13.3	-	3.1	56-27
224	5	かわらけ	手づくぬ大	56SK33	11階10	14.2	-	3.4	56-29
224	6	かわらけ	手づくぬ大	56SK33	56SK33	(14.0)	-	3.0	56-31
224	7	かわらけ	手づくぬ大	56SK33	11階	12.7	-	3.1	56-30
228	1	かわらけ	ロタロ小	70SK22	6階	(5.6)	5.8	1.7	70-158・70ROk54
228	2	かわらけ	ロタロ大	70SK22	6階	(12.6)	7.2	3.7	70-159・70ROk56
228	3	かわらけ	ロタロ大	70SK22	3階	(13.2)	7.3	3.3	70-160・70ROk61
228	4	かわらけ	手づくぬ小	70SK22	6階	8.2	-	1.6	70-161・70ROk46
228	5	かわらけ	手づくぬ小	70SK22	6階	8.4	-	1.2	70-163・70ROk49
228	6	かわらけ	手づくぬ小	70SK22	6階	8.3	-	1.4	70-164・70ROk50
228	7	かわらけ	手づくぬ小	70SK22	6階	8.2	-	1.4	70-165・70ROk51
228	8	かわらけ	手づくぬ小	70SK22	6階	7.8	-	1.7	70-166・70ROk52
228	9	かわらけ	手づくぬ小	70SK22	6階	7.6	-	1.6	70-167・70ROk53
228	10	かわらけ	手づくぬ小	70SK22	6階	8.2	-	1.9	70-168・70ROk55
228	11	かわらけ	手づくぬ大	70SK22	6階	12.0	-	2.4	70-169・70ROk47
228	12	かわらけ	手づくぬ大	70SK22	6階	12.8	-	2.5	70-170・70ROk57
228	13	かわらけ	手づくぬ大	70SK22	6階	12.1	-	2.6	70-171・70ROk58
228	14	かわらけ	手づくぬ大	70SK22	6階	11.8	-	2.5	70-172・70ROk59
228	15	かわらけ	手づくぬ大	70SK22	6階	12.8	-	2.5	70-173・70ROk60
228	16	かわらけ	手づくぬ大	70SK22	6階	14.5	-	2.8	70-174・70ROk62
228	17	木製品	階段	70SK22	6階	12.2	11.9	0.4	70-300・70RW72
228	18	木製品	階段	70SK22	6階	8.1	4.6	0.6	70-301・70RW73
228	19	木製品	階段	70SK22	6階	9.7	5.2	0.3	70-303・70RW74
228	20	木製品	階段	70SK22	6階	10.4	1.8	0.2	70-306・70RW74
228	21	木製品	樫	70SK22	6階	16.2	-	15.6	70-517・70RW37
228	22	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	22.4	0.9	0.5	70-580・70RW57 70-581+382・ 70RW32・35+70RW38
228	24	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	22.7	0.8	0.5	70-583・70RW36・39
228	25	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	27.6	1.4	0.4	70-588・70RW65
228	26	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	27.6	1.3	0.4	70-589・70RW192
228	27	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	29.0	0.7	0.4	70-106・70RW125
228	28	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	24.9	1.0	0.6	70-407・70RW90
228	29	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	29.6	0.9	0.3	70-108・70RW146
228	30	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	27.2	2.3	0.4	70-429・70RW320
228	31	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	27.2	2.2	0.4	70-430・70RW30
228	32	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	27.4	1.3	0.3	70-431・70RW449
228	33	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	27.5	1.3	0.4	70-432・70RW43
228	34	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	26.1	1.3	0.5	70-433・70RW96
228	35	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	25.9	1.0	0.4	70-442・70RW140
228	36	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	25.1	1.5	0.3	70-443・70RW189
228	37	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	22.7	1.3	0.5	70-114・70RW409
228	38	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	22.9	0.7	0.5	70-145・70RW215
228	39	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	22.9	0.7	0.6	70-146・70RW191
228	40	木製品	ちゆう木	70SK22	6階	24.2	0.8	0.3	70-147・70RW429

図	番号	種別	出土遺構	層位	口幅 (長さ)	底径 (幅)	高さ (厚さ)	備考・登録番号 (目録表番号)	
228	41	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	23.6	0.9	0.5	70-448・70RV307
228	42	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	20.3	0.5	0.3	70-472・70RV219
228	43	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	19.7	0.6	0.6	70-473・70RV236
228	44	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	19.8	0.8	0.6	70-474・70RV218
228	45	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	20.4	0.6	0.5	70-475・70RV222
228	46	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	19.9	0.5	0.5	70-476・70RV269
228	47	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	20.3	0.6	0.4	70-477・70RV285
228	48	木製品	5ヨウ木	70SK22	6層	19.8	0.6	0.5	70-478・70RV227
230	1	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.3	9.4	6.8	1.9	50-94
230	2	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.3	8.8	6.3	1.6	50-95
230	3	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.9	9.9	7.2	1.9	50-96
230	4	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.12	9.0	6.3	1.9	50-97
230	5	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.13	9.0	6.2	2.0	50-99
230	6	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.13	9.5	6.1	1.8	50-100
230	7	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.13	10.6	7.0	1.8	50-101
230	8	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.15	9.0	6.6	1.8	50-104
230	9	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.1	14.6	6.3	4.0	50-107
230	10	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.2	15.4	7.9	3.4	50-108
230	11	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.4	13.8	7.0	3.1	50-109
230	12	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.5	15.8	8.5	3.1	50-110
230	13	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.7	15.0	8.2	3.2	50-112
230	14	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.8	15.3	8.0	4.0	50-113
230	15	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.8	13.0	7.0	3.8	50-114
230	16	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.9	13.1	8.7	3.4	50-115
230	17	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.11	11.0	7.5	3.8	50-118
230	18	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.12	15.2	7.3	3.1	50-119
230	19	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.13	16.0	7.8	3.4	50-120
230	20	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.14	15.0	6.5	3.6	50-122
230	21	かわらけ	手づくね大	50SE1	NO.14	15.8	-	2.8	50-106
231	1	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	9.2	-	1.7	55-121
231	2	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	8.4	-	2.0	55-124
231	3	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	8.3	-	1.8	55-125
231	4	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	9.0	-	2.2	55-126
231	5	かわらけ	手づくね大	55SK29	埋土	13.4	-	2.0	55-129
231	6	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	13.5	-	2.8	55-130
231	7	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	12.4	-	2.4	55-131
231	8	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	13.8	-	3.6	55-133
231	9	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	14.1	-	2.8	55-135
231	10	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	13.0	-	2.6	55-140
231	11	木製品	折敷?	55SK29	2層	33.8	12.1	0.6	55-4054
231	12	木製品	折敷?	55SK29	2層	27.0	2.7	0.3	55-4055
231	13	木製品	折敷?	55SK29	2層	26.7	3.2	0.4	55-4059
231	14	木製品	不明	55SK29	埋土	10.9	3.5	0.4	55-4069
231	15	木製品	墨書木片	55SK29	2層	12.4	1.0	0.1	55-4067
231	16	木製品	不明	55SK29	埋土	17.8	3.4	0.5	55-4070
231	17	木製品	不明	55SK29	埋土	7.8	3.4	0.4	55-4071
232	1	かわらけ	手づくね小	50SD8	集中東	8.9	-	1.9	55-145
232	2	かわらけ	手づくね小	50SD8	埋土	8.7	-	1.8	55-146
232	3	かわらけ	手づくね大	50SD8	埋土	11.7	-	3.3	55-148
232	4	かわらけ	手づくね大	50SD8	埋土	11.4	-	3.0	55-149
232	5	かわらけ	手づくね大	50SD8	集中西	13.3	-	3.1	55-153
232	6	かわらけ	手づくね大	50SD8	集中西	14.0	-	3.4	55-155
232	7	かわらけ	手づくね大	50SD8	集中西	14.8	-	3.0	55-156
241	1	かわらけ	ロクロ小	68SK35	(9.1)	6.3	1.9	68-1・68ROk18	
241	2	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNO25	(9.4)	6.8	1.9	68-2・68ROk22
241	3	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo27	9.2	6.4	1.8	68-3・68ROk22
241	4	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo23	9.1	6.3	1.9	68-4・68ROk28
241	5	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo38	9.3	7.3	1.9	68-5・68ROk25
241	6	かわらけ	ロクロ小	68SK35	埋土	9.1	6.3	2.0	68-6・68ROk49
241	7	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo9	9.0	1.6	6.1	68-7・68ROk20
241	8	かわらけ	ロクロ大	68SK35	取り上げNo10	13.8	8.1	4.0	68-23・68ROk60
241	9	かわらけ	ロクロ大	68SK35	取り上げNo12	13.9	6.7	3.8	68-24・68ROk57
241	10	かわらけ	ロクロ大	68SK35	1層	(13.7)	(5.5)	4.5	68-25・68ROk66
241	11	かわらけ	ロクロ大	68SK35	(13.4)	(7.2)	4.1	68-26・68ROk64	
241	12	かわらけ	ロクロ大	68SK35	(13.9)	7.4	3.8	68-27・68ROk51	
241	13	かわらけ	ロクロ大	68SK35	1層	14.3	7.0	4.4	68-28・68ROk45
241	14	かわらけ	ロクロ大	68SK35	(14.8)	6.7	4.5	68-30・68ROk63	
241	15	かわらけ	ロクロ大	68SK35	取り上げNo3	14.9	7.9	4.1	68-33・68ROk53
241	16	かわらけ	ロクロ大	68SK35	2層	(14.9)	(7.1)	4.6	68-38・68ROk65
241	17	かわらけ	手づくね小	68SK35	取り上げNo28	9.9	-	1.9	68-40・68ROk4
241	18	かわらけ	手づくね小	68SK35	取り上げNo33	9.1	-	2.0	68-41・68ROk1
241	19	かわらけ	手づくね小	68SK35	取り上げNo40	9.7	-	1.7	68-42・68ROk3
241	20	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo41	14.0	-	3.1	68-45・68ROk44
241	21	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo18	15.5	-	2.9	68-47・68ROk38
241	22	かわらけ	手づくね大	68SK35	1層	15.0	-	2.7	68-48・68ROk47
241	23	かわらけ	手づくね大	68SK35	2層	15.8	-	3.0	68-50・68ROk46
241	24	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo15	14.4	-	3.1	68-51・68ROk39
241	25	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo39	14.8	-	3.0	68-52・68ROk43

国	番号	種別	出上道碼	船位	日付 (長年)	定積 (噸)	港高 (%)	備考・存続番号 (但し航番号)
241	26	かわらけ	手づくね大	68SK35	13.8	-	3.7	68-53・68R0K35
241	27	かわらけ	手づくね大	68SA35	13.8	-	3.7	68-54・68SK42
241	28	かわらけ	手づくね大	68SK35	13.6	9.1	3.2	68-55・68SK42
241	29	かわらけ	手づくね大	68SK35	16.2	10.1	3.1	68-56・68R0K36
251	1	かわらけ	ロゾロ小	28SA1	05.0	06.0	2.0	89-81 07.0
251	2	かわらけ	手づくね大	28SA1	12.41	-	2.3	89-81 08.0
251	3	かわらけ	手づくね小	28SA1	08.61	3.0	1.6	79-90 90.1.19
251	4	かわらけ	手づくね大	28SA1	11.29	-	2.6	75-08 90.1.21
251	5	かわらけ	手づくね大	28SA1	11.40	-	3.1	79-70 01.18
251	6	かわらけ	ロゾロ小	50SA1	17.80	6.4	1.2	
251	7	かわらけ	手づくね大	50SA1	12.00	-	2.3	
251	8	かわらけ	ロゾロ小	50SA1	86-63	-	6.5	1.8
251	9	かわらけ	ロゾロ大	50SA1	88-63	-	17.0	24 88-63 990701
251	10	かわらけ	ロゾロ大	50SA1	85-62	-	17.0	2.5 85-62
251	11	かわらけ	ロゾロ小	52SA1	7.6	66	1.3	103-92 1
256	1	かわらけ	ロゾロ小	21SD7	13.40	65.0	1.6	103-92 1
256	2	かわらけ	ロゾロ大	21SD7	13.50	80	3.5	103-92 2 2
256	3	かわらけ	ロゾロ大	21SD7	13.00	6.5	3.0	100-92 49 1
256	4	かわらけ	ロゾロ大	21SD7	13.60	76	3.5	101-92 38 2
256	5	かわらけ	手づくね小	21SD7	68.20	-	1.7	103-92 1 2
256	6	かわらけ	手づくね大	21SD7	13.00	-	3.0	100-92 40 2
256	7	かわらけ	手づくね大	21SD7	13.60	-	3.1	101-92 38 1
256	8	かわらけ	手づくね大	21SD7	12.60	-	2.7	101-92 24
256	9	かわらけ	手づくね大	21SD7	13.60	-	2.6	103-92 2 1
256	10	かわらけ	手づくね大	21SD7	13.20	-	2.7	103-92 1 1
256	11	かわらけ	手づくね大	21SD7	13.00	-	3.0	102-92 23
256	12	かわらけ	手づくね小	21SD7	09.41	-	2.5	103-92 3
256	13	かわらけ	ロゾロ小	52S129	6.8	5.3	1.5	52-300
256	14	かわらけ	ロゾロ大	52S129	11.00	7.2	4.1	52-303
256	15	かわらけ	ロゾロ大	52S129	14.2	7.0	3.3	52-301
256	16	かわらけ	ロゾロ大	52S129	13.40	7.5	3.7	52-302
256	17	かわらけ	ロゾロ大	52S130	8.20	7.2	2.1	52-304
256	18	かわらけ	手づくね小	52S132	8.4	-	1.9	52-306
256	19	かわらけ	ロゾロ小	52S132	06.63	5.2	2.1	52-307
257	1	かわらけ	ロゾロ小	58SX1	9.0	6.0	1.7	55-338
257	2	かわらけ	ロゾロ小	58SX1	9.6	6.5	1.5	55-339
257	3	かわらけ	ロゾロ小	58SX1	9.2	6.6	1.9	55-340
257	4	かわらけ	ロゾロ大	58SX1	14.0	7.7	2.8	55-343
257	5	かわらけ	ロゾロ大	58SX1	14.1	7.6	3.1	55-345
257	6	かわらけ	ロゾロ大	58SX1	13.4	7.8	3.6	55-346
257	7	かわらけ	ロゾロ大	58SX1	14.2	7.0	3.1	55-348
257	8	かわらけ	ロゾロ大	58SX1	14.0	6.6	3.1	55-349
257	9	かわらけ	ロゾロ大	58SX1	12.6	7.2	3.2	55-351
258	10	かわらけ	手づくね小	58SX1	8.20	-	1.9	55-352
258	11	かわらけ	手づくね小	58SX1	7.7	-	1.5	55-353
258	12	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.1	-	1.4	55-354
258	13	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.2	-	1.8	55-360
258	14	かわらけ	手づくね小	58SX1	8.8	-	1.6	55-366
258	15	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.6	-	1.6	55-371
258	16	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.2	-	2.7	55-355
258	17	かわらけ	手づくね大	58SX1	14.3	-	2.6	55-356
258	18	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.8	-	2.9	55-357
258	19	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.4	-	3.2	55-358
258	20	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.5	-	2.3	55-359
258	21	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.0	-	2.5	55-361
258	22	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.6	-	2.9	55-362
258	23	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.7	-	3.4	55-363
258	24	かわらけ	手づくね大	58SX1	14.6	-	3.1	55-364
258	25	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.7	-	3.4	55-365
258	26	かわらけ	手づくね大	58SX1	14.0	-	2.9	55-367
258	27	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.7	-	2.9	55-368
258	28	かわらけ	手づくね大	58SX1	14.2	-	2.8	55-369
258	29	かわらけ	手づくね大	58SX1	14.2	-	3.1	55-370
258	30	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.8	-	2.9	55-371
258	31	かわらけ	手づくね大	58SX1	12.8	-	2.4	55-372
258	32	かわらけ	手づくね大	58SX1	14.2	-	2.6	55-373
258	33	かわらけ	手づくね大	58SX1	13.5	-	3.1	55-375
258	34	かわらけ	手づくね大	58SX1	14.0	-	3.2	55-376
258	35	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.7	-	2.0	55-377
258	36	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.6	-	2.2	55-378
258	37	かわらけ	手づくね小	58SX1	8.8	-	2.0	55-379
258	38	かわらけ	手づくね小	58SX1	8.9	-	2.0	55-380
258	39	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.0	-	1.8	55-381
258	40	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.4	-	2.0	55-382
258	41	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.2	-	1.9	55-383
258	42	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.1	-	2.0	55-384
258	43	かわらけ	手づくね小	58SX1	9.2	-	2.0	55-385
259	1	かわらけ	ロゾロ大	78SX1	11.10	7.4	3.5	70-205 70R01 & 73

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長 x)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・図録番号 (順図録番号)	
259	2	かわらけ	ロウケ大	70SN	椀出前	1130	6.6	3.9	70-206・70R0 k 77
259	3	かわらけ	ロウケ大	70SN	椀出前	1139	7.5	3.3	70-207・70R0 k 78
259	4	かわらけ	手づね大	70SN	椀出前	151	-	-	70-208・70R0 k 72
259	5	陶産陶器	深美 壺	70SN	-	-	9.1	(23.6)	70-215・71R0 k 210
259	6	陶産陶器	深美 壺	70SN	-	-	-	-	70-216・70R0 k 186
261	1	かわらけ	手づね小	28SN	8.4	-	1.6	28-407.5	
261	2	かわらけ	手づね小	28SN	8.9	-	1.8	28-407.6	
261	3	かわらけ	手づね小	28SN	9.0	-	2.1	28-407.7	
261	4	かわらけ	手づね小	28SN	8.0	-	1.7	28-407.8	
261	5	かわらけ	手づね小	28SN	8.2	-	1.7	28-407.9	
261	6	かわらけ	手づね小	28SN	8.5	-	1.7	28-408.0	
261	7	かわらけ	手づね小	28SN	8.3	-	1.6	28-408.1	
261	8	焼製品	輪文	28SN	10.2	4.3	-	28-408.2	
261	9	焼製品	輪文	28SN	27.0	2.2	-	28-408.3	

図	番号	種別	出土遺構	層位	備考・図録番号・樹形図番号
262	197	陶産陶器	深美 壺	21SD1	若手埋文1995
262	198	陶産陶器	深美 壺	21SD1	若手埋文1995
262	20-215	陶産陶器	深美 壺	70SN	既図9-5
262	25-1087	陶産陶器	深美 壺	35SK45	55.5次調査機掘(若手埋文委2009)
262	32-1064	陶産陶器	深美 壺	52S226	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
262	32-1066	陶産陶器	深美 壺	52S226	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
262	1982	陶産陶器	深美 壺	21SE4	若手埋文1995
262	32-1067	陶産陶器	深美 壺	52S226	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
262	32-1038	陶産陶器	深美 片口鉢	52SE1	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
262	195	陶産陶器	深美 山茶碗	21SD1	若手埋文1995
262	72-207	陶産陶器	深美 山茶碗	72SD2 ②	既図9-14
262	195	陶産陶器	常滑 壺	21SD1	若手埋文1995
262	202	陶産陶器	常滑 壺	21SD1	若手埋文1995
262	35-1014	陶産陶器	常滑 広口壺	35SK49	2壺
262	72-66	陶産陶器	常滑 壺	72SD1 ①	6・5壺
262	32-1010	陶産陶器	常滑 小壺	35S226	7.3次調査機掘(若手埋文委2012)
263	197	陶産陶器	常滑 壺	21SD1	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
263	32-1003	陶産陶器	常滑 片口鉢	52S226	若手埋文1995
263	74-209	陶産陶器	常滑 片口鉢	72SD1 ②	9壺
263	76-335	陶産陶器	常滑 片口鉢	76SD1	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
263	76-281	陶産陶器	常滑 片口鉢	76SD1 ②	52.3次調査機掘(若手埋文委2014)
263	76-335	陶産陶器	常滑 片口鉢	76SD1	76.3次調査機掘(若手埋文委2016)
263	76-281	陶産陶器	常滑 片口鉢	76SD1	76.3次調査機掘(若手埋文委2016)
263	197	陶産陶器	深美 三筋壺	21SD1	若手埋文1995
263	198	陶産陶器	須臾器系 壺	21SD1	若手埋文1995
263	32-1113	陶産陶器	須臾器系 壺	52SE3	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
263	32-1141	陶産陶器	本形 壺	調査区表注	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
263	30-1188	陶産陶器	本形 片口鉢	37SE2	2壺
263	32-1140	陶産陶器	本形 壺	64-39椀出	52.3次調査機掘(若手埋文委2011)
264	77-19	陶産陶器	深美 壺	21SD1	黒色土下層青灰色土
264	77-62	陶産陶器	深美 壺	21SD1	黒色土下層
264	77-223	陶産陶器	深美 壺	21SD1	埋土最上部
264	77-349	陶産陶器	常滑 壺	21SD1	埋土上部
264	77-391	陶産陶器	常滑 壺	pe3	埋土
264	77-526	陶産陶器	深美 壺	85-104	旧遺上位覆層
264	77-565	陶産陶器	深美 壺	南西部壁地層	上面(椀出面) クリーニング跡
264	77-617	陶産陶器	深美 壺	北区東半	椀出面以上
264	77-662	陶産陶器	深美 壺	北区一括	椀出面
264	77-734	陶産陶器	深美 壺	北区一括	一括
264	70-296	陶産陶器	深美 壺	北区	表土
264	70-349	陶産陶器	須臾器系 壺	北区 塚トレンチ	椀出面
264	78-189	陶産陶器	深美 壺	21SD1	表土・2-5層以上相前
264	78-427	陶産陶器	常滑 壺	表土	78・79次調査機掘(若手埋文委2018)
264	79-679	陶産陶器	深美 壺	高位区	トレンチ・カクラン一括
264	77-405	陶産陶器	深美 壺	21SD2 T1	埋土上部
264	76-291	陶産陶器	深美 壺	76SD1	B5-196
264	73-71	陶産陶器	深美 壺	72SD2 ④・4区	14・18層 灰床区
264	73-371	陶産陶器	深美 壺	B3K 北ベルト	73.3次調査機掘(若手埋文委2013)
264	73-374	陶産陶器	常滑 壺	1	73.3次調査機掘(若手埋文委2013)
264	73-357	陶産陶器	常滑 壺	55-47	52.3次調査機掘(若手埋文委2013)
264	69-73	陶産陶器	深美 壺	21SD1	6層
264	69-67	陶産陶器	深美 壺	21SD1	2層
269	77-448	中国産陶磁器	白磁西耳壺	21SD2	8層相出層
269	30-2008	中国産陶磁器	白磁西耳壺	30SE3	3層
269	1987	中国産陶磁器	白磁壺	21SE4	埋土 (89-83)
269	198	中国産陶磁器	白磁壺	21SD1	95-95
269	35-2024	中国産陶磁器	白磁壺	75-62	椀出時
269	37-2027	中国産陶磁器	白磁壺	37SD4	5

展	番号	種別	出品箇所	順位	備考・掲載回数・掲載報告発表回数	
269	17	中国産陶磁器	白磁碗	21SD1	107-89	若手理文1965
269	52-2034	中国産陶磁器	白磁壺	52SD6	埋上	52次調査展覧(若手理文委2001)
269	178	中国産陶磁器	白磁碗	21SD1	98-96	若手理文1965
269	55-2003	中国産陶磁器	白磁碗	55SA4	11層	55次調査展覧(若手理文委2002)
269	75-61	中国産陶磁器	白磁壺	豊地1トレンチ	豊地部(新)	75次調査展覧(若手理文委2015)
269	52-2088	中国産陶磁器	青磁碗	52SD26	埋上	52次調査展覧(若手理文委2001)
269	56-2101	中国産陶磁器	陶器 飯椀	56SD3	1層	56次調査展覧(若手理文委2003)
269	74-569	中国産陶磁器	陶磁吉箱	74SD1 ㊦	1-2層	74次調査展覧(若手理文委2011)
269	74-910	中国産陶磁器	陶磁吉箱	74SD1 ㊦	2層	74次調査展覧(若手理文委2014)
269	71-908	中国産陶磁器	青磁皿	74SD1 ㊦	18・19層・23・29 豊西隔No.55	71次調査展覧(若手理文委2014)
269	55-2044	中国産陶磁器	青磁皿	調査区表紙		55次調査展覧(若手理文委2001)
269	75-140	中国産陶磁器	紋彩陶器 瓶	857-760	C1-C2	75次調査展覧(若手理文委2002)
269	75-138	中国産陶磁器	青磁皿	75SD3 1-2 リットヘルト	A1-A2	75次調査展覧(若手理文委2015)
269	75-141	中国産陶磁器	青磁皿	75SD4 158-78	■1-■3	75次調査展覧(若手理文委2015)
269	69-122	中国産陶磁器	青磁皿	21SD1	3層	69次調査展覧(若手理文委2010)
269	56-2003	中国産陶磁器	白磁食器	56SD9	横出時	56次調査展覧(若手理文委2003)
269	52-2073	中国産陶磁器	青白磁壺?	52SD23	埋上	52次調査展覧(若手理文委2001)
269	72-180	中国産陶磁器	青白磁小壺?	72SA Cトレンチ	14層	72次調査展覧(若手理文委2012)
269	68-180	中国産陶磁器	中国陶器 壺類	68-7071	2-5層	68次調査展覧(若手理文委2009)
269	171	中国産陶磁器	中国陶器 四山壺	21SD1	108-90	若手理文1965
269	1645	木製品	刀子 柄	21SE2	埋上下部	若手理文1965
269	1647	木製品	刀子 柄	21SE2	埋上最下部	若手理文1965
269	27-48	木製品	刀子 柄	28SE16	3層	若手理文1965
269	27-49	木製品	刀子 柄	28SE16	3層	若手理文1965
269	2863	木製品	小刀 柄	31SE2	9層	若手理文1965
269	52-5059	木製品	刀子 柄	52SE8	9層下部	展185-71
269	74-1066	木製品	刀子 柄	74SD1 ㊦	3層	展141-88
269	74-1061	木製品	刀子 柄	74SD1 ㊦	29・30層	74次調査展覧(若手理文委2014)
269	74-1062	木製品	刀子 柄	74SD1 ㊦	29・30層	74次調査展覧(若手理文委2014)
269	2507	木製品	小刀 鞘	28SE11	15層	若手理文1965
269	52-5058	木製品	刀子 鞘	52SE8	9層下部	展185-72
269	69-216	木製品	鞘	21SD2 69SDX-D	C層	69次調査展覧(若手理文委2010)
269	75-503	木製品	鞘	74SD1	10・15層	展53-13
269	27-46	木製品	剃刀 柄	28SE16	3層	若手理文1965
269	542	木製品	連鎖毛	21SD1	97-95	若手理文1965
269	52-5063	木製品	木椀	52SE8	9層下部	展185-74
269	3821	木製品	木椀状木製品	31SK08	3層	32.0・11.5・2.6cm. 若手理文1965
269	76-963	木製品	杵	21SD2	3層	展145-131
269	56-4016	木製品	杵	56SD38	29層	展53-7
269	2756	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	2757	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	2758	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	69-258	木製品	糸巻 杵木	21SD2 69SDX-D	C層	展135-135
269	2760	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	2761	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	2762	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	2765	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	2768	木製品	糸巻 杵木	28SE16	4層	若手理文1965
269	2769	木製品	糸巻 杵木	28SE16	4層	若手理文1965
269	2770	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	2771	木製品	糸巻 杵木	28SE16	3層	若手理文1965
269	69-257	木製品	糸巻 杵木	21SD2 69SDX-D	C・F層	展135-133
269	5558	木製品	脚座鉢	21SD1	95-95	15.6・18・1.7cm. 若手理文1965
269	559	木製品	脚座鉢	21SD1	97-95	17.9・18・1.9cm. 若手理文1965
269	70-497	木製品	締輪	70SK22	6層	3.7・1.7・0.4cm. 70次調査展覧(若手理文委2011)
269	74-976	木製品	締輪	74SD1 ㊦	18-23層	7.2・4.1・1.0cm. 74次調査展覧(若手理文委2014)
269	50-4011	木製品	不明	50SF3	3層	展181-37
269	69-261	木製品	不明木製品(機械 具?)	21SD2 69S X 3)	C層	展145-135
269	3262	木製品	不明	31SE7	3層	37.9・20・1.3cm. 若手理文1965
269	580	木製品	網子	21SD1	105-95	(15.5・4.3・0.8cm. 若手理文1965
269	52-5050	木製品	網骨	52SE8	9層	展185-68
269	74-1018	木製品	網骨	74SD1 ㊦	30層	74次調査展覧(若手理文委2014)
269	75-694	木製品	網骨	2-3ヘルト	C1-C3	75次調査展覧(若手理文委2014)
269	71-1085	木製品	笛管	72SD1 中央ト レンチ	30層	71次調査展覧(若手理文委2014)
269	52-5056	木製品	篳	52SE8	9層下部	展185-70
269	52-5057	木製品	篳	52SE8	6層	展185-71
269	1136	木製品	糸流下駄	41SD2	4層	若手理文1965
269	2940	木製品	糸流下駄	31SE3	6層	若手理文1965
269	2941	木製品	糸流下駄	31SE3	6層	若手理文1965
269	30-4013	木製品	下駄	50SF3	3層	展181-32
269	2867	木製品	流流下駄	31SE4	4層	若手理文1965
269	71-1014	木製品	下駄	72SD1 ㊦	30層	展144-85

順	番号	種別	出土遺構	層位	備考・掲載図版・掲載範囲等番号
282	74-1047	木製品	72SD1 中央ト レンチ	31層	図64-86
282	75-313	木製品	SD1	16層	図53-17
283	埋-1585	木製品	21SE1	底面	30.6・29.6・1.3cm. 若手埋文1995
283	埋-1586	木製品	21SE1	埋土中部	30.5・27.7・1.3cm. 若手埋文1995
283	埋-3406	木製品	21SN23	埋土下部	25.2・高5.21.3cm. 若手埋文1995
283	埋-3407	木製品	21SN23		23.0・高5.19.2cm. 若手埋文1995
283	埋-2364	木製品	28SE4	21層	47.8・41.4・0.8cm. 若手埋文1995
283	32-3081	木製品	32SE8	6層	図185-75
283	32-3083	木製品	32SE8	3層	図185-76
283	32-3082	木製品	32SE8	9層下部	図185-77
283	69-264	木製品	21SD1	10・11・14層	69次調査範囲(若手埋教委2010)
283	70-496	木製品	70SK22	6層	70次調査範囲(若手埋教委2011)
283	埋-1169	木製品	41 S D2	Bトレンチ	82・80.3・7.0 cm. 若手埋文1995
283	74-1057	木製品	72SD1 ㊸	29・30層	図64-89
283	74-979	木製品	72SD1 ㊸	23層中～下位	20.8・0.6・0.5cm. 74次調査範囲(若手埋教委2014)
283	74-980	木製品	72SD1 ㊸	23層中～下位	20.2・0.5・0.5cm. 74次調査範囲(若手埋教委2014)
283	埋-676	木製品	21SD1	95-95	若手埋文1995
283	32-3062	木製品	32SE8	3層	32次調査範囲(若手埋教委2001)
283	埋-2822	木製品	31SE1	25層	若手埋文1995
283	74-1004	木製品	72SD1 ㊸	23層中～下位	74次調査範囲(若手埋教委2014)
284	30-4025	木製品	30SE3	3層	図181-51
284	埋-2996	木製品	31SE6	3層	25.0・19.8・0.7cm. 若手埋文1995
284	36-4109	木製品	36SL039 T4	14-15層	図53-11
284	30-4028	木製品	30SE3	3層	図181-40
284	74-986	木製品	72SD1 ㊸	23層中～下位	図64-99
284	埋-682	木製品	21SD1	95-95	47.6・24・10cm. 若手埋文1995
284	埋-2745	木製品	28SE16	3層	～・1.9・0.8cm. 若手埋文1995
284	32-3236	木製品	32SK11	3層	図205-14
284	埋-2959	木製品	31SK80	3層	13.7・6.2・1.4cm. 若手埋文1995
284	埋-694	木製品	21SD1	103-95	3.9・4.2・4.9cm. 若手埋文1995
284	埋-1533	木製品	23SG1	CV15	2.9・2.2・0.4cm. 若手埋文1995
284	78-560	木製品	78SD1 T2	7層	3.0・2.0・0.5cm. 78・79次調査範囲(若手埋教委2018)
284	埋-1208	木製品	41 S D2	Bトレンチ	166.9×(5.9)・高5.0cm. 若手埋文1995
284	74-1058	木製品	72SD1 ㊸	29・30層	図64-90
284	32-3087	木製品	32 S E 8	10層	図185-80
284	埋-1207	木製品	41 S D2	Bトレンチ	11.4・3.0・0.6cm. 若手埋文1995
284	埋-1206	木製品	41 S D2	Bトレンチ	32.0・8.7・10cm. 若手埋文1995
284	埋-2130	木製品	28SE3	4層	高(11.0)・内径4.6×3.1cm. 若手埋文1995
284	30-4013	木製品	30SE3	3層	図181-38
284	埋-1212	木製品	41 S D2	Bトレンチ	29.8・14.4・0.5cm. 若手埋文1995
284	32-3089	木製品	32 S E 8	10層	図185-83
284	32-3090	木製品	32 S E 8	10層	図185-84
284	74-1055	木製品	72SD1 ㊸	29・30層	図64-87
284	埋-690	木製品	21SD1	96-95	若手埋文1995
284	埋-1211	木製品	41 S D2	Bトレンチ	若手埋文1995
284	30-4012	木製品	30SE3	3層	図181-39
284	埋-2742	木製品	28SE16	3層	17.6・1.7・0.4cm. 若手埋文1995
284	埋-2743	木製品	28SE16	3層	18.3・1.9・0.3cm. 若手埋文1995
285	75-535	木製品	72SD1 1ト レンチ	16層	図33-15
285	74-982	木製品	72SD1 ㊸	23層中～下位	図64-102
285	74-983	木製品	72SD1 ㊸	23層	図64-105
285	74-1106	木製品	72SD1 ㊸	29層上面西側	11.6・9.5・0.5cm. 74次調査範囲(若手埋教委2014)
285	74-1006	木製品	72SD1	23層中～下位	図64-103
285	74-1009	木製品	72SD1 ㊸	18層・19層上位	図64-104
285	32-3091	木製品	32 S E 8	9層	図185-81
285	32-3092	木製品	32 S E 8	9層下部	図185-82
285	69-262	木製品	21SD1	10・11・14層	69次調査範囲(若手埋教委2010)
285	30-4010	木製品	30SE3	3層	図181-36
285	78-535	木製品	21SD1 T2	7層	19.0・8.5・0.6cm. 78・79次調査範囲(若手埋教委2018)
285	埋-711	木製品	21SD1	96-95	[20.3]・2.9・0.9cm. 若手埋文1995
285	69-247	木製品	21SD2 (69 S X 3)	C層	19.1・2.2・1.4cm. 69次調査範囲(若手埋教委2010)
285	埋-561	木製品	21SD1	105-95	17.7・(5.8)・1.2cm. 若手埋文1995
285	埋-745	木製品	21SD1	96-95	27.0・13.2・0.3cm. 若手埋文1995
285	埋-782	木製品	21SD1	103-95	48・4.3・3.0cm. 若手埋文1995
285	埋-2747	木製品	28SE16	3層	114.5・38・41・0.6cm. 若手埋文1995
285	埋-1257	木製品	41 S D2	Bトレンチ	8.6・8.3cm. 若手埋文1995
285	69-250	木製品	21SD2 (69SX3)	C層	5.2・3.1・0.5cm. 69次調査範囲(若手埋教委2010)
285	74-1113	木製品	72SD1 ㊸	29・30層	2.6・3.6・2.5cm. 74次調査範囲(若手埋教委2014)
285	74-1114	木製品	72SD1 ㊸	29・30層	高39・48・4.4cm. 74次調査範囲(若手埋教委2014)

順	番号	類別	出上設備	部位	備考・規格項目・国産品名等起番号	
285	74-977	木製品	72SD1 ㊸	23階中・下位	213・12・11cm. 74次調査概報(若手教委2014)	
285	74-978	木製品	72SD1 ㊸	23階中・下位	212・11・11cm. 74次調査概報(若手教委2014)	
285	30-4009	漆製品	30SE3		1818-35	
285	真-3265	漆製品	31SE7	北平5階	24.80・28・17cm. 若手理文1995	
285	真-4010	漆製品	41SK7	北平10階	20.6・17・0.8cm. 若手理文1995	
286	69-351	木製品	69SX3		1835-146	
286	69-352	木製品	69SX3		1835-147	
286	69-353	木製品	69SX3		53・19.2・17.2cm. 69次調査概報(若手教委2010)	
286	69-354	木製品	69SX3		620・17.9・14.6cm. 69次調査概報(若手教委2010)	
286	69-355	木製品	69SX3		1835-148	
286	69-356	木製品	69SX3		1835-149	
286	真-1630	木製品	21SE2		177.5・22.5・13.5cm. 若手理文1995	
286	真-1652	木製品	21SE2		152.0・22.0・11.5cm. 若手理文1995	
286	真-2877	木製品	31SE2	9階	149.2・13.5・16.5cm. 若手理文1995	
286	真-2878	木製品	31SE2	9階	148.5・138・12cm. 若手理文1995	
286	真-2879	木製品	31SE2	9階	139.5・17.1・12cm. 若手理文1995	
286	真-2881	木製品	31SE2	9階	148.8・14.4・13cm. 若手理文1995	
286	真-1649	木製品	21SE2		117.0・18.5・16.0cm. 若手理文1995	
286	真-2820	木製品	31SE1	25階	55.6・5.0・46cm. 若手理文1995	
286	真-2817	木製品	31SE1	25階	38.4・8・4.8cm. 若手理文1995	
286	真-2818	木製品	31SE1	25階	85.0・13.4・2.4cm. 若手理文1995	
286	真-2819	木製品	31SE1	25階	80.4・15.4・3.4cm. 若手理文1995	
286	真-2820	木製品	31SE1	25階	80.6・14.8・2.8cm. 若手理文1995	
286	真-2862	木製品	31SE2	9階	173.8・9.6・12.6・1.6・1.8cm. 若手理文1995	
286	52-5086	木製品	52SE8	9階下部	18185-79	
286	理-3259a	木製品	31SE7	5階	若手理文1995	
287	理-1663	漆製品	21SE2	埋上下部	若手理文1995	
287	理-1665	漆製品	21SE2	埋上下部	若手理文1995	
287	75-602	漆製品	72SD2 リット	2-3階 E9-E10	1833-3	
287	真-1177	漆製品	11SD2	ボトレンチ	若手理文1995	
287	52-5007	漆製品	52SE8	9階下部	18185-61	
287	55-4001	漆製品	55SE1	19階	18188-21	
287	74-961	漆製品	72SD1 ㊸	18・19階・23・29 普通層 No.61	1864-98	
287	74-1021	漆製品	72SD1 ㊸	29・30階	1864-80	
287	74-1022	漆製品	72SD1 ㊸	32階	1864-81	
287	75-601	漆製品	72SD2 ルト	2-3階 E9-E10	1833-2	
287	74-1023	漆製品	72SD1 ㊸	29・30階	1864-82	
287	74-1024	漆製品	72SD1 ㊸	32階	1864-83	
287	74-982	漆製品	72SD1 ㊸	23階中・下位	1864-102	
287	真-787	漆製品	21SD1	-	若手理文1995	
287	真-3267	漆製品	21SD1	3層最下部	若手理文1995	
287	真-1583	漆製品	21SE1	埋上下部	真(67)・外径21cm. 若手理文1995	
288	真-1589	金属製品	21SE1	埋上下部	若手理文1995	
288	理-3717	金属製品	28SK14	底面	13.9・2.3・3.1・0.8・26cm. 若手理文1995	
288	理-3718	金属製品	28SK14	底面	全长(25.2)・突起部3.3・柄部径3.0×3.2cm. 若手理文1995	
288	真-2505	金属製品	28SE11	15階	真(10.6)・幅(細突10.8)・0.4・若手理文1995	
288	真-2506	金属製品			若手理文1995	
288	理-826	金属製品	21SD1	101-95 中部	全长118・突起部3.5・厚4.4cm. 若手理文1995	
288	真-4001	金属製品	41SK7	埋土最下部 12階	全长約5・突起[長19・幅3.5・5.9・厚0.1(0.7)・突起(長径37・外径14×30・内径20×23・厚0.5)cm. 若手理文1995	
288	77-770	金属製品	77SK3	2a階	118・9.8・15cm. 77次調査概報(若手教委2017)	
288	理-827	金属製品	21SD1	98-95	真(50)・突起部21・幅部8×0.9cm. 若手理文1995	
288	69-370	金属製品	21SD2	C層	69次調査概報(若手教委2010)	
288	真-6026	金属製品	52SK24	6階	18210-9	
288	真-6027	金属製品	52SK24	6階	18210-10	
288	50-3012	金属製品	原子器具	90-67補出時		
288	真-1082	金属製品	輪宝	28SX1	底面	18262-9
288	真-1083	金属製品	輪宝	28SX1	底面	18262-8
288	真-2902	金属製品	松総錠	31SE2	底面直上: 11階	
288	真-2481	金属製品	八徳錠	28SE9	北平灰色土	径115・内径系8.25・重量26g・線径0.8・線間0.8・線間距2cm. 若手理文1995
288	真-823	金属製品	防金男	21SD1	95-95 下部	径81・径0.6・突起部1.3cm. 若手理文1995
288	真-3676	金属製品	真防	23SK83	埋上下部	1.9・4.8・cm. 若手理文1995
288	50-3003	金属製品	印章	30SE3	180-31	
288	真-824	金属製品	隔り具	21SD1	94-96 底面直上	長15.2・幅1.4・厚0.1 内径孔16.0cm. 若手理文1995

图	番号		種別	出土遺物	部位	備考・図表関係・掲載案内書頁番号
289	埋-3617	金属製品	火舎	21SK108	埋土下部	外径40.0・内径30.0・高13.2・内径5.1・径2.1×2.5cm。岩手埋文1995
289	埋-3618	金属製品	香瓶	21SK108	埋土下部	高29.7・最大径32.2cm。岩手埋文1995
289	埋-822	金属製品	内耳鉄線	21SD1	95-95 後面	口径33.6・器高16.9・器厚0.5cm。岩手埋文1995
290	埋-3536	木製品	木桶	21SK78	埋土下部	12.2・10.6・0.2cm。岩手埋文1995
290	埋-3857	石製品	覆石	21SK78	埋土下部	12.7・9.5・1.5cm。岩手埋文1995
290	埋-3959	木製品	椀	31SK80	395	13.7・6.2・1.4cm。岩手埋文1995
290	埋-3857	石製品	石覆	31SK42	290	8.6・4.7・1.5cm。岩手埋文1995
290	52-526	土製品	埋壺	32SE10	340	径187-32
290	埋-1360	石製品	石鉢	97-92-pp5		口唇部厚1.3・耳厚1.0cm。岩手埋文1995
290	埋-4838	石製品	石鉢	97-91	1層	高13.3・幅17.9・厚1.3cm。岩手埋文1995
290	埋-4839	石製品	石鉢	77-66	1層	高17.1・幅15.0・厚1.3cm。岩手埋文1995
290	埋-1672	石製品	石甕	21SE2	埋下部	4.0・(3.1)・0.7cm。岩手埋文1995
290	埋-585	石製品	磁石	88-77 SX10		(5.7)・(3.8)・0.7cm。岩手埋文1995
290	埋-487	石製品	磁石	87-72	皿h層	(11.0)・6.3・1.6cm。岩手埋文1995
290	埋-1334	瓦	瓦丸	41SD2	58-68	

関連年表

年号	西暦	事 項
天喜四	1056	この頃、藤原経清の子として藤原清衡が生まれる。
康平五	1062	前九年合戦が終わり、清衡は母とともに清原氏へ。
延久二	1070	延久合戦起こる。
応徳三	1086	白河院政が始まる。
寛治元	1087	後三年合戦終わる。
寛治五	1091	清衡が摂関家に馬を進上する。
	1100頃	江刺郡豊田館から岩井郡平泉に拠点を移す。
長治二	1105	清衡が中尊寺最初院を建立。
天治元	1124	中尊寺に金色堂が建立される。
大治元	1126	中尊寺に鎮護国家大伽藍一区を建立（落慶法要）。
大治三	1128	清衡没（73歳）
大治四	1129	鳥羽院政が始まる 清衡長男惟恒と次男基衡の跡目争いがあり、基衡が勝利。
康弼元	1142	信夫郡の検注をめぐる陸奥守藤原師綱と基衡が対立する。
康弼二	1143	藤原基成が陸奥守となる。これ以降、基成一族が数代にわたって陸奥守となる。
久安三	1148	この頃から仁平三（1153）年にかけて陸奥・出羽の摂関家領荘園をめくり、基衡と左大臣藤原頼長の交渉が行われる。
久安六	1150	この頃、毛越寺園隆寺が建立される。
久寿元	1154	鳥羽城南宮祭競馬に基衡進上の馬がみえる。
保元元	1156	保元の乱
保元二	1157	この頃に基衡没。秀衡が当主に。
保元三	1158	後白河院政が始まる。
平治元	1159	平治の乱
仁安二	1167	平清盛が太政大臣に。
嘉応元	1169	中尊寺釈尊院五輪塔銘
嘉応二	1170	秀衡、従五位下に昇り、鎮守府將軍に任ぜられる。
承安四	1174	源義経、奥州に下る。
治承四	1180	源頼朝が挙兵。義経、平泉を出る。
養和元	1181	秀衡、陸奥守に補任。
元暦元	1184	秀衡、東大寺大仏の鍍金のため、金5000両を進上する。
文治元	1185	平家滅亡。
文治二	1186	奥州藤原氏の貢馬、貢金が鎌倉を経由することとなる。
文治三	1187	源義経、奥州に下る。 秀衡没（66歳）。
文治五	1189	文治5年奥州合戦。藤原泰衡没。 大河兼任の乱。
建久六	1195	葛西清重、伊沢家景に源頼朝が平泉寺塔の修理を命ずる。
正応元	1288	鎌倉幕府が中尊寺金色堂に覆堂を建てる。

報告書抄録

ふりがな	ひらいずみいせきぐんはつくつちょうさほうこくしょ やなぎのごしよいせき							
書名	平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡							
副書名	堀内部地区内容確認調査							
巻次	本文編							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第155集							
編著者名	櫻井友梓							
編集機関	岩手県教育委員会							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1							
発行年月日	西暦2019年3月29日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
やなぎのしよいせき 柳之御所遺跡	いわてけん 岩手県 にしらいづみぐん 西磐井郡 ひらふみ 平泉町 ひらふみ 平泉字 やなぎのしよいせき 柳御所地内	03402	NE76-0190	38度 59分 28秒	141度 7分 35秒	-	-	史跡整備に 向けた内容 確認調査
所収遺跡名	種別	おもな 時代	おもな遺構	おもな遺物	特記事項			
柳之御所遺跡	居館跡	平安 時代	・堀跡2条 ・池跡 ・掘立柱建物跡 ・塀跡 ・橋跡 ・井戸跡 ・トイレ状土坑 ・祭祀遺構 など	かわらけ 国産陶器（瀬美・常 滑など） 中国産陶磁器（白 磁・青白磁・中国陶 器） 木製品 木簡など	・柳之御所遺跡堀内部 の遺構の様相が把握 できた。 ・土器や木製品など宴 会儀礼に用いられた 遺物が多く出土し、 文字資料を含め、遺 跡がもつ政治行政に 関わる機能が把握で きた。			
要約	<p>柳之御所遺跡の堀内部地区に係る内容確認調査の発掘調査報告である。本報告書は本文編と図版編から構成され、本書は本文編にあたる。</p> <p>これまでの調査成果により、奥州藤原氏が平泉に拠点を置いた12世紀代の100年間を通して遺構・遺物が濃密に分布する範囲であることが判明した。遺跡を区画する大規模な堀跡や掘立柱建物、園池から構成される区画が確認された。内容確認調査の成果により100年間の中での変遷が遺構・遺物の両面で確認されたことは大きな成果である。また、出土遺物には多量のかかわらけや国産・輸入の陶磁器類のほか、折敷などの木製品がある。かわらけや折敷など宴会儀礼に伴う遺物の集中的な出土は遺跡内における儀礼とその背景となる遺跡の機能との関連が想定できる。また、墨書資料などの出土文字資料には、政治行政機能と関連する内容を含んでおり、これらからも、柳之御所遺跡の堀内部の範囲が政治行政に関連する範囲であったことが理解できる。また、奥州藤原氏の治世を通して機能した可能性が高いことも、遺跡の性格や当時の平泉における位置と関連する重要な特徴である。</p>							

表表紙 墨書折敷（「入々給絹日記」） 28SE16出土
裏表紙 墨書木片（タラウタユニ丈） 21SD2（69SX3）出土

岩手県文化財調査報告書 第155集

平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

—掘内部地区内容確認調査—

印刷日 平成31年3月29日

発行日 平成31年3月29日

発行 岩手県教育委員会生涯学習文化財課
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
電話 (019) 629-6171 (代表)

印刷 河北印刷株式会社
〒020-0015 岩手県盛岡市本町通2丁目8-7
電話 (019) 623-4256

Yanaginogosho Site

The excavation Report of the Local Government Office in Hiraizumi of the 12th Century



2019年3月

Iwate Board of Education, JAPAN